

市内中小企業の景況について (第 128 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 30 年 10 月
- ・ 調査対象期間 平成 30 年 7 月～9 月期 (3 箇月実績) / 平成 30 年 10～12 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 372 社, 非製造業 428 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。482 社が回答 (回収率 60.3%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数	(構成比)	項 目	企業数	(構成比)
製造業	236	(49.0)	非製造業	246	(51.0)
西 陣	16	(3.3)	卸 売	54	(11.2)
染 色	30	(6.2)	小 売	52	(10.8)
印 刷	24	(5.0)	情 報 通 信	20	(4.1)
窯 業	18	(3.7)	飲 食 ・ 宿 泊	34	(7.1)
化 学	19	(3.9)	サ ー ビ ス	47	(9.8)
金 属	34	(7.1)	建 設	39	(8.1)
機 械	28	(5.8)	不 明	0	(0.0)
その他の製造	67	(13.9)	合 計	482	(100.0)
※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)			54	(11.2)	

- =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

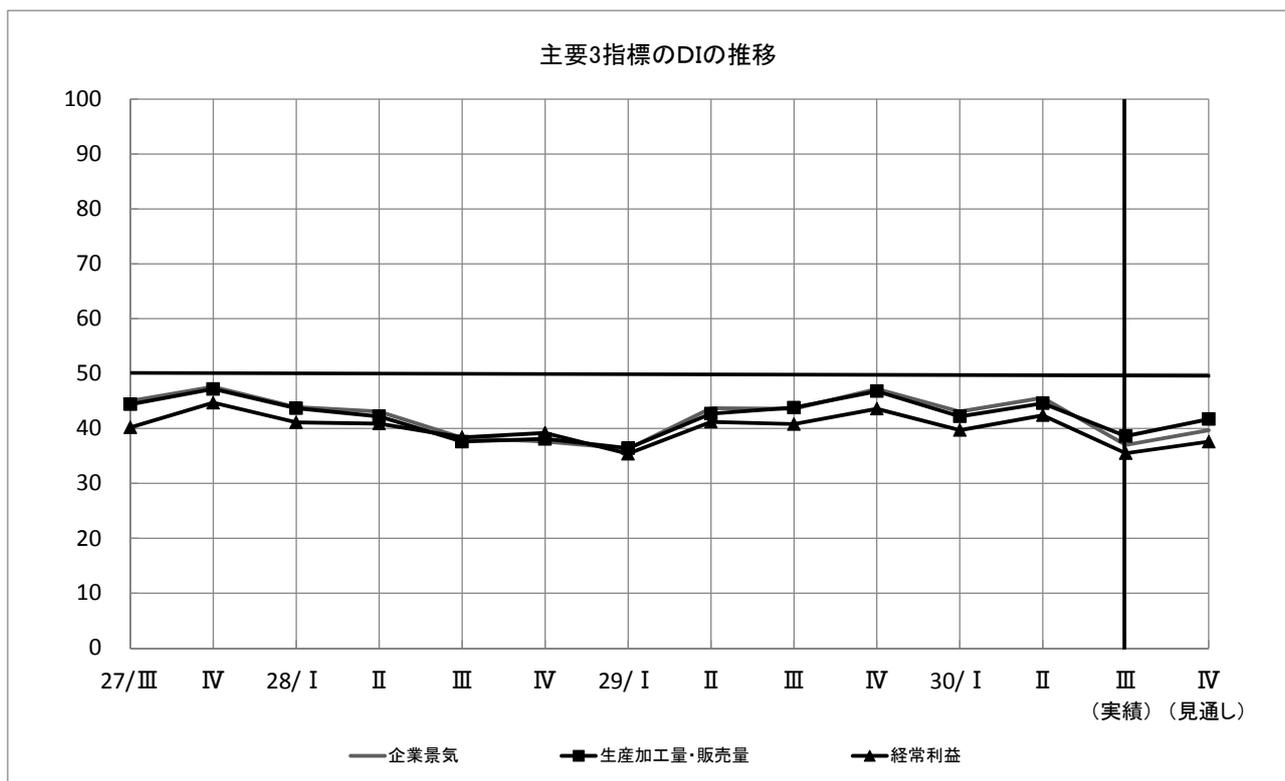
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1 景気動向について

- 今期の企業景気DIは、全産業で8.6ポイント低下した。製造業で5.5ポイント低下、非製造業で11.3ポイント低下した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全産業で2.7ポイント上昇。製造業で0.7ポイント低下、非製造業では5.9ポイント上昇。

<主要3指標のDIの推移>



		前期 (H30/4-6月)		今期 (7-9月)		来期 (10-12月)	
			増減		増減		増減
企業景気DI	全産業	45.6	△2.5	37.0	▼8.6	39.7	△2.7
	製造業	47.3	△2.8	41.8	▼5.5	41.1	▼0.7
	非製造業	43.8	△2.1	32.5	▼11.3	38.4	△5.9
生産加工量・販売量DI	全産業	44.6	△2.4	38.6	▼6.0	41.7	△3.1
	製造業	46.6	△1.5	42.0	▼4.6	42.8	△0.8
	非製造業	42.2	△3.0	35.0	▼7.2	40.6	△5.6
経常利益DI	全産業	42.4	△2.7	35.5	▼6.9	37.6	△2.1
	製造業	45.1	△1.8	38.6	▼6.5	37.6	▼1.0
	非製造業	39.5	△3.5	32.5	▼7.0	37.6	△5.1

<主要3指標の業種別推移（今期／来期見通し）>

	企業景気DI				生産加工量・販売量DI				経常利益DI			
	今期		来期		今期		来期		今期		来期	
		増減		増減		増減		増減		増減		増減
製造業	41.8	▼5.5	41.1	▼0.7	42.0	▼4.6	42.8	△0.8	38.6	▼6.5	37.6	▼1.0
西陣	21.9	▼10.6	18.8	▼3.1	18.8	▼11.2	21.9	△3.1	25.0	▼15.0	15.6	▼9.4
染色	30.4	▼9.3	28.6	▼1.8	32.1	▼5.8	28.6	▼3.5	28.6	▼11.1	28.6	0.0
印刷	25.0	▼14.7	33.3	△8.3	29.5	▼8.4	40.5	△11.0	18.2	▼23.2	33.3	△15.1
窯業	42.3	▼17.7	46.2	△3.9	42.9	▼21.4	50.0	△7.1	53.6	▼10.7	53.6	0.0
化学	44.1	▼0.3	36.7	▼7.4	43.8	▼0.6	39.3	▼4.5	38.2	▼6.2	26.7	▼11.5
金属	58.1	▼5.2	50.0	▼8.1	56.5	▼6.8	46.6	▼9.9	50.0	▼6.7	39.7	▼10.3
機械	50.0	▼5.4	52.3	△2.3	52.3	▼3.1	52.3	0.0	43.2	▼6.8	45.5	△2.3
その他の製造	46.1	△0.4	46.9	△0.8	45.2	△0.3	49.2	△4.0	43.0	△3.3	43.8	△0.8
非製造業	32.5	▼11.3	38.4	△5.9	35.0	▼7.2	40.6	△5.6	32.5	▼7.0	37.6	△5.1
卸売	32.7	▼4.8	39.6	△6.9	34.0	▼2.5	39.0	△5.0	31.4	▼1.6	39.2	△7.8
小売	26.6	▼15.6	32.6	△6.0	27.8	▼16.0	36.4	△8.6	27.2	▼8.5	35.6	△8.4
情報通信	44.7	▼28.6	55.3	△10.6	50.0	▼13.3	55.9	△5.9	52.8	▼17.2	58.3	△5.5
飲食・宿泊	15.0	▼10.9	35.5	△20.5	15.4	▼10.5	33.3	△17.9	17.2	▼14.5	26.7	△9.5
サービス	36.0	▼10.9	40.5	△4.5	45.2	△2.1	48.3	△3.1	38.2	▼1.8	40.3	△2.1
建設	43.4	▼11.3	35.1	▼8.3	44.3	▼9.0	39.7	▼4.6	36.8	▼11.6	33.8	▼3.0
観光関連企業	15.7	▼15.7	33.7	△18.0	20.0	▼15.0	34.8	△14.8	18.8	▼11.6	30.6	△11.8

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

<設備投資DI推移（今期／来期見通し）>

	設備投資DI			
	今期		来期	
		増減		増減
製造業	20.9	△3.2	23.3	△2.4

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

(1) 今期実績 平成30年7月～9月期

企業景気DIは、製造業で5.5ポイント、非製造業で11.3ポイント低下し、全産業では8.6ポイント低下した。

製造業では、「受注減少」(中京区/染色)、「自然災害に伴う観光客の減少」(上京区/印刷)、「台風などの影響で物流が止まり受注にも影響が出た」(南区/金属)、「人件費の高騰で苦しい」(右京区/機械)などの要因により、西陣、染色、印刷、窯業、化学、金属、機械の7業種が低下した。

一方、「大手顧客からの受注増加」(右京区/その他の製造)、「営業力強化の効果」(西京区/その他の製造)などの要因により、その他の製造が上昇した。

非製造業では、「猛暑、長雨、台風のため人足が鈍った」(左京区/小売)、「売上不振」(右京区/小売)、「豪雨、閑空閉鎖によるインバウンド売上減」(中京区/飲食・宿泊)などの要因により、卸売、小売、情報通信、飲食・宿泊、サービス、建設の全6業種が低下した。

観光関連業種は、15.7ポイント低下した。

今回の調査では、猛暑や豪雨・台風などの影響により、企業景気DIは製造業、非製造業ともおしなべて低下し、全産業では8.6ポイントの低下となった。中でも製造業では、西陣、印刷、窯業の3業種で、非製造業では、小売、情報通信、飲食・宿泊、サービス、建設の5業種で2桁を超える低下となった。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中1業種であり、いずれも低下した業種は12業種である。

今期:主要3指標DIいずれも上昇した業種 14業種中1業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
その他の製造	46.1 (△ 0.4)	45.2 (△ 0.3)	43.0 (△ 3.3)

今期:主要3指標DIいずれも低下した業種 14業種中12業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	21.9 (▼ 10.6)	18.8 (▼ 11.2)	25.0 (▼ 15.0)
染色	30.4 (▼ 9.3)	32.1 (▼ 5.8)	28.6 (▼ 11.1)
印刷	25.0 (▼ 14.7)	29.5 (▼ 8.4)	18.2 (▼ 23.2)
窯業	42.3 (▼ 17.7)	42.9 (▼ 21.4)	53.6 (▼ 10.7)
化学	44.1 (▼ 0.3)	43.8 (▼ 0.6)	38.2 (▼ 6.2)
金属	58.1 (▼ 5.2)	56.5 (▼ 6.8)	50.0 (▼ 6.7)
機械	50.0 (▼ 5.4)	52.3 (▼ 3.1)	43.2 (▼ 6.8)
卸売	32.7 (▼ 4.8)	34.0 (▼ 2.5)	31.4 (▼ 1.6)
小売	26.6 (▼ 15.6)	27.8 (▼ 16.0)	27.2 (▼ 8.5)
情報通信	44.7 (▼ 28.6)	50.0 (▼ 13.3)	52.8 (▼ 17.2)
飲食・宿泊	15.0 (▼ 10.9)	15.4 (▼ 10.5)	17.2 (▼ 14.5)
建設	43.4 (▼ 11.3)	44.3 (▼ 9.0)	36.8 (▼ 11.6)

注:カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。)

(2) 来期見通し 平成30年10月～12月期

企業景気DIの来期見通しは、製造業で0.7ポイント低下した一方、非製造業で5.9ポイント上昇し、全産業では、2.7ポイントの上昇となった。

製造業では、「固有の技術関連の受注が増加」（左京区／窯業）、「海外方面からの受注増」（南区／機械）などの要因により、印刷、窯業、機械、その他の製造の4業種が上昇した。一方、「販売数量の低下」（上京区／西陣）、「受注量が減ってきている」（山科区／金属）などの要因により、西陣、染色、化学、金属の4業種が低下した。

非製造業では、「WEB販売が好調」（伏見区／小売）などの要因により、卸売、小売、情報通信、飲食・宿泊、サービスの5業種が上昇した。一方、「競争激化」（右京区／建設）などの要因により、建設が低下した。

観光関連業種は、18.0ポイント上昇の見込み。

我が国の景気は、緩やかに回復しており、先行きについては、雇用所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、相次いでいる自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

京都市の中小企業についてみると、今期は自然災害の影響などにより企業景気DIが8.6ポイント低下したが、来期は、非製造業を中心に多くの業種で上昇を見込んでおり、全産業で2.7ポイント上昇の見込みとなっている。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中7業種であり、いずれも低下と予測している業種は3業種である。

来期見通し：主要3指標いずれも上昇と予測した業種 14業種中7業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	33.3 (△ 8.3)	40.5 (△ 11.0)	33.3 (△ 15.1)
その他の製造	46.9 (△ 0.8)	49.2 (△ 4.0)	43.8 (△ 0.8)
卸売	39.6 (△ 6.9)	39.0 (△ 5.0)	39.2 (△ 7.8)
小売	32.6 (△ 6.0)	36.4 (△ 8.6)	35.6 (△ 8.4)
情報通信	55.3 (△ 10.6)	55.9 (△ 5.9)	58.3 (△ 5.5)
飲食・宿泊	35.5 (△ 20.5)	33.3 (△ 17.9)	26.7 (△ 9.5)
サービス	40.5 (△ 4.5)	48.3 (△ 3.1)	40.3 (△ 2.1)

来期見通し：主要3指標いずれも低下と予測した業種 14業種中3業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
化学	36.7 (▼ 7.4)	39.3 (▼ 4.5)	26.7 (▼ 11.5)
金属	50.0 (▼ 8.1)	46.6 (▼ 9.9)	39.7 (▼ 10.3)
建設	35.1 (▼ 8.3)	39.7 (▼ 4.6)	33.8 (▼ 3.0)

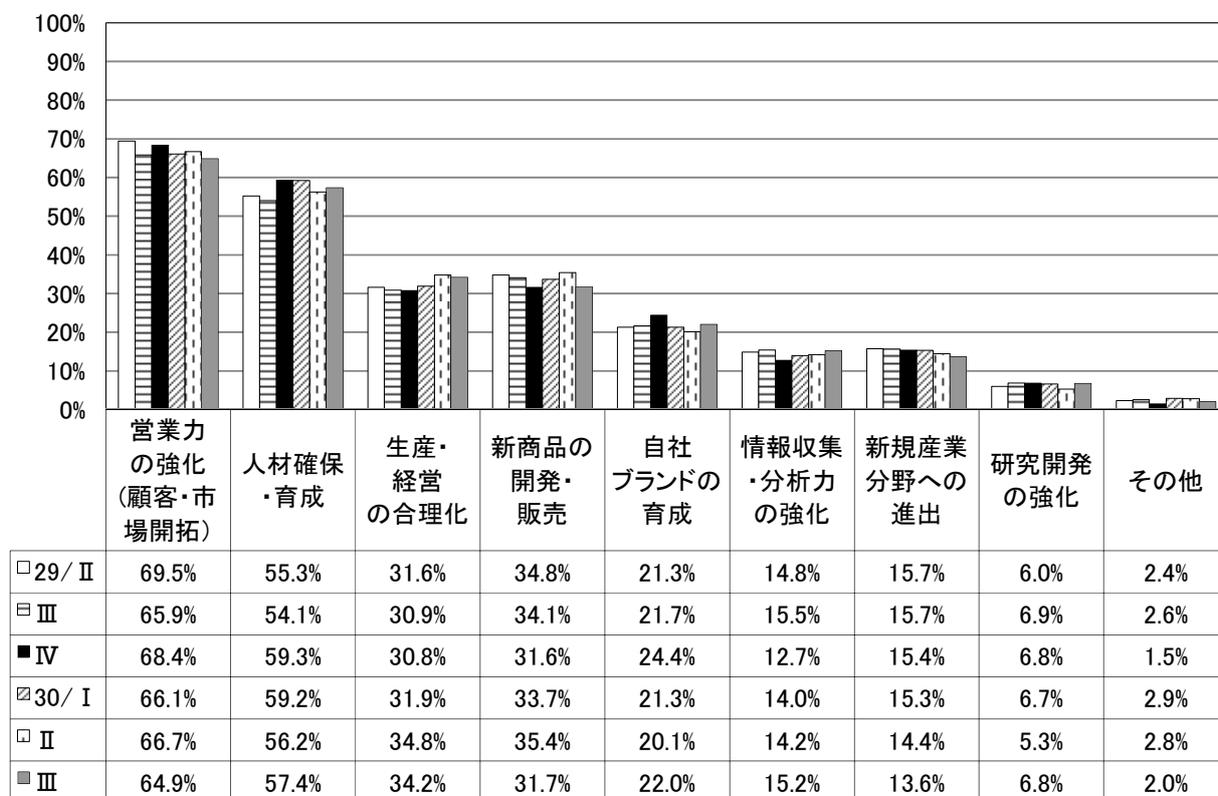
注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期、△は上昇を示す。）

2 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」が引き続きトップも、「人材確保・育成」を重視する企業も高水準を維持。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が64.9%と、引き続き最も多くなっている。続いて「人材確保・育成」が57.4%、「生産・経営の合理化」が34.2%、「新商品の開発・販売」が31.7%となっている。

前期と比較すると、「生産・経営の合理化」、「情報収集・分析力の強化」がそれぞれ1つずつ順位を上げた。項目別では、「自社ブランドの育成」が1.9ポイント増、「研究開発の強化」が1.5ポイント増などとなっている。一方、「新商品の開発・販売」が3.7ポイント減、「営業力の強化」が1.8ポイント減などとなっている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

3 経営上の不安要素について

●「人材育成」が引き続きトップ。「値下要請」「競争激化」などが上昇。

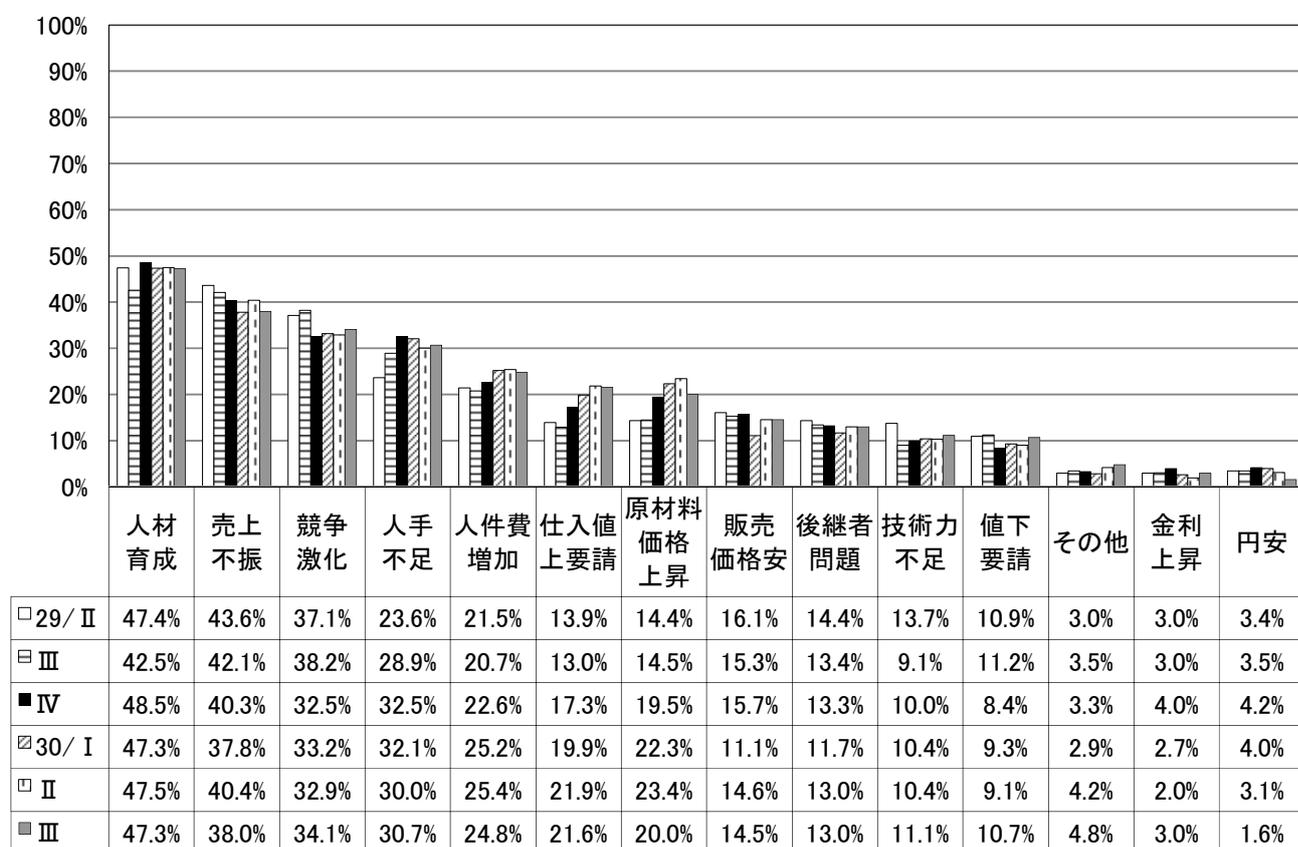
経営上の不安要素としては、「人材育成」を挙げる企業が47.3%と最も多かった。続いて「売上不振」が38.0%、「競争激化」が34.1%、「人手不足」が30.7%、「人件費増加」が24.8%となっている。

前期と比較すると、「人材育成」が引き続きトップとなった。最も上昇しているのは、「値下要請」で1.6ポイント増、続いて「競争激化」が1.2ポイント増となっている。一方、最も低下しているのは、「原材料価格上昇」で3.4ポイント減、続いて「売上不振」が2.4ポイント減となっている。

業種別に見ると、化学、金属、機械、その他の製造、情報通信、飲食・宿泊、サービス、建設(※)の8業種では、「人材育成」と回答した企業が最も多く、西陣、染色、印刷、卸売、小売の5業種では「売上不振」、窯業では、「原材料価格上昇」と回答した企業が最も多かった。

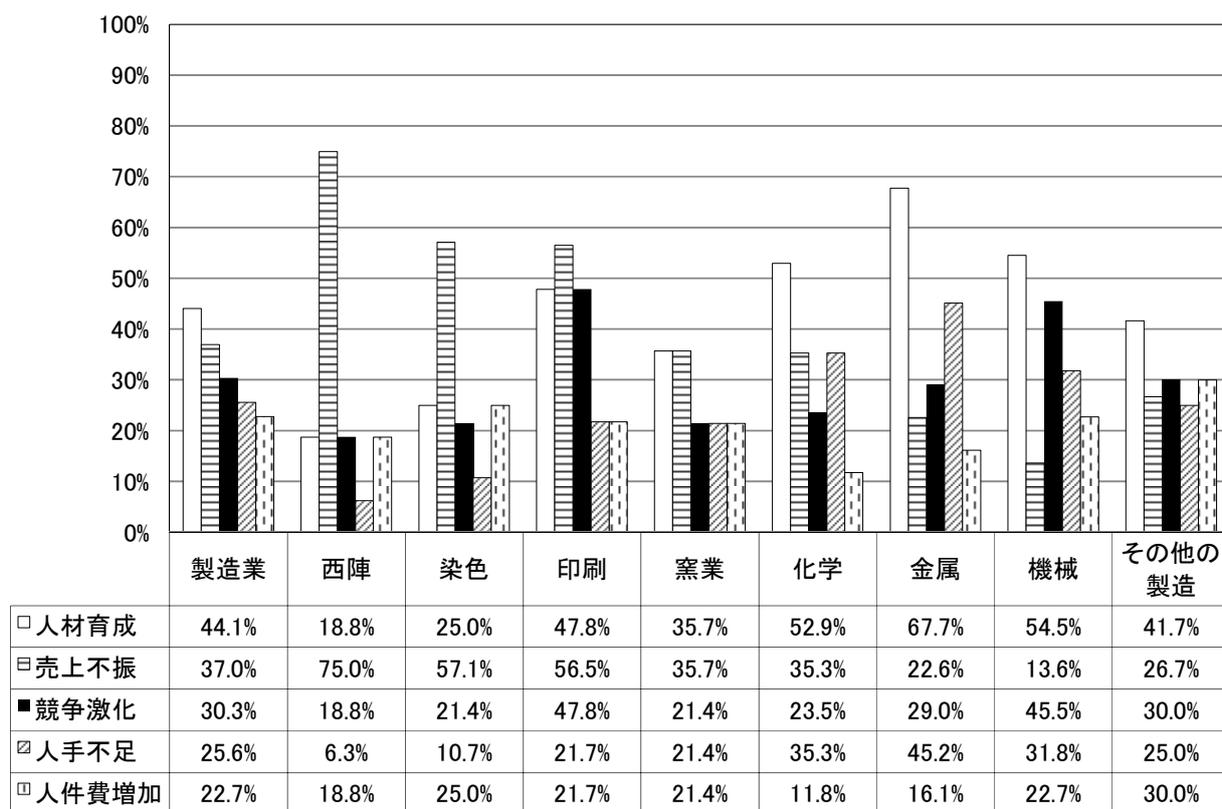
観光関連では、「人材育成」が最も多かった。

※他に「人手不足」が同数。

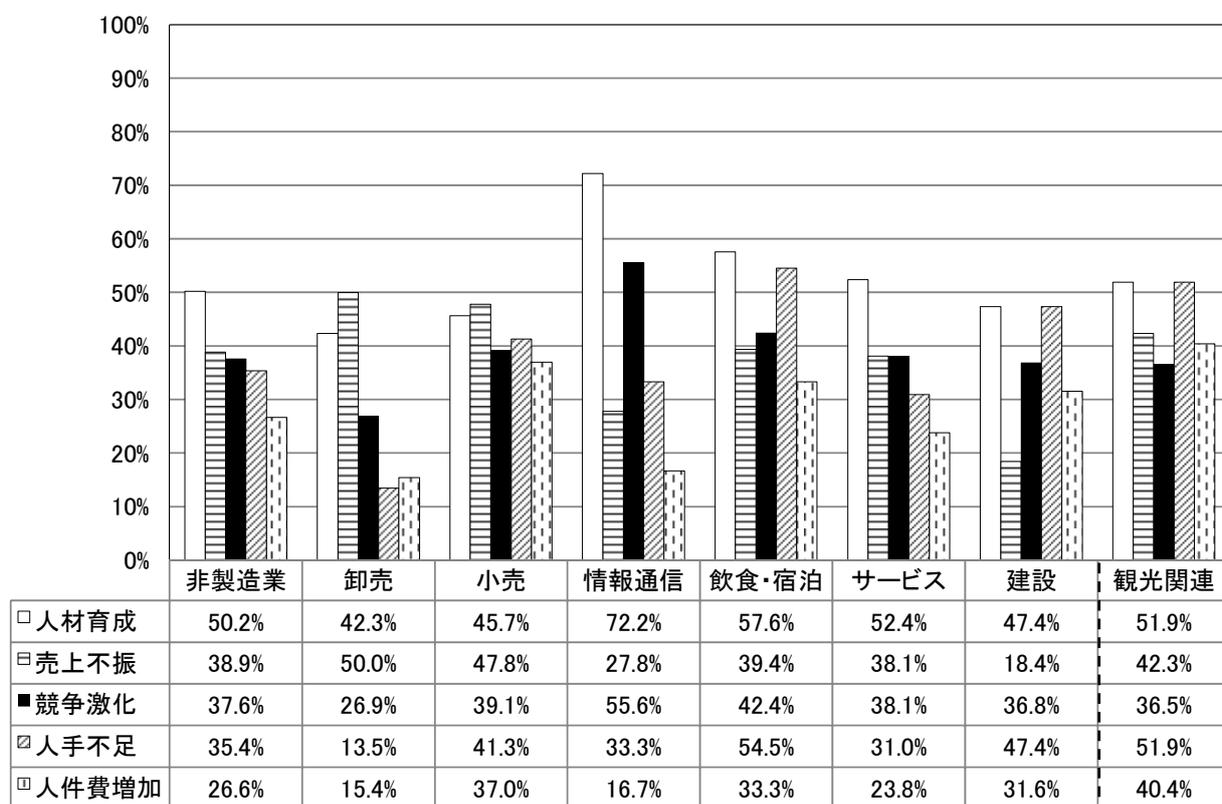


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

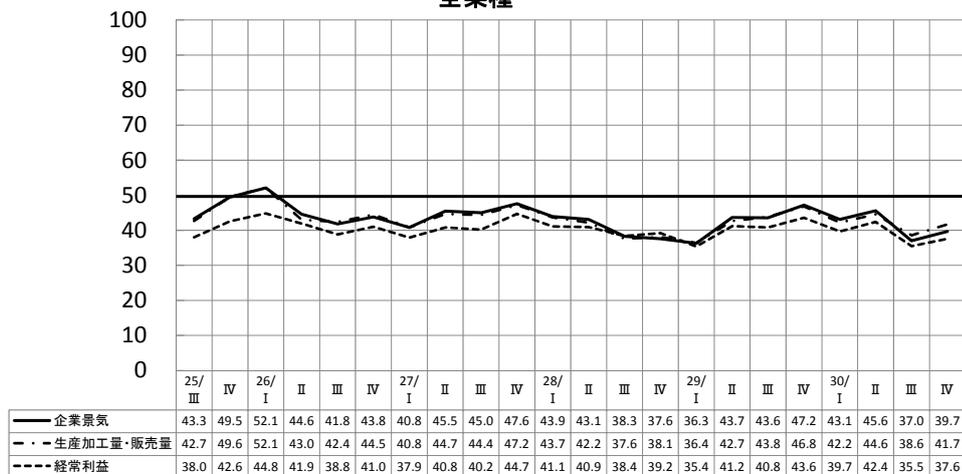


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



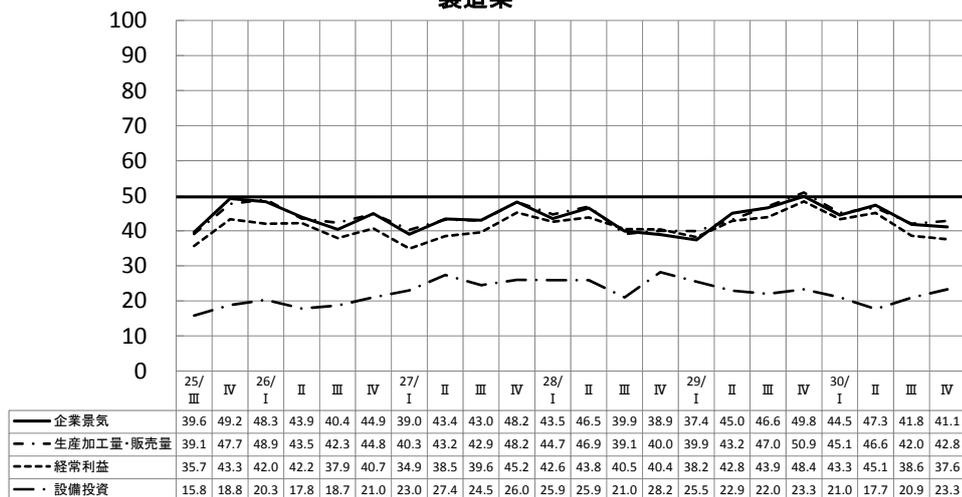
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



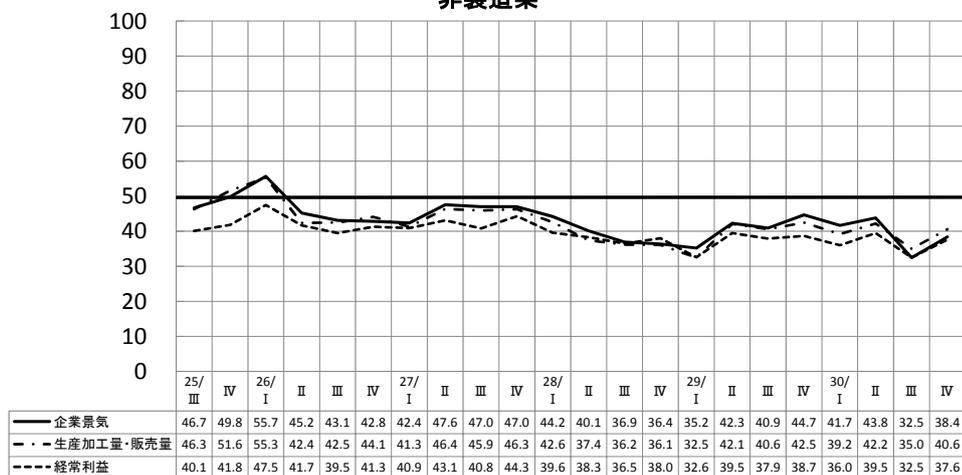
(見通し)

製造業



(見通し)

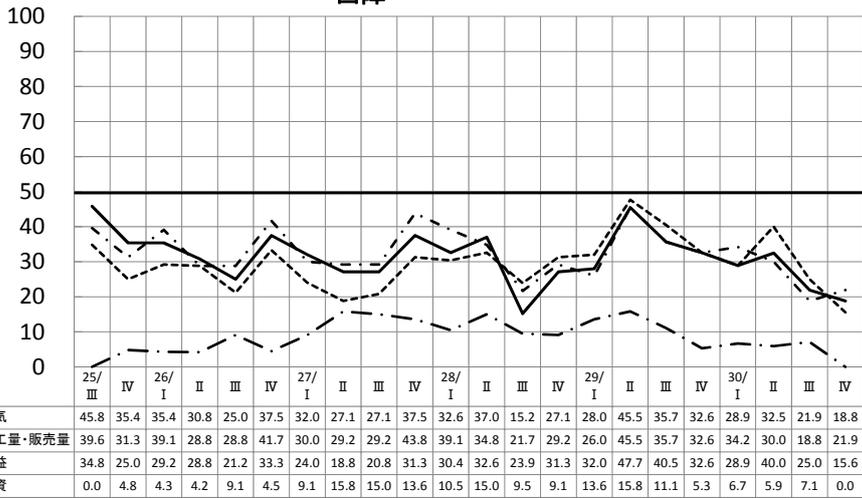
非製造業



(見通し)

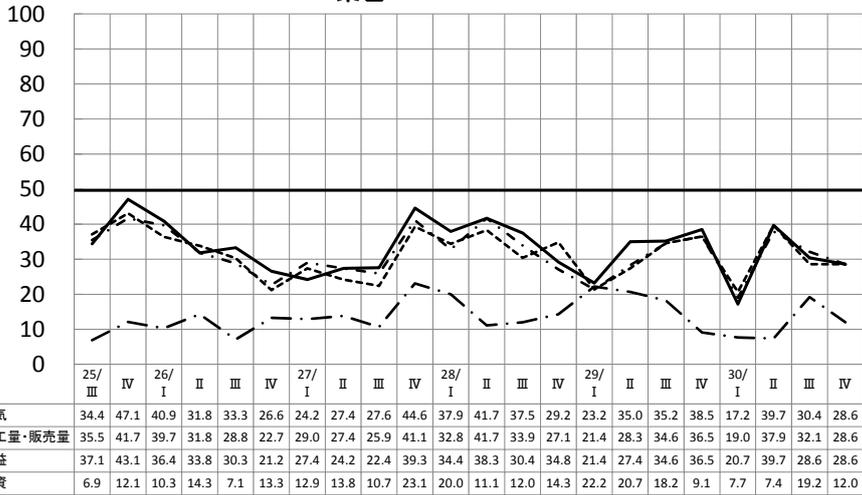
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



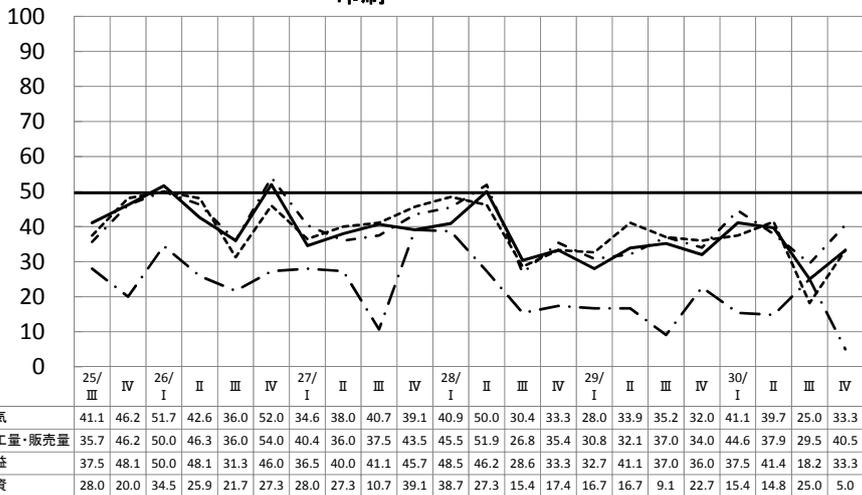
(見通し)

染色



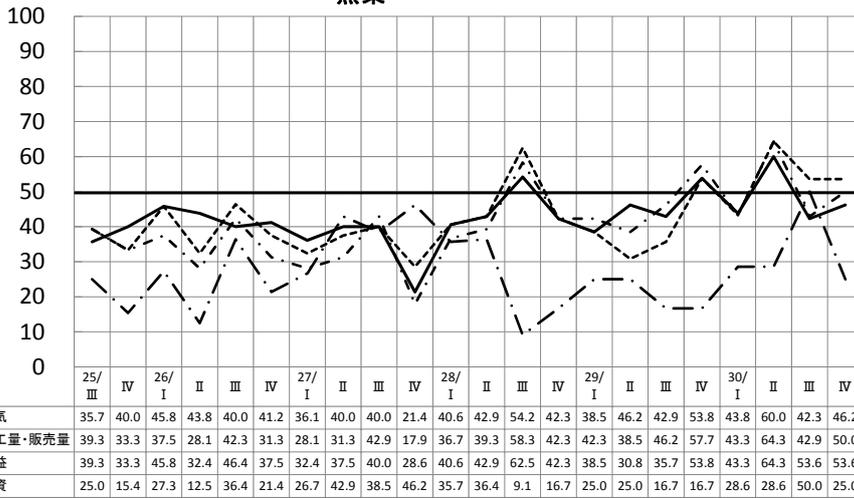
(見通し)

印刷



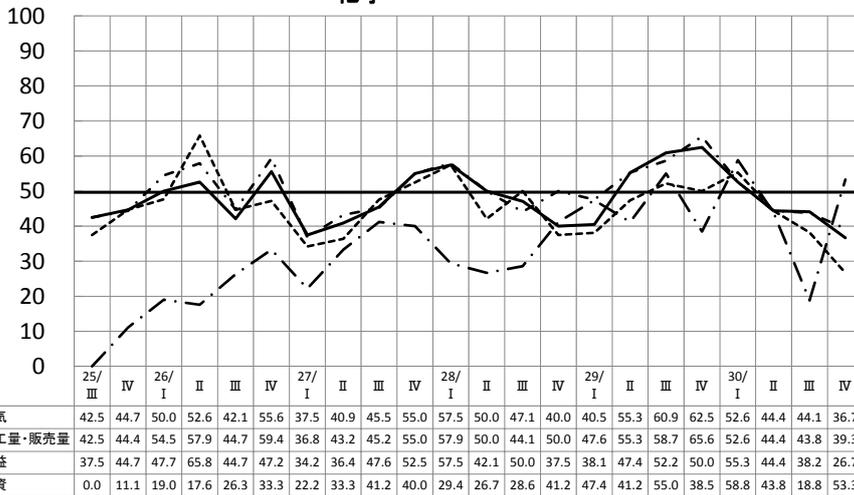
(見通し)

窯業



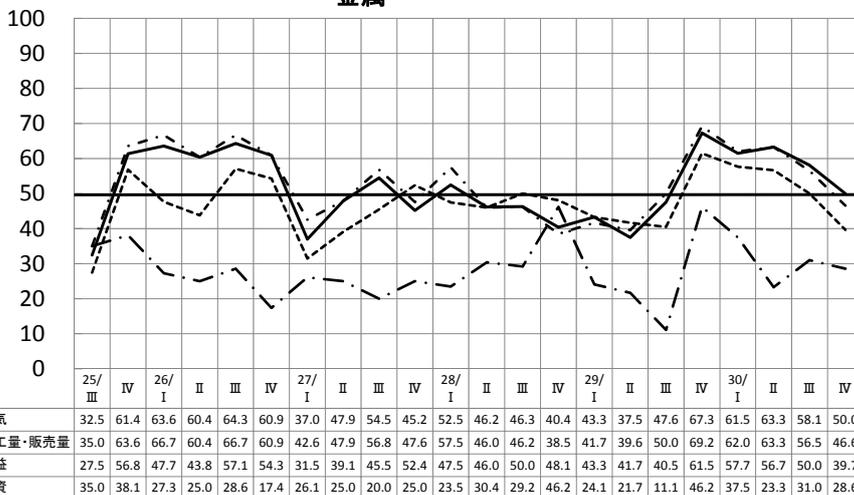
(見通し)

化学



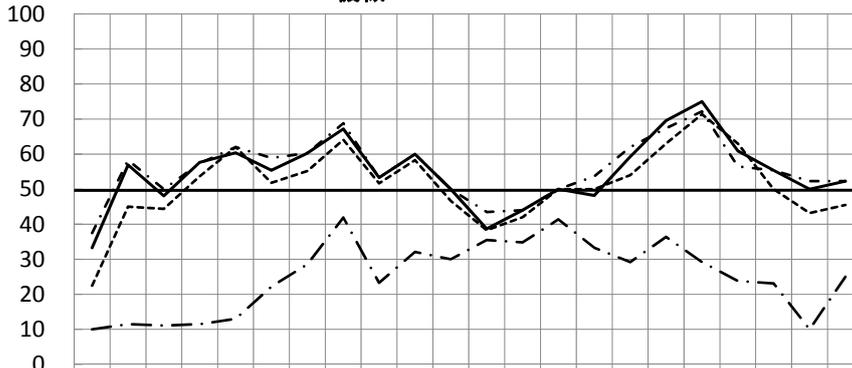
(見通し)

金属



(見通し)

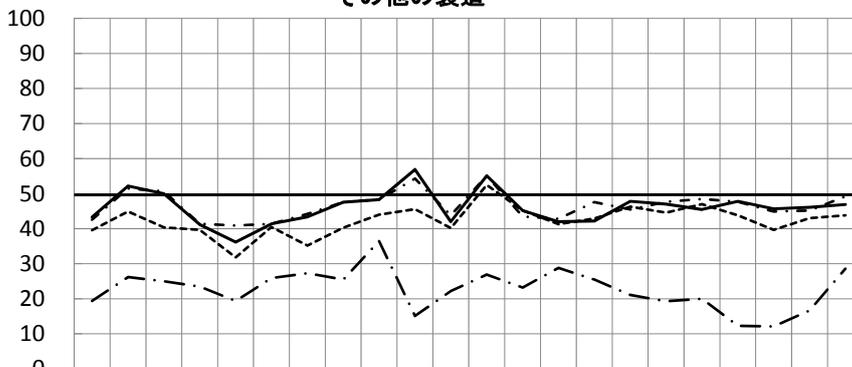
機械



	25/III	IV	26/I	II	III	IV	27/I	II	III	IV	28/I	II	III	IV	29/I	II	III	IV	30/I	II	III	IV
— 企業景気	33.3	56.9	48.1	57.7	60.4	55.4	60.3	67.2	53.3	60.0	50.0	38.7	44.0	50.0	48.2	59.3	69.6	75.0	60.9	55.4	50.0	52.3
··· 生産加工量・販売量	37.5	58.3	50.0	57.4	62.0	58.9	60.3	68.8	53.3	60.0	50.0	43.5	44.0	50.0	53.7	62.0	67.4	72.2	56.5	55.4	52.3	52.3
--- 経常利益	22.5	45.0	44.4	53.7	62.0	51.8	55.2	64.1	51.7	58.3	46.7	38.3	42.0	50.0	50.0	54.0	63.0	71.4	63.0	50.0	43.2	45.5
- · 設備投資	10.0	11.5	11.1	11.5	13.0	22.2	28.6	41.9	23.3	32.1	30.0	35.5	34.8	41.4	33.3	29.2	36.4	29.2	23.8	23.1	10.0	25.0

(見通し)

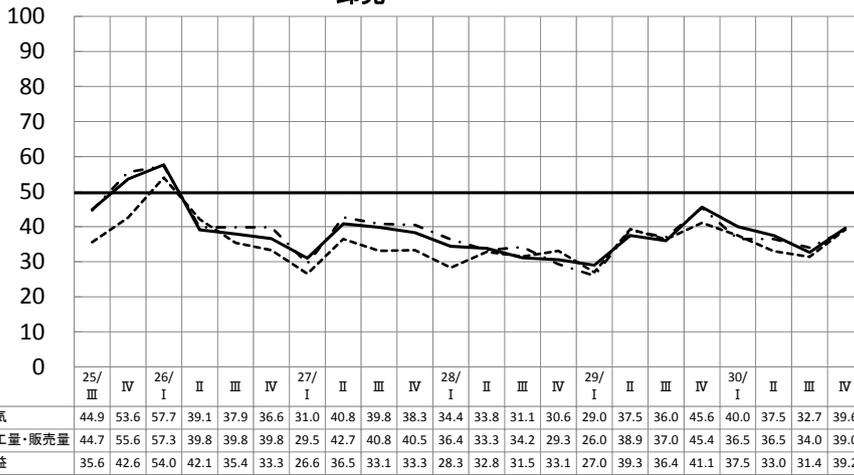
その他の製造



	25/III	IV	26/I	II	III	IV	27/I	II	III	IV	28/I	II	III	IV	29/I	II	III	IV	30/I	II	III	IV
— 企業景気	43.3	52.2	50.0	41.2	36.2	41.4	43.4	47.6	48.3	56.9	42.0	55.1	45.2	42.0	42.2	47.8	47.0	45.5	47.8	45.7	46.1	46.9
··· 生産加工量・販売量	42.6	51.5	50.7	41.4	40.9	41.4	44.2	47.6	48.3	54.3	43.8	55.1	43.5	42.8	47.6	45.5	47.7	48.5	47.7	44.9	45.2	49.2
--- 経常利益	39.6	44.9	40.4	39.7	31.8	40.5	35.2	40.3	44.0	45.6	40.2	52.5	45.2	41.3	42.9	46.3	44.6	47.0	43.8	39.7	43.0	43.8
- · 設備投資	19.4	26.2	25.0	23.5	19.4	25.9	27.3	25.5	36.5	15.1	22.2	26.9	23.2	28.8	25.5	21.1	19.3	20.0	12.3	12.1	16.7	28.6

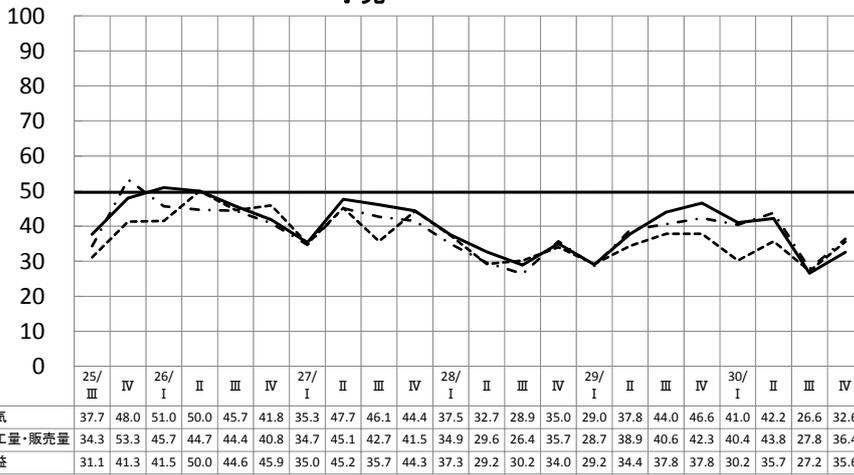
(見通し)

卸売



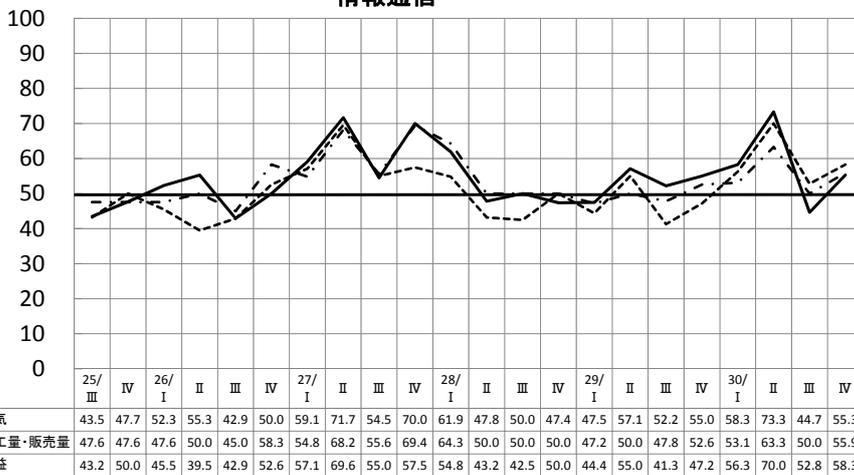
(見通し)

小売



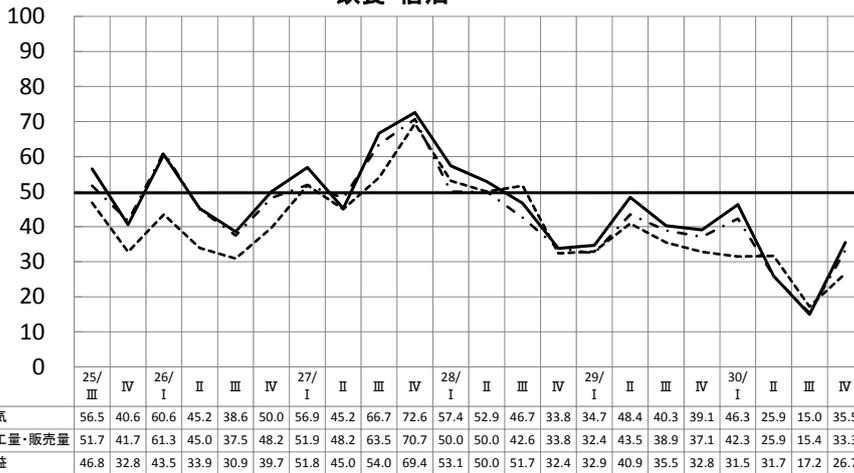
(見通し)

情報通信



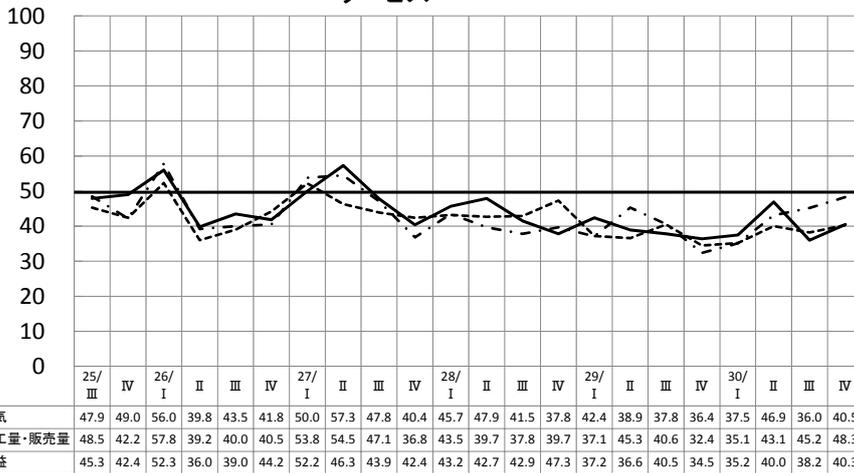
(見通し)

飲食・宿泊



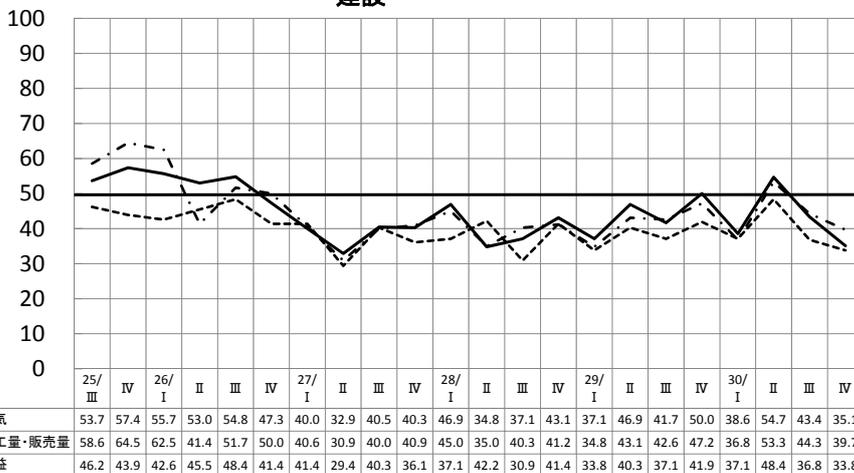
(見通し)

サービス



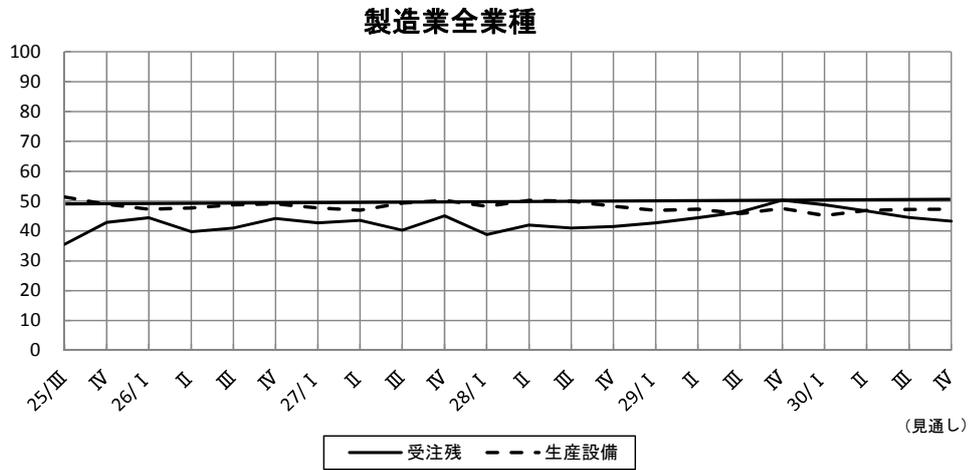
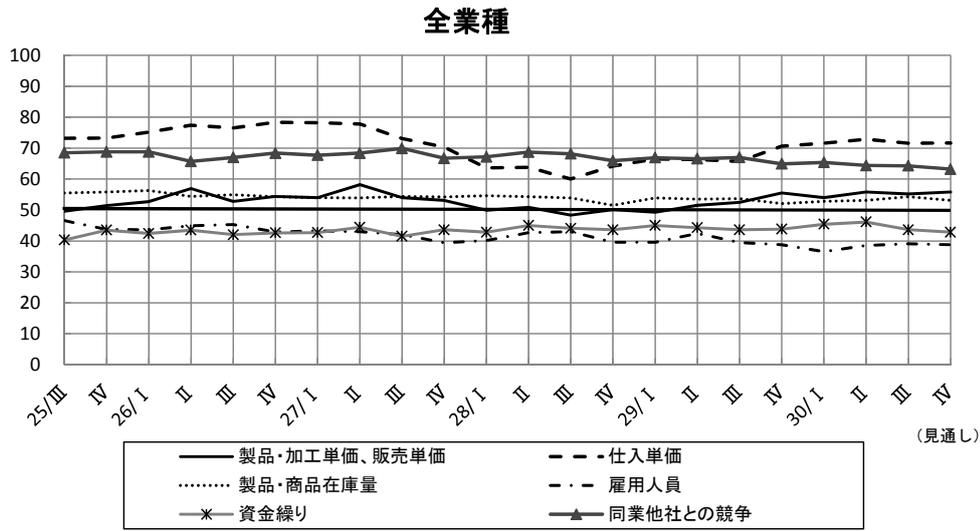
(見通し)

建設

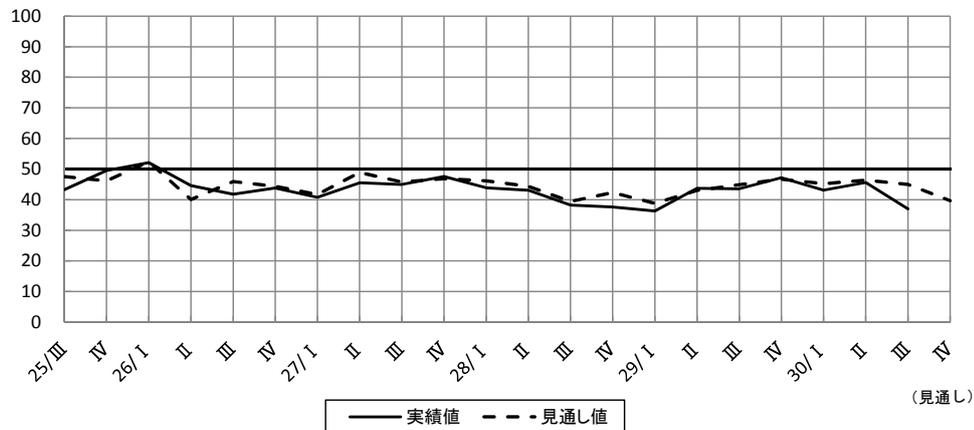


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

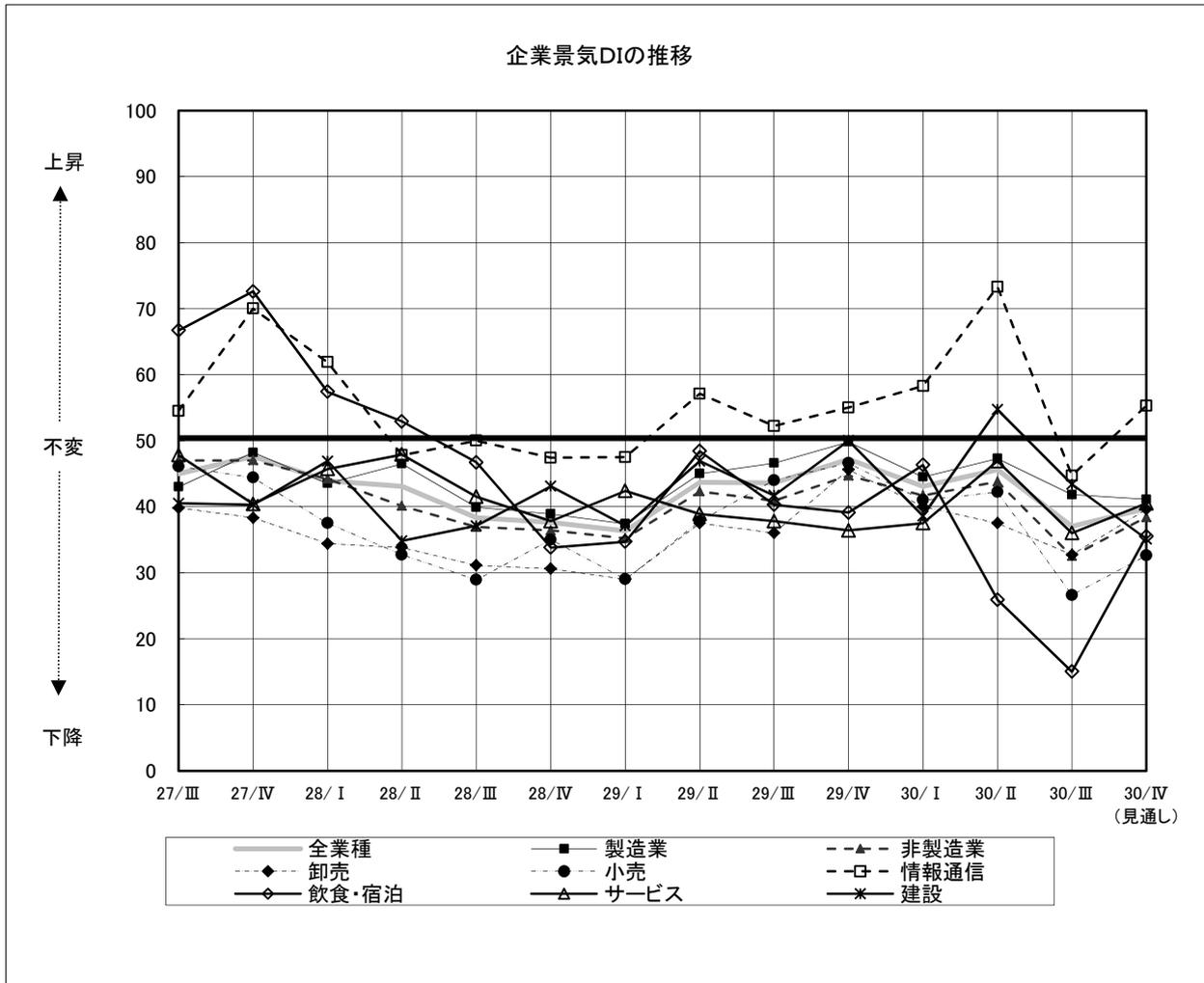


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

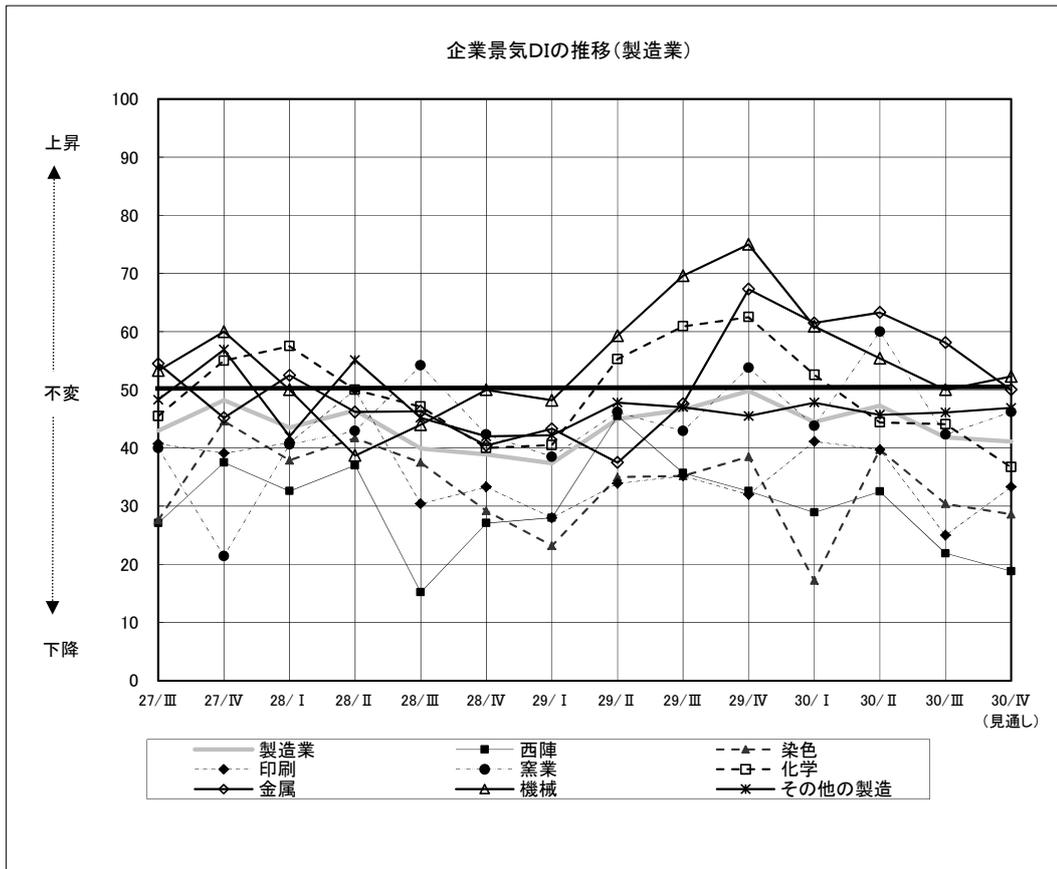


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	来期見通し
全業種	45.6	37.0	▼ 8.6	39.7	△ 2.7
製造業	47.3	41.8	▼ 5.5	41.1	▼ 0.7
西陣	32.5	21.9	▼ 10.6	18.8	▼ 3.1
染色	39.7	30.4	▼ 9.3	28.6	▼ 1.8
印刷	39.7	25.0	▼ 14.7	33.3	△ 8.3
窯業	60.0	42.3	▼ 17.7	46.2	△ 3.9
化学	44.4	44.1	▼ 0.3	36.7	▼ 7.4
金属	63.3	58.1	▼ 5.2	50.0	▼ 8.1
機械	55.4	50.0	▼ 5.4	52.3	△ 2.3
その他の製造	45.7	46.1	△ 0.4	46.9	△ 0.8
非製造業	43.8	32.5	▼ 11.3	38.4	△ 5.9
卸売	37.5	32.7	▼ 4.8	39.6	△ 6.9
小売	42.2	26.6	▼ 15.6	32.6	△ 6.0
情報通信	73.3	44.7	▼ 28.6	55.3	△ 10.6
飲食・宿泊	25.9	15.0	▼ 10.9	35.5	△ 20.5
サービス	46.9	36.0	▼ 10.9	40.5	△ 4.5
建設	54.7	43.4	▼ 11.3	35.1	▼ 8.3
観光関連	31.4	15.7	▼ 15.7	33.7	△ 18.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

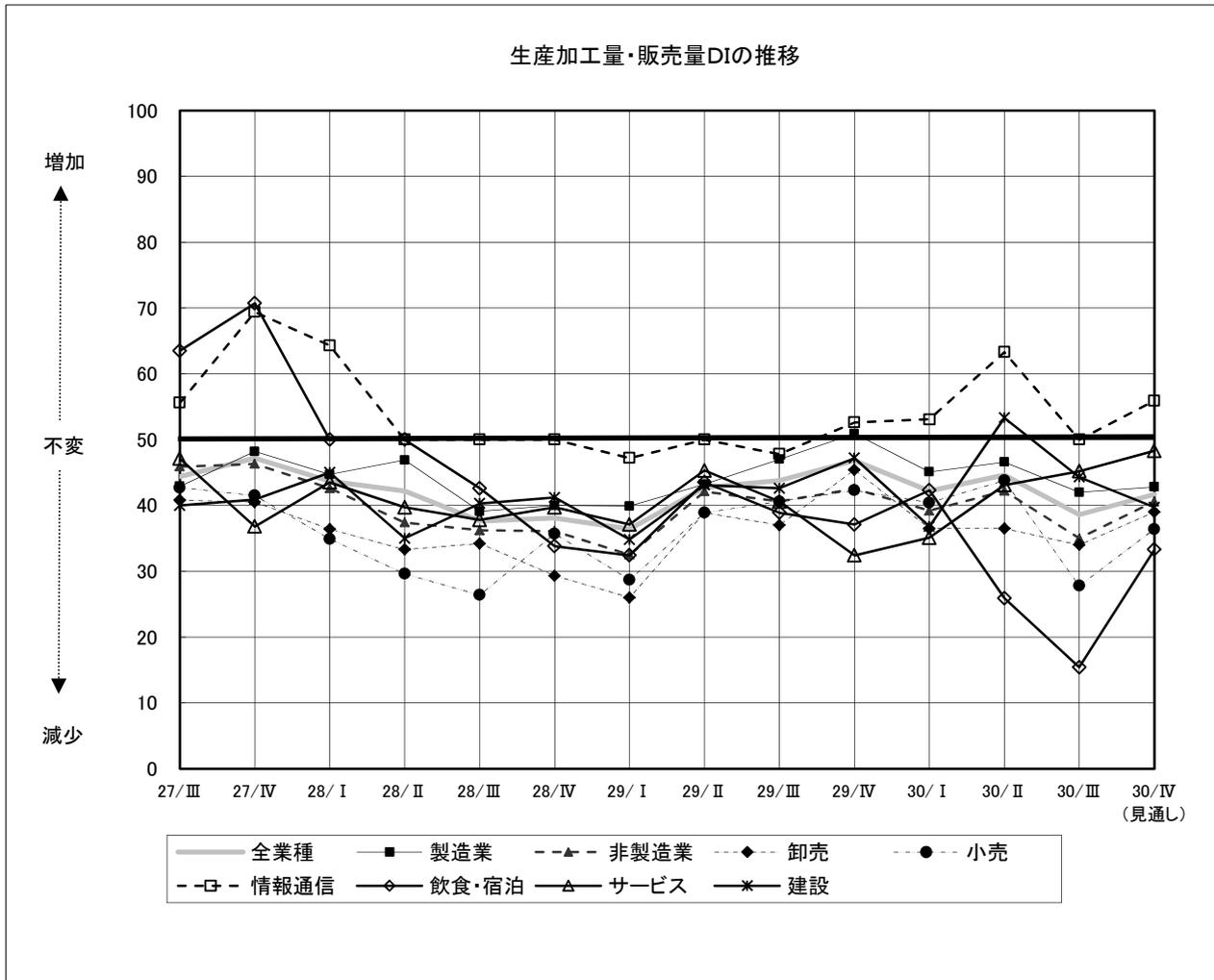


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

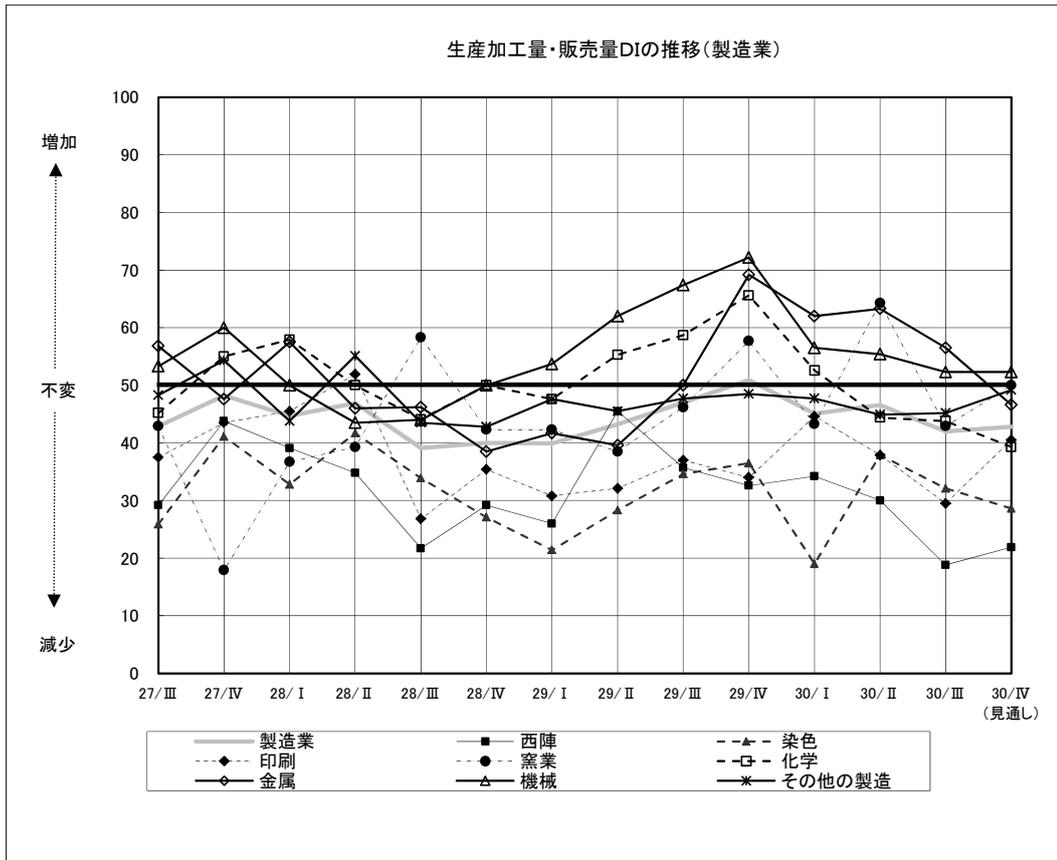


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	44.6	38.6	▼ 6.0	△ 3.1
製造業	46.6	42.0	▼ 4.6	△ 0.8
西陣	30.0	18.8	▼ 11.2	△ 3.1
染色	37.9	32.1	▼ 5.8	▼ 3.5
印刷	37.9	29.5	▼ 8.4	△ 11.0
窯業	64.3	42.9	▼ 21.4	△ 7.1
化学	44.4	43.8	▼ 0.6	▼ 4.5
金属	63.3	56.5	▼ 6.8	▼ 9.9
機械	55.4	52.3	▼ 3.1	0.0
その他の製造	44.9	45.2	△ 0.3	△ 4.0
非製造業	42.2	35.0	▼ 7.2	△ 5.6
卸売	36.5	34.0	▼ 2.5	△ 5.0
小売	43.8	27.8	▼ 16.0	△ 8.6
情報通信	63.3	50.0	▼ 13.3	△ 5.9
飲食・宿泊	25.9	15.4	▼ 10.5	△ 17.9
サービス	43.1	45.2	△ 2.1	△ 3.1
建設	53.3	44.3	▼ 9.0	▼ 4.6
観光関連	35.0	20.0	▼ 15.0	△ 14.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

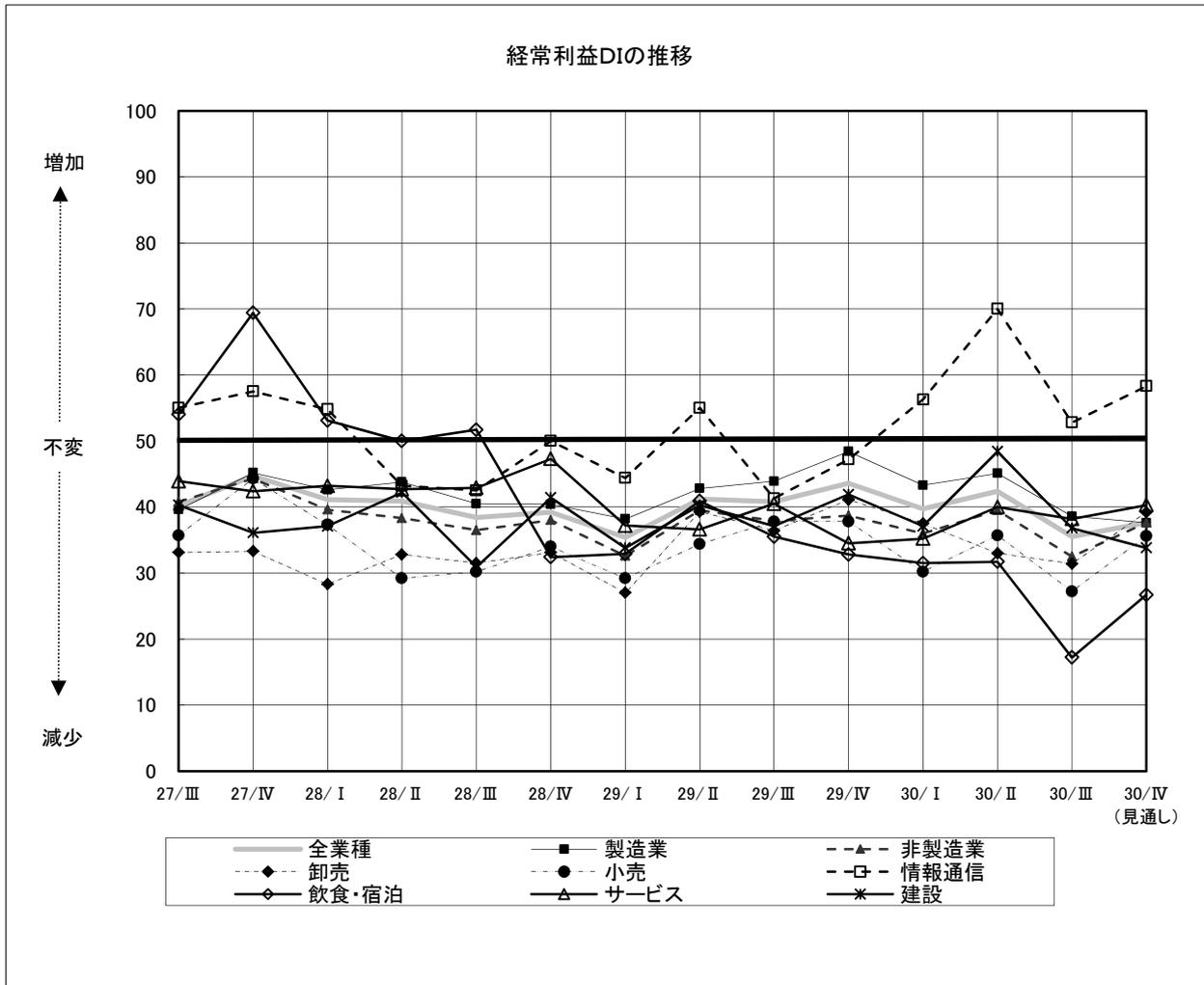


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

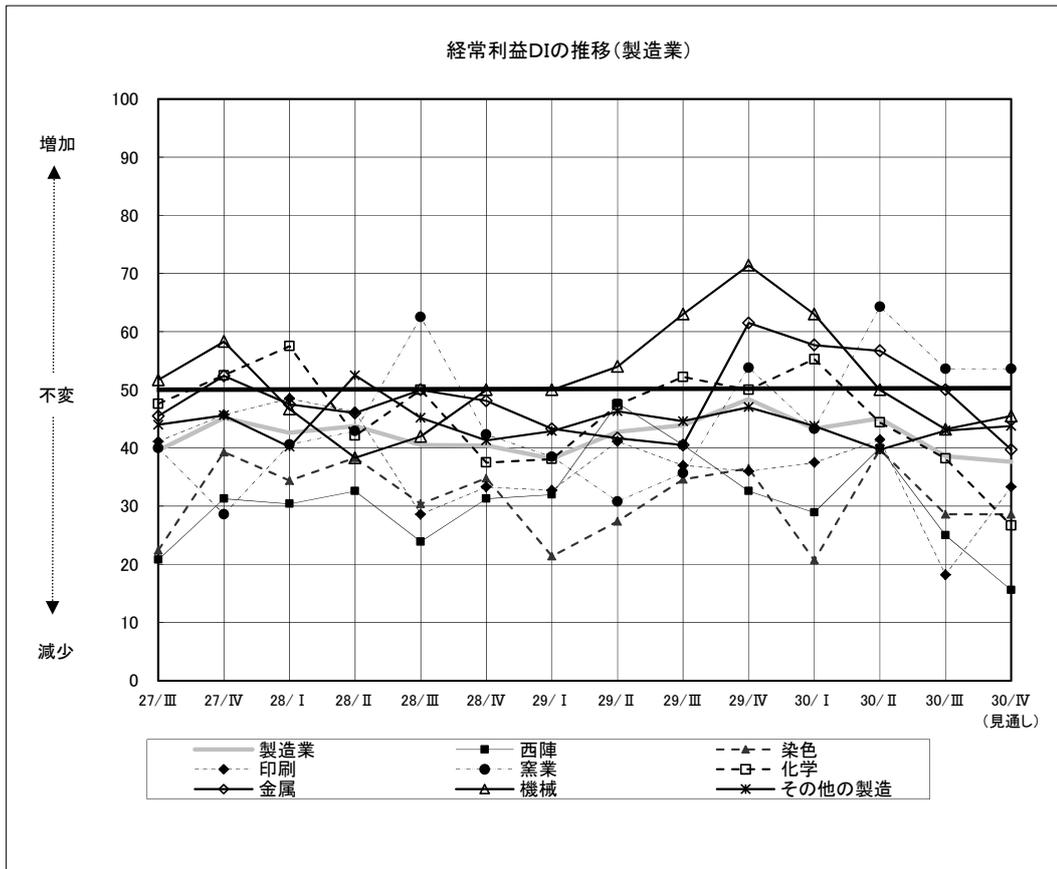


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	42.4	35.5	▼ 6.9	37.6 △ 2.1
製造業	45.1	38.6	▼ 6.5	37.6 ▼ 1.0
西陣	40.0	25.0	▼ 15.0	15.6 ▼ 9.4
染色	39.7	28.6	▼ 11.1	28.6 0.0
印刷	41.4	18.2	▼ 23.2	33.3 △ 15.1
窯業	64.3	53.6	▼ 10.7	53.6 0.0
化学	44.4	38.2	▼ 6.2	26.7 ▼ 11.5
金属	56.7	50.0	▼ 6.7	39.7 ▼ 10.3
機械	50.0	43.2	▼ 6.8	45.5 △ 2.3
その他の製造	39.7	43.0	△ 3.3	43.8 △ 0.8
非製造業	39.5	32.5	▼ 7.0	37.6 △ 5.1
卸売	33.0	31.4	▼ 1.6	39.2 △ 7.8
小売	35.7	27.2	▼ 8.5	35.6 △ 8.4
情報通信	70.0	52.8	▼ 17.2	58.3 △ 5.5
飲食・宿泊	31.7	17.2	▼ 14.5	26.7 △ 9.5
サービス	40.0	38.2	▼ 1.8	40.3 △ 2.1
建設	48.4	36.8	▼ 11.6	33.8 ▼ 3.0
観光関連	30.4	18.8	▼ 11.6	30.6 △ 11.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

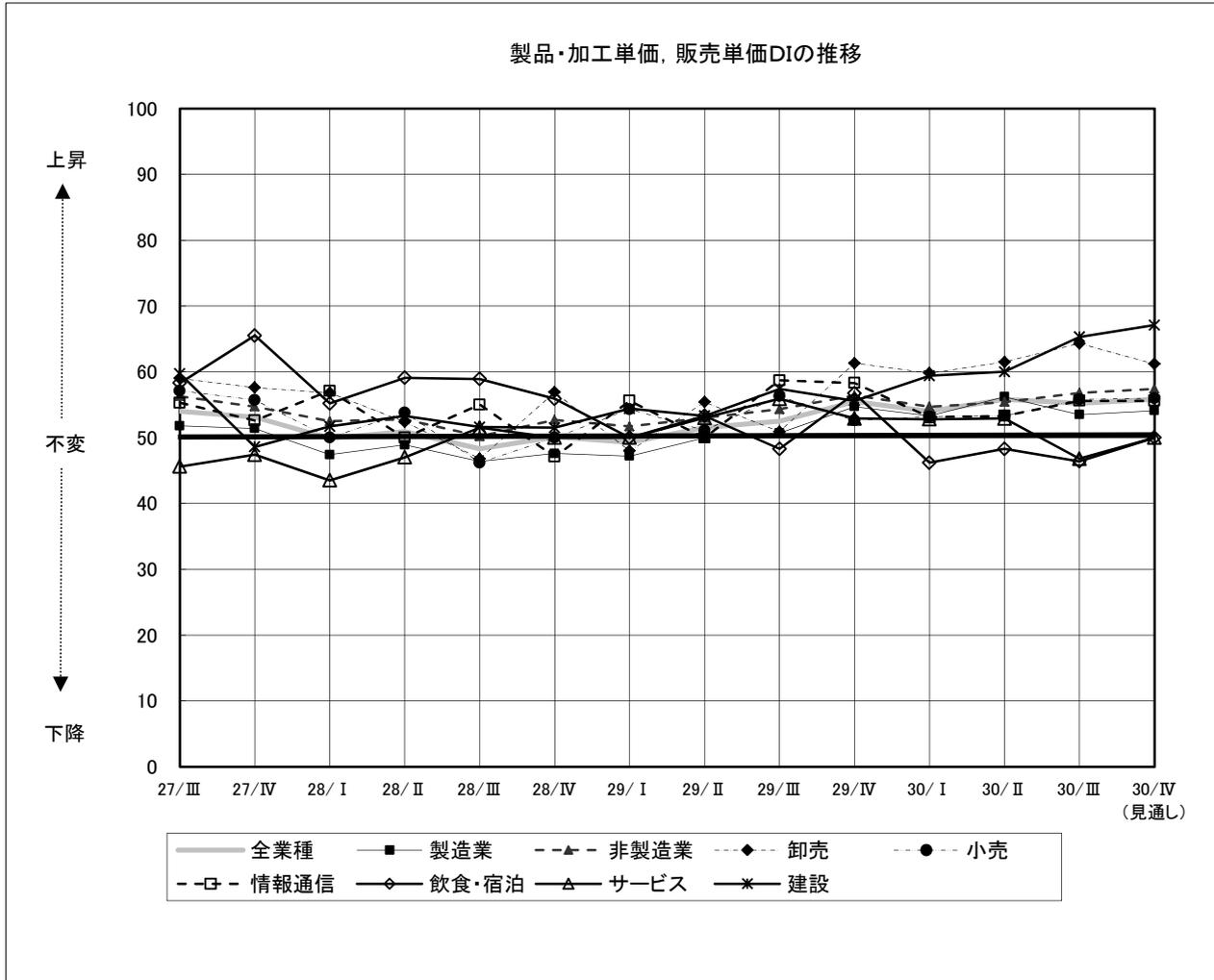


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

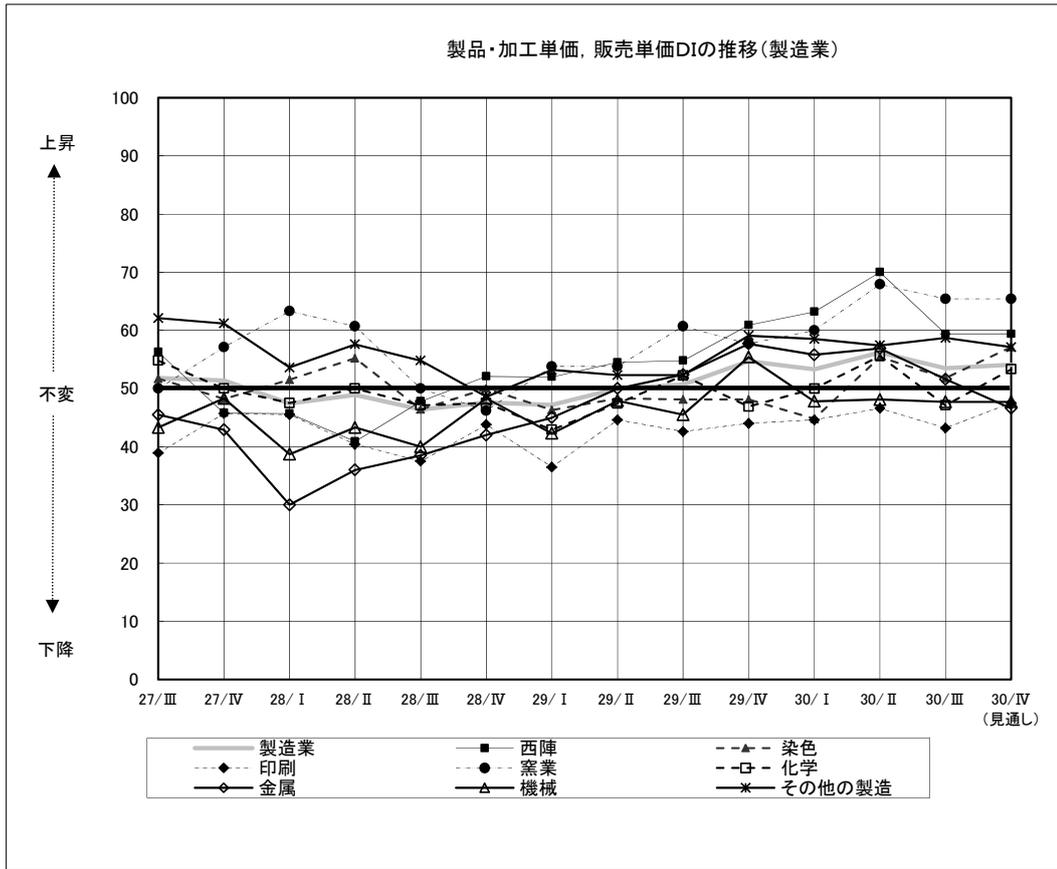


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	55.8	55.2	▼ 0.6	△ 0.6
製造業	56.2	53.5	▼ 2.7	△ 0.6
西陣	70.0	59.4	▼ 10.6	0.0
染色	55.4	51.8	▼ 3.6	△ 5.3
印刷	46.6	43.2	▼ 3.4	△ 4.3
窯業	67.9	65.4	▼ 2.5	0.0
化学	55.6	47.1	▼ 8.5	△ 6.2
金属	56.9	51.6	▼ 5.3	▼ 5.0
機械	48.1	47.7	▼ 0.4	0.0
その他の製造	57.4	58.7	△ 1.3	▼ 1.6
非製造業	55.4	56.8	△ 1.4	△ 0.6
卸売	61.5	64.3	△ 2.8	▼ 3.1
小売	53.3	55.8	△ 2.5	△ 0.2
情報通信	53.3	55.6	△ 2.3	0.0
飲食・宿泊	48.3	46.4	▼ 1.9	△ 3.6
サービス	52.9	46.8	▼ 6.1	△ 3.2
建設	60.0	65.3	△ 5.3	△ 1.8
観光関連	56.9	50.0	▼ 6.9	△ 3.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

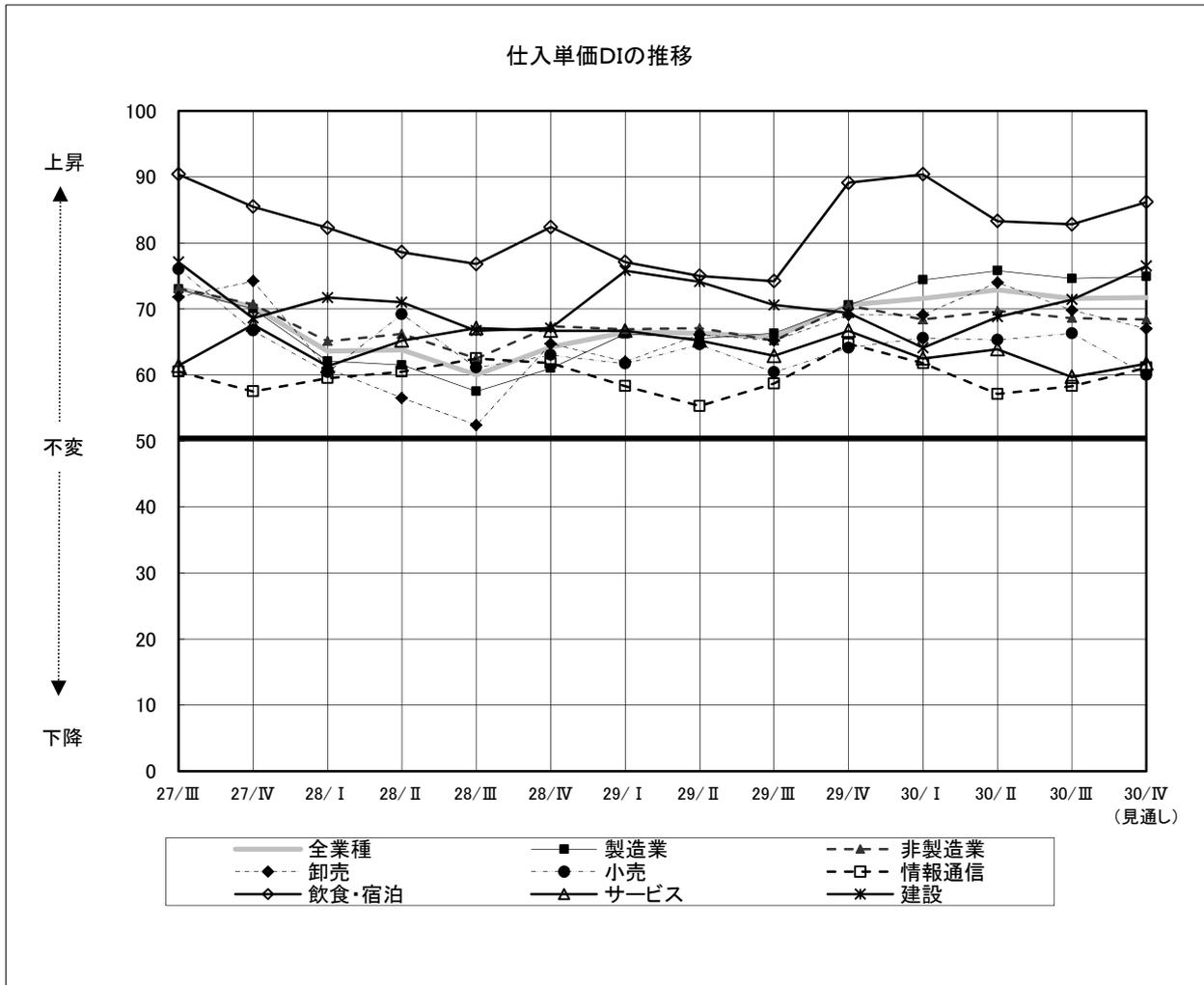


図 10. 仕入単価DIの推移（製造業）

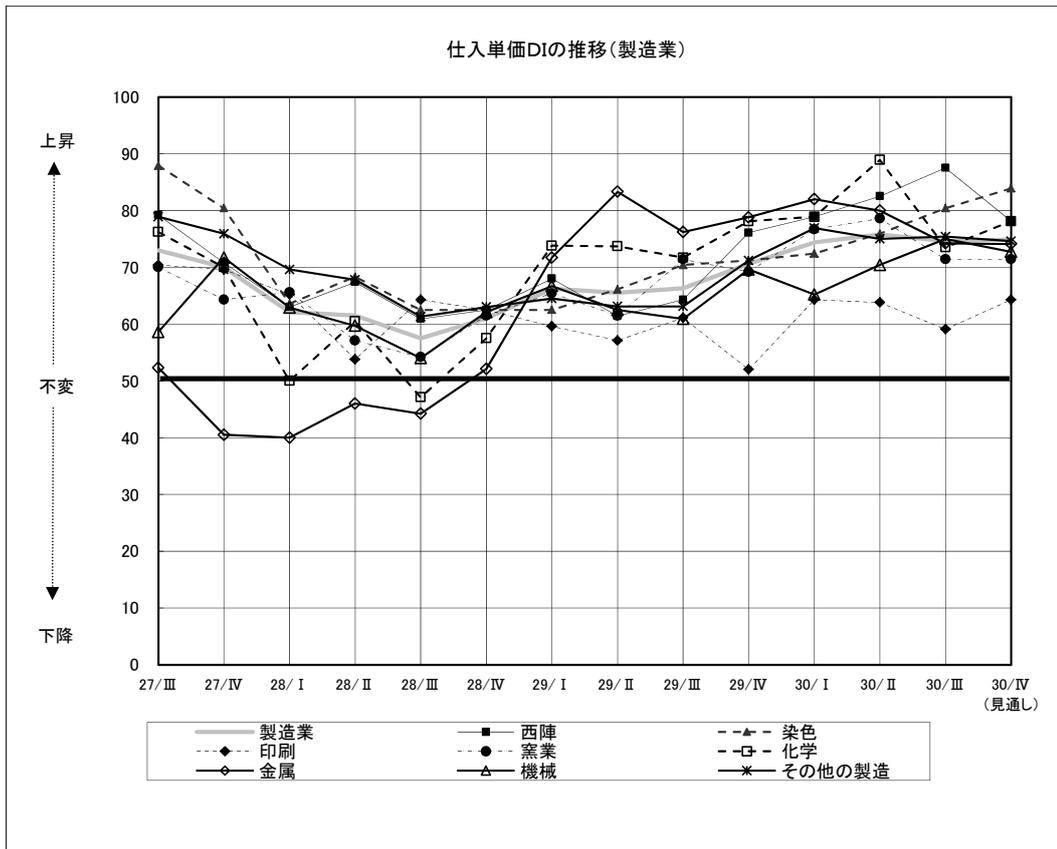


表 5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	72.9	71.6	▼ 1.3	71.7 △ 0.1
製造業	75.8	74.6	▼ 1.2	74.9 △ 0.3
西陣	82.5	87.5	△ 5.0	78.1 ▼ 9.4
染色	75.9	80.4	△ 4.5	83.9 △ 3.5
印刷	63.8	59.1	▼ 4.7	64.3 △ 5.2
窯業	78.6	71.4	▼ 7.2	71.4 0.0
化学	88.9	73.5	▼ 15.4	78.1 △ 4.6
金属	80.0	74.2	▼ 5.8	74.1 ▼ 0.1
機械	70.4	75.0	△ 4.6	72.7 ▼ 2.3
その他の製造	75.0	75.4	△ 0.4	74.6 ▼ 0.8
非製造業	69.7	68.6	▼ 1.1	68.4 ▼ 0.2
卸売	74.0	69.8	▼ 4.2	67.0 ▼ 2.8
小売	65.3	66.3	△ 1.0	60.0 ▼ 6.3
情報通信	57.1	58.3	△ 1.2	61.1 △ 2.8
飲食・宿泊	83.3	82.8	▼ 0.5	86.2 △ 3.4
サービス	63.9	59.7	▼ 4.2	61.7 △ 2.0
建設	68.8	71.4	△ 2.6	76.5 △ 5.1
観光関連	76.0	72.9	▼ 3.1	74.0 △ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

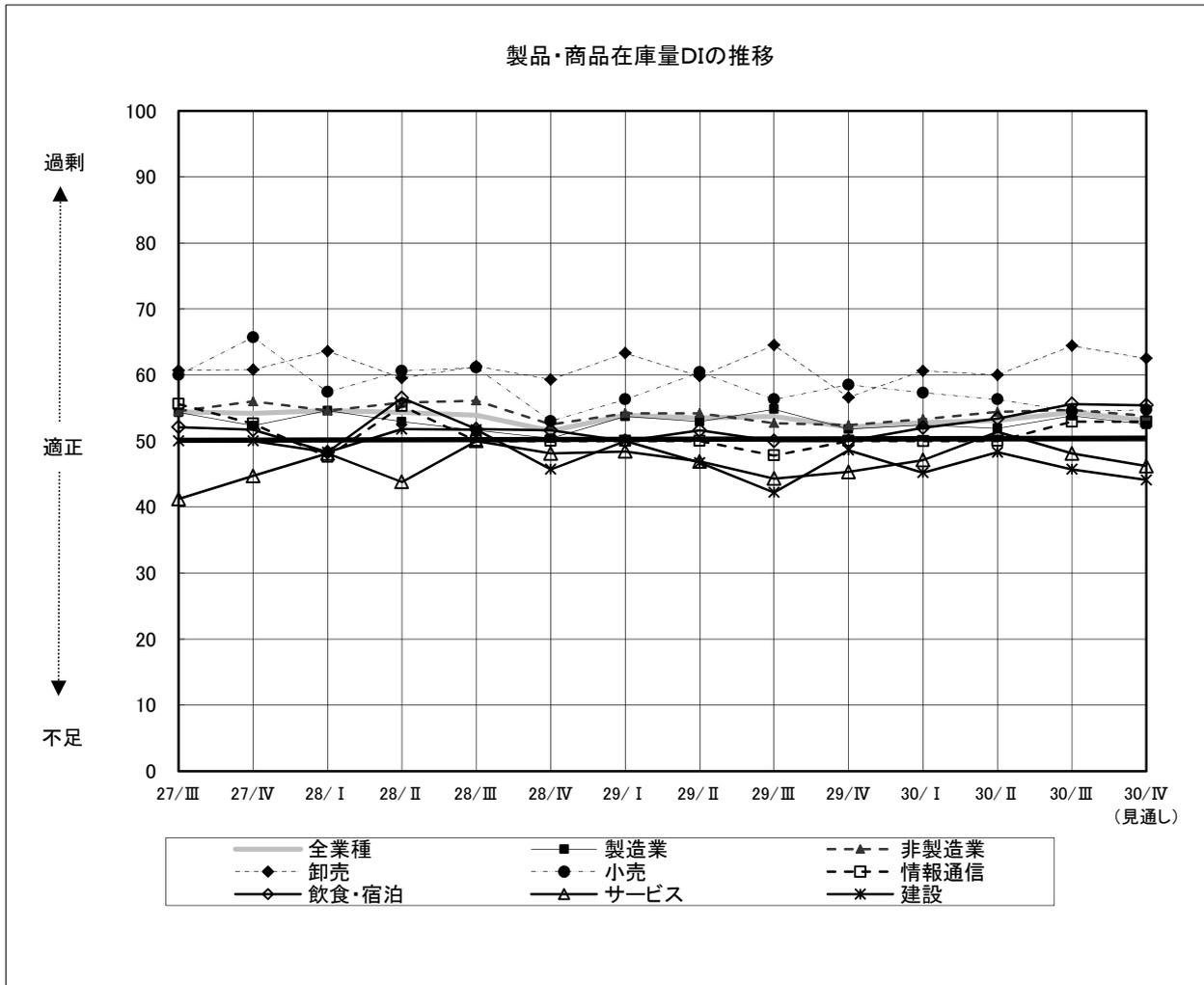


図 12. 製品・商品在庫量DIの推移（製造業）

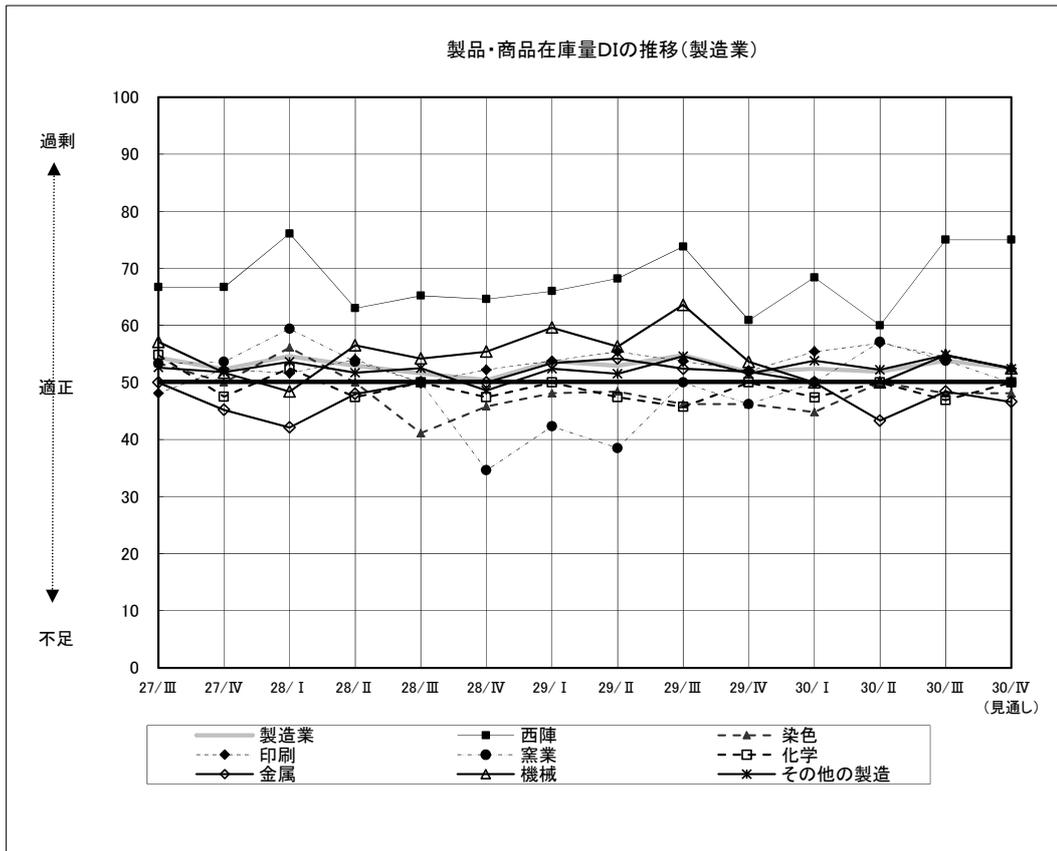


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	53.1	54.3	△ 1.2	53.1	▼ 1.2
製造業	51.9	53.8	△ 1.9	52.5	▼ 1.3
西陣	60.0	75.0	△ 15.0	75.0	0.0
染色	50.0	48.1	▼ 1.9	48.1	0.0
印刷	56.9	54.5	▼ 2.4	52.4	▼ 2.1
窯業	57.1	53.8	▼ 3.3	50.0	▼ 3.8
化学	50.0	46.9	▼ 3.1	50.0	△ 3.1
金属	43.3	48.4	△ 5.1	46.6	▼ 1.8
機械	50.0	54.8	△ 4.8	52.5	▼ 2.3
その他の製造	52.2	54.8	△ 2.6	52.4	▼ 2.4
非製造業	54.4	54.7	△ 0.3	53.8	▼ 0.9
卸売	60.0	64.4	△ 4.4	62.5	▼ 1.9
小売	56.3	54.5	▼ 1.8	54.7	△ 0.2
情報通信	50.0	52.9	△ 2.9	52.9	0.0
飲食・宿泊	53.4	55.6	△ 2.2	55.4	▼ 0.2
サービス	51.4	48.1	▼ 3.3	46.2	▼ 1.9
建設	48.3	45.7	▼ 2.6	44.1	▼ 1.6
観光関連	59.0	54.3	▼ 4.7	54.3	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移 (全体)

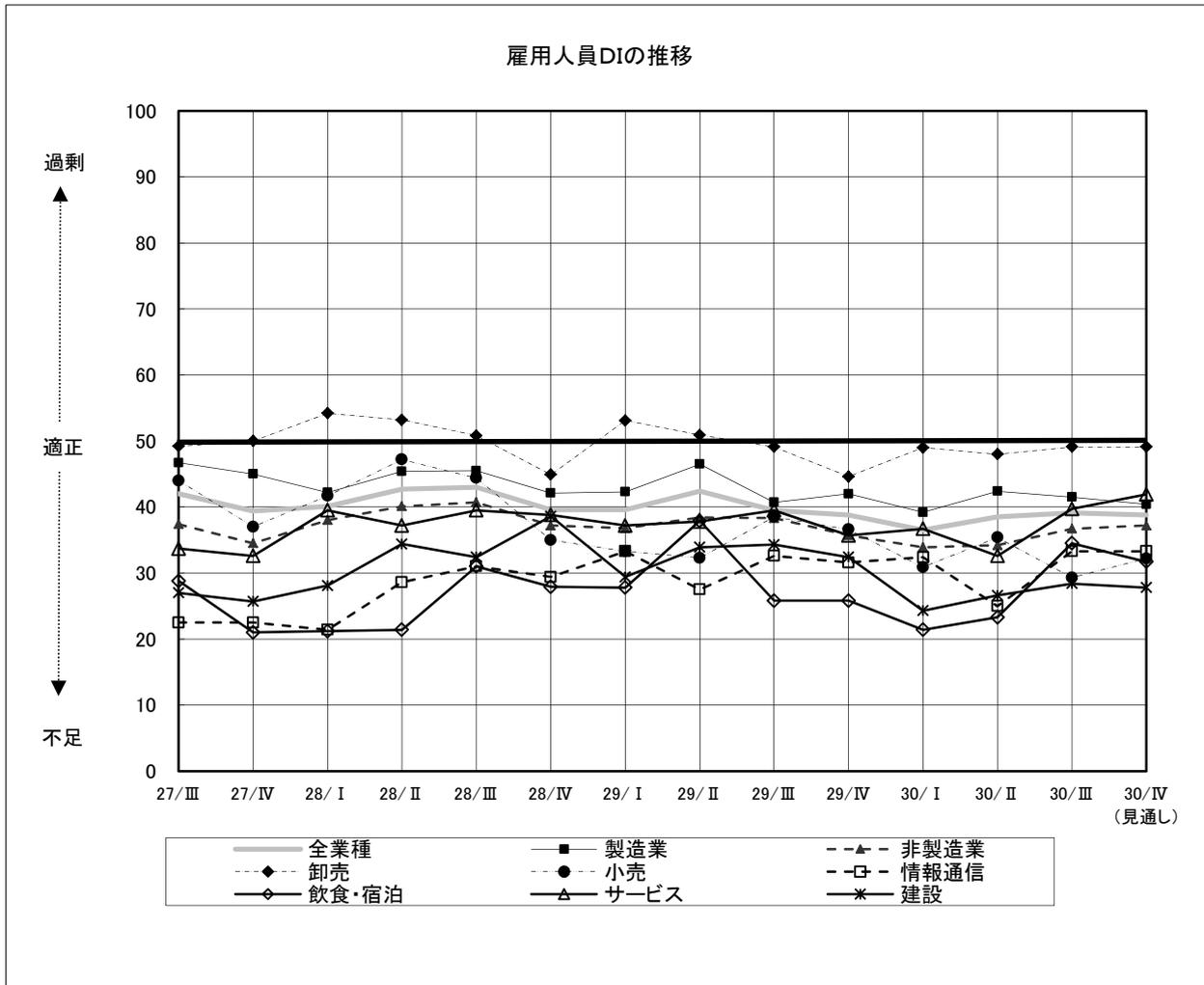


図 14. 雇用人員DIの推移（製造業）

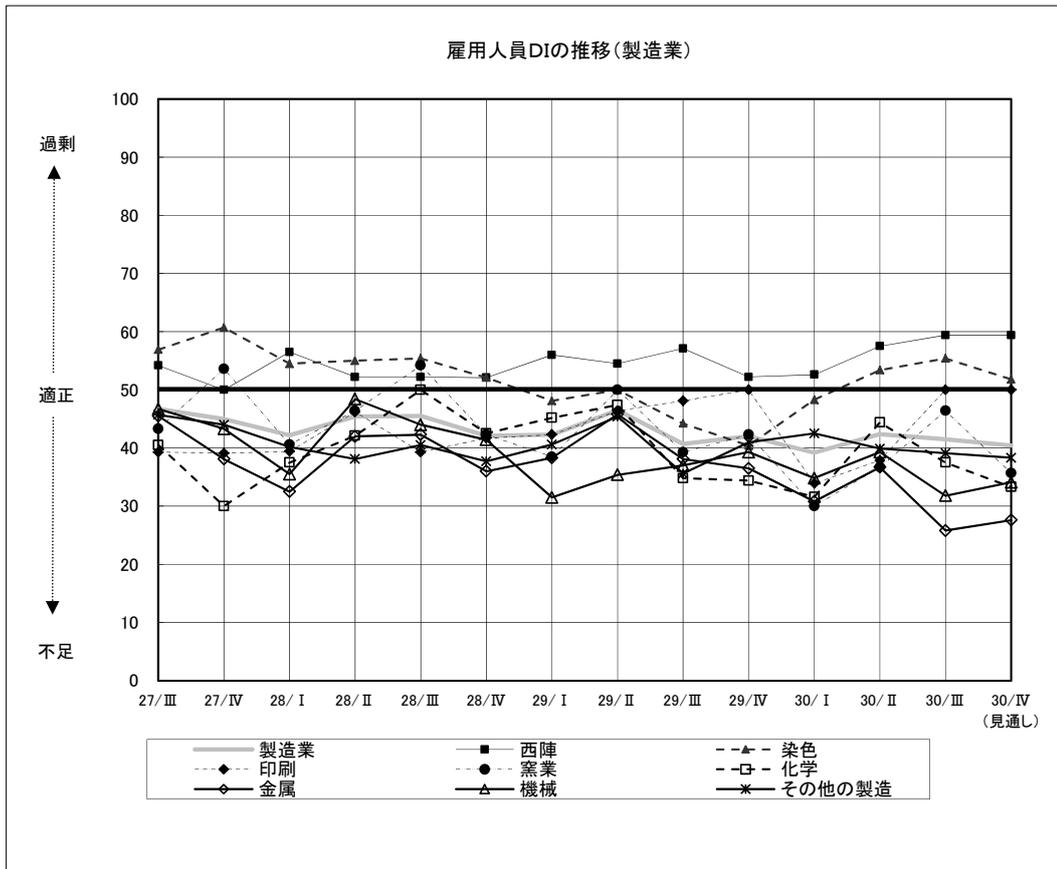


表 7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.5	39.1	△ 0.6	▼ 0.3
製造業	42.4	41.5	▼ 0.9	▼ 1.1
西陣	57.5	59.4	△ 1.9	0.0
染色	53.4	55.4	△ 2.0	▼ 3.6
印刷	37.9	50.0	△ 12.1	0.0
窯業	36.7	46.4	△ 9.7	▼ 10.7
化学	44.4	37.5	▼ 6.9	▼ 4.2
金属	36.7	25.8	▼ 10.9	△ 1.8
機械	39.3	31.8	▼ 7.5	△ 2.3
其他の製造	39.9	39.1	▼ 0.8	▼ 0.8
非製造業	34.2	36.7	△ 2.5	△ 0.5
卸売	48.0	49.1	△ 1.1	0.0
小売	35.4	29.3	▼ 6.1	△ 2.9
情報通信	25.0	33.3	△ 8.3	0.0
飲食・宿泊	23.3	34.5	△ 11.2	▼ 2.8
サービス	32.6	39.7	△ 7.1	△ 2.2
建設	26.6	28.4	△ 1.8	▼ 0.6
観光関連	35.3	35.4	△ 0.1	▼ 2.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

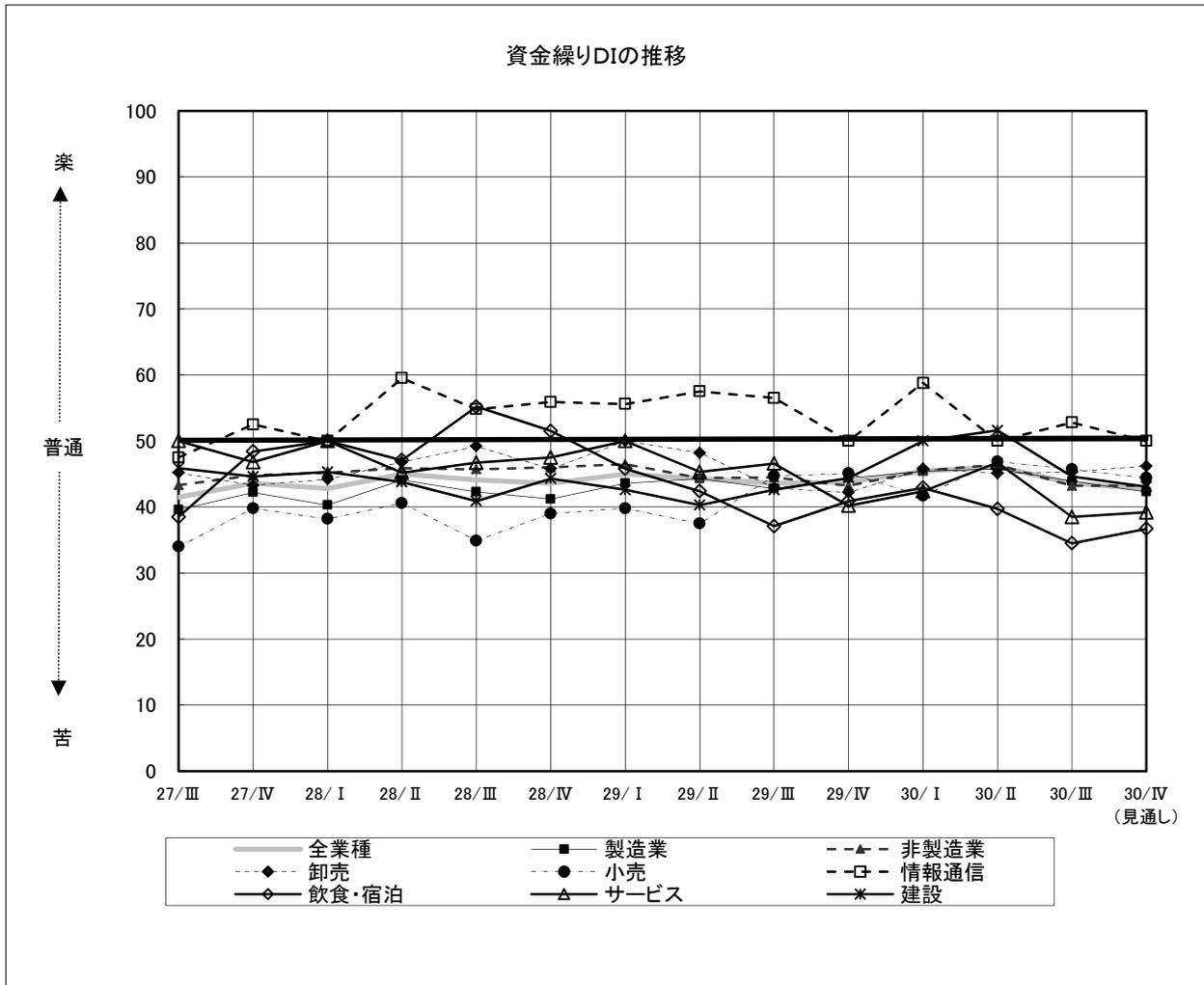


図 16. 資金繰り DI の推移 (製造業)

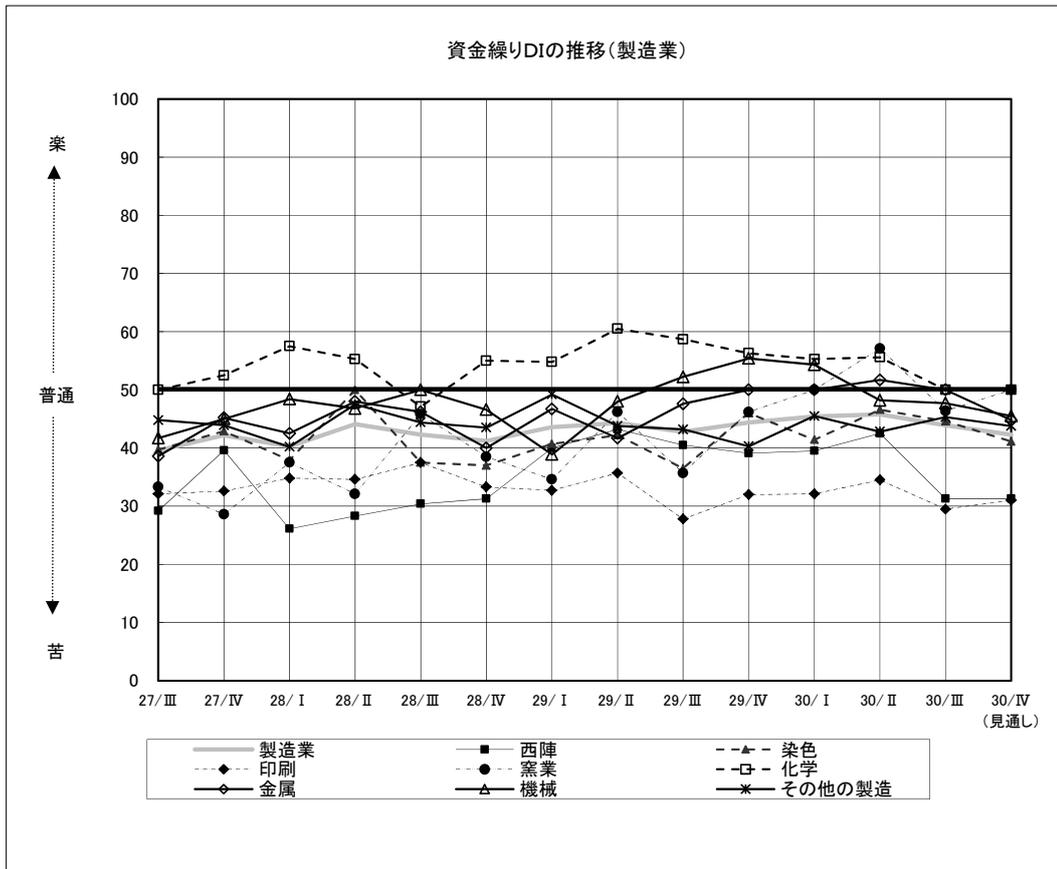


表 8. 資金繰り DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	46.1	43.6	▼ 2.5	42.8 ▼ 0.8
製造業	45.8	43.9	▼ 1.9	42.3 ▼ 1.6
西陣	42.5	31.3	▼ 11.2	31.3 0.0
染色	46.6	44.6	▼ 2.0	41.1 ▼ 3.5
印刷	34.5	29.5	▼ 5.0	31.0 △ 1.5
窯業	57.1	46.4	▼ 10.7	50.0 △ 3.6
化学	55.6	50.0	▼ 5.6	50.0 0.0
金属	51.7	50.0	▼ 1.7	44.8 ▼ 5.2
機械	48.2	47.7	▼ 0.5	45.5 ▼ 2.2
その他の製造	42.8	45.3	△ 2.5	43.8 ▼ 1.5
非製造業	46.4	43.2	▼ 3.2	43.2 0.0
卸売	45.1	45.3	△ 0.2	46.2 △ 0.9
小売	46.9	45.7	▼ 1.2	44.4 ▼ 1.3
情報通信	50.0	52.8	△ 2.8	50.0 ▼ 2.8
飲食・宿泊	39.7	34.5	▼ 5.2	36.7 △ 2.2
サービス	46.7	38.5	▼ 8.2	39.2 △ 0.7
建設	51.6	44.6	▼ 7.0	43.1 ▼ 1.5
観光関連	43.0	35.4	▼ 7.6	35.7 △ 0.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

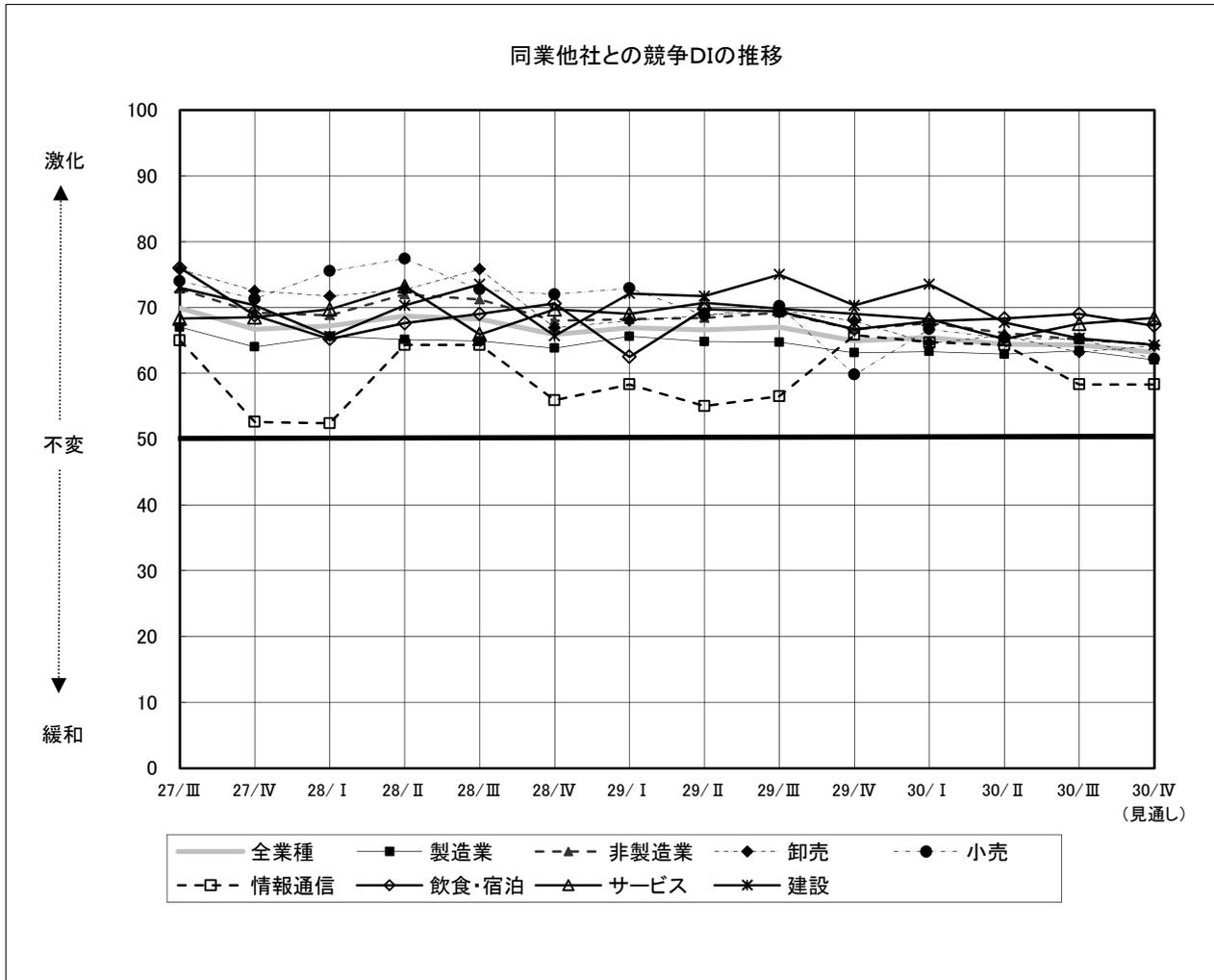


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

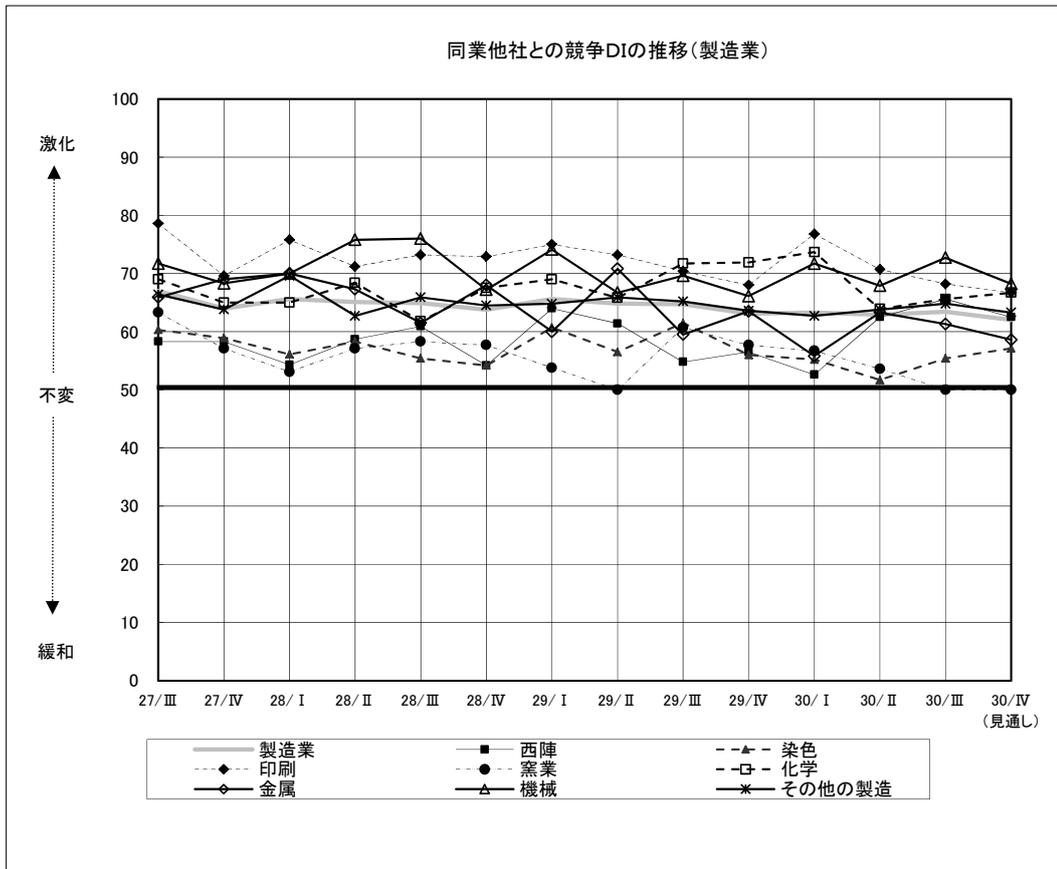


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	64.4	64.3	▼ 0.1	63.2	▼ 1.1
製造業	62.9	63.4	△ 0.5	62.0	▼ 1.4
西陣	62.5	65.6	△ 3.1	62.5	▼ 3.1
染色	51.7	55.4	△ 3.7	57.1	△ 1.7
印刷	70.7	68.2	▼ 2.5	66.7	▼ 1.5
窯業	53.6	50.0	▼ 3.6	50.0	0.0
化学	63.9	65.6	△ 1.7	66.7	△ 1.1
金属	63.3	61.3	▼ 2.0	58.6	▼ 2.7
機械	67.9	72.7	△ 4.8	68.2	▼ 4.5
その他の製造	63.8	64.8	△ 1.0	63.3	▼ 1.5
非製造業	66.1	65.1	▼ 1.0	64.4	▼ 0.7
卸売	65.7	63.2	▼ 2.5	64.2	△ 1.0
小売	65.3	65.2	▼ 0.1	62.2	▼ 3.0
情報通信	64.3	58.3	▼ 6.0	58.3	0.0
飲食・宿泊	68.3	69.0	△ 0.7	67.2	▼ 1.8
サービス	65.2	67.5	△ 2.3	68.4	△ 0.9
建設	67.7	65.3	▼ 2.4	64.3	▼ 1.0
観光関連	71.6	72.9	△ 1.3	71.9	▼ 1.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

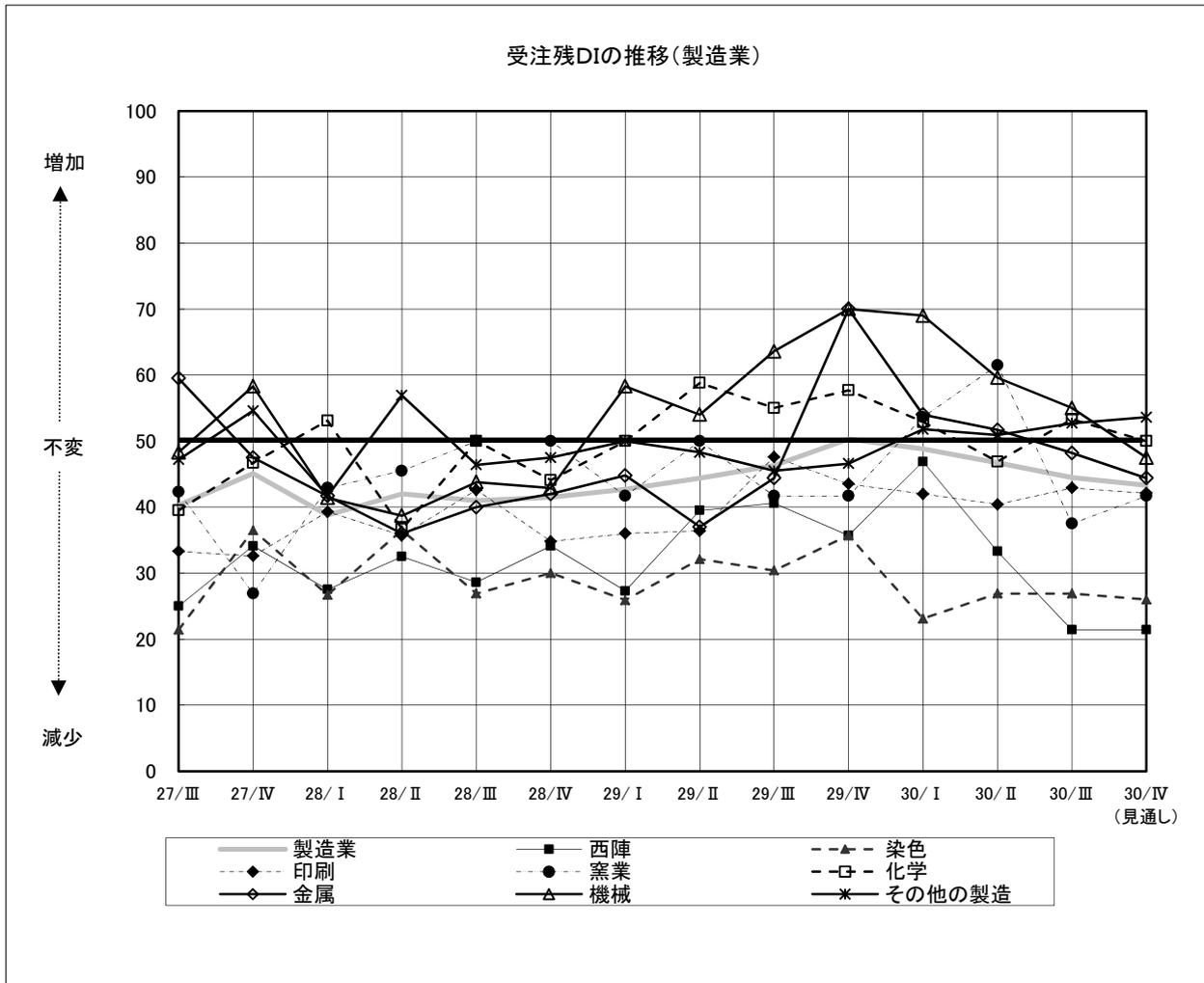


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	46.7	44.5	▼ 2.2	43.3
西陣	33.3	21.4	▼ 11.9	21.4
染色	26.9	26.9	0.0	26.0
印刷	40.4	42.9	△ 2.5	42.1
窯業	61.5	37.5	▼ 24.0	41.7
化学	46.9	53.3	△ 6.4	50.0
金属	51.7	48.2	▼ 3.5	44.4
機械	59.6	55.0	▼ 4.6	47.5
その他の製造	50.9	52.7	△ 1.8	53.6
観光関連	42.9	31.3	▼ 11.6	33.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1 1. 生産設備

図 20. 生産設備 DI の推移

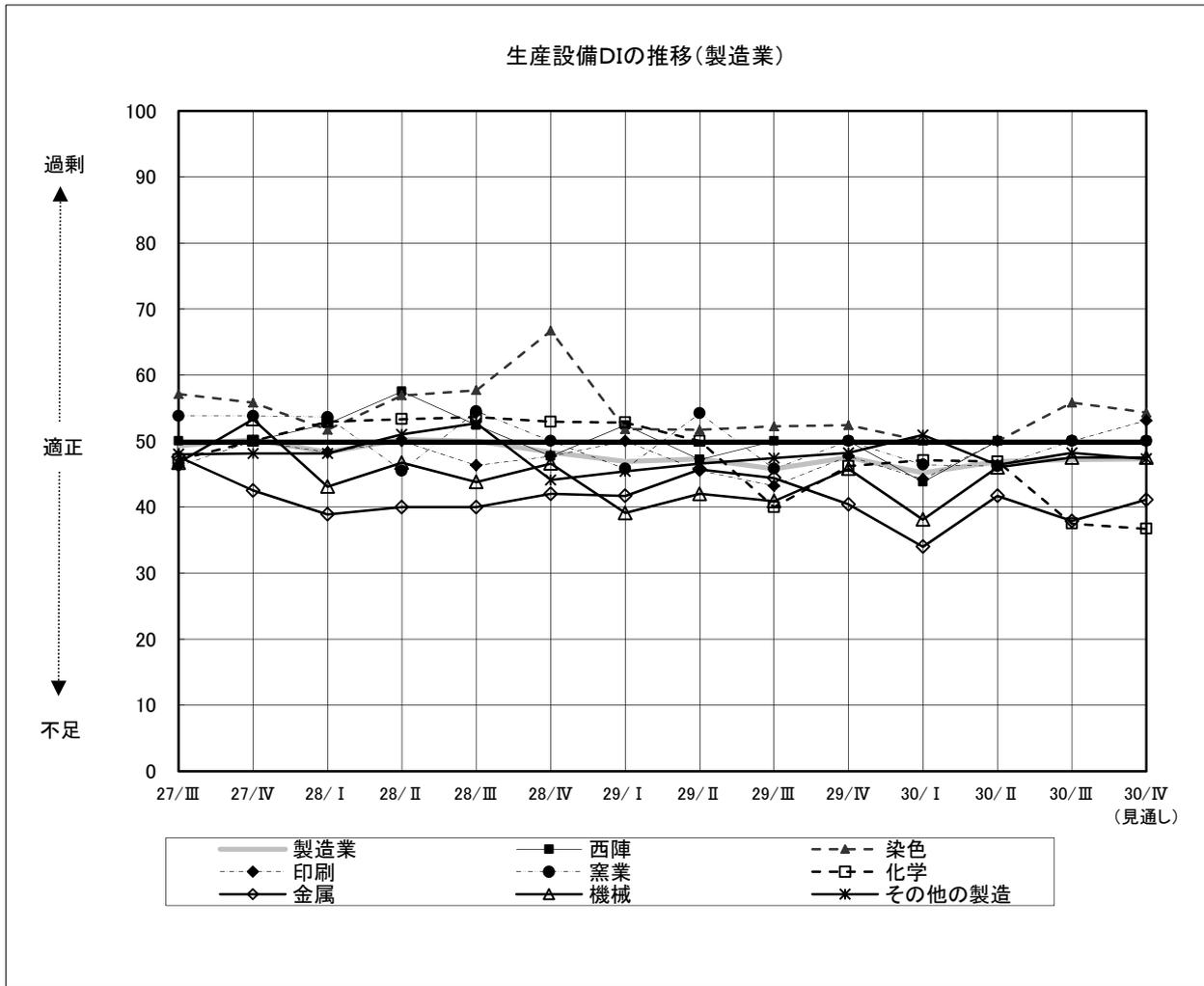


表 11. 生産設備 DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
製造業	46.9	47.2	△ 0.3	47.3	△ 0.1
西陣	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
染色	50.0	55.8	△ 5.8	54.3	▼ 1.5
印刷	50.0	50.0	0.0	53.1	△ 3.1
窯業	46.2	50.0	△ 3.8	50.0	0.0
化学	46.9	37.5	▼ 9.4	36.7	▼ 0.8
金属	41.7	37.9	▼ 3.8	41.1	△ 3.2
機械	46.0	47.5	△ 1.5	47.5	0.0
其他の製造	46.4	48.2	△ 1.8	47.3	▼ 0.9
観光関連	50.0	53.1	△ 3.1	50.0	▼ 3.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

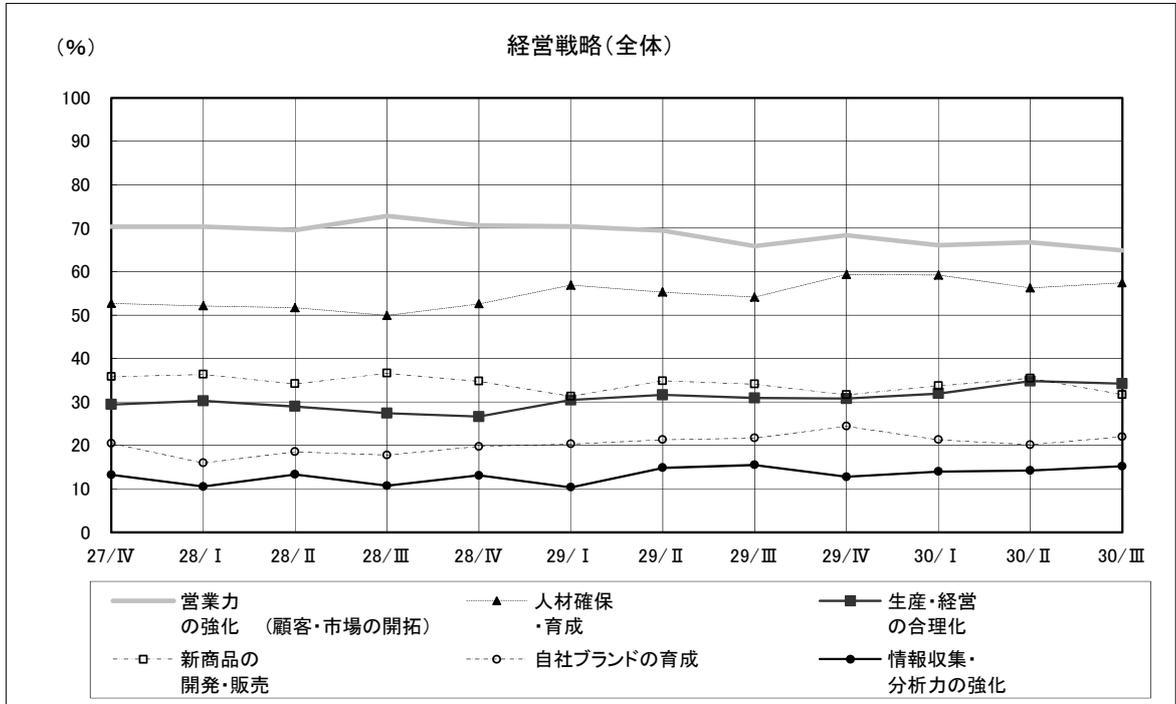


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

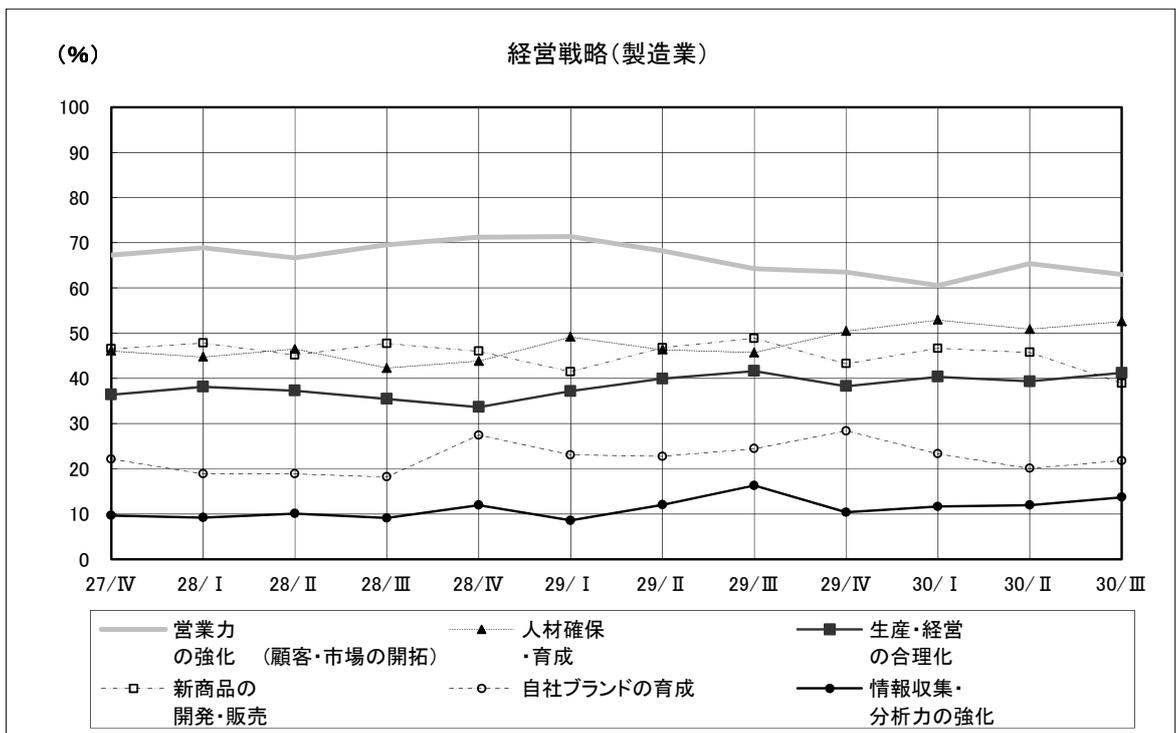


図 24. 当面の経営戦略・西陣

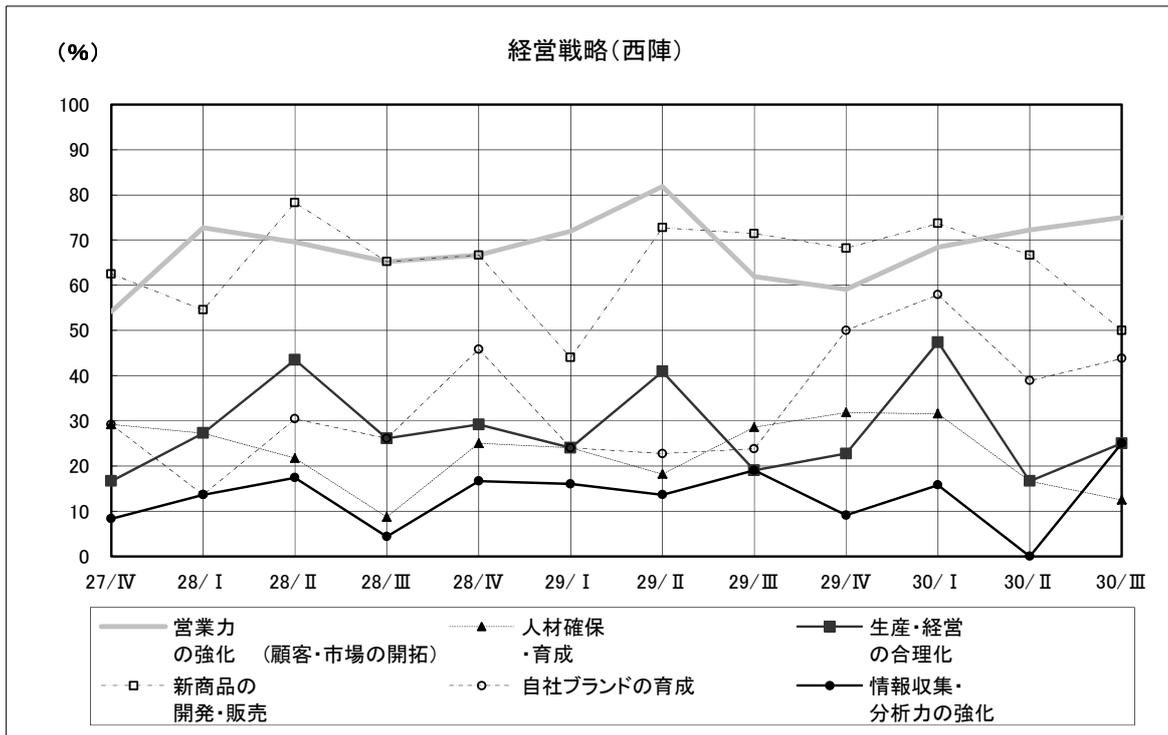


図 25. 当面の経営戦略・染色

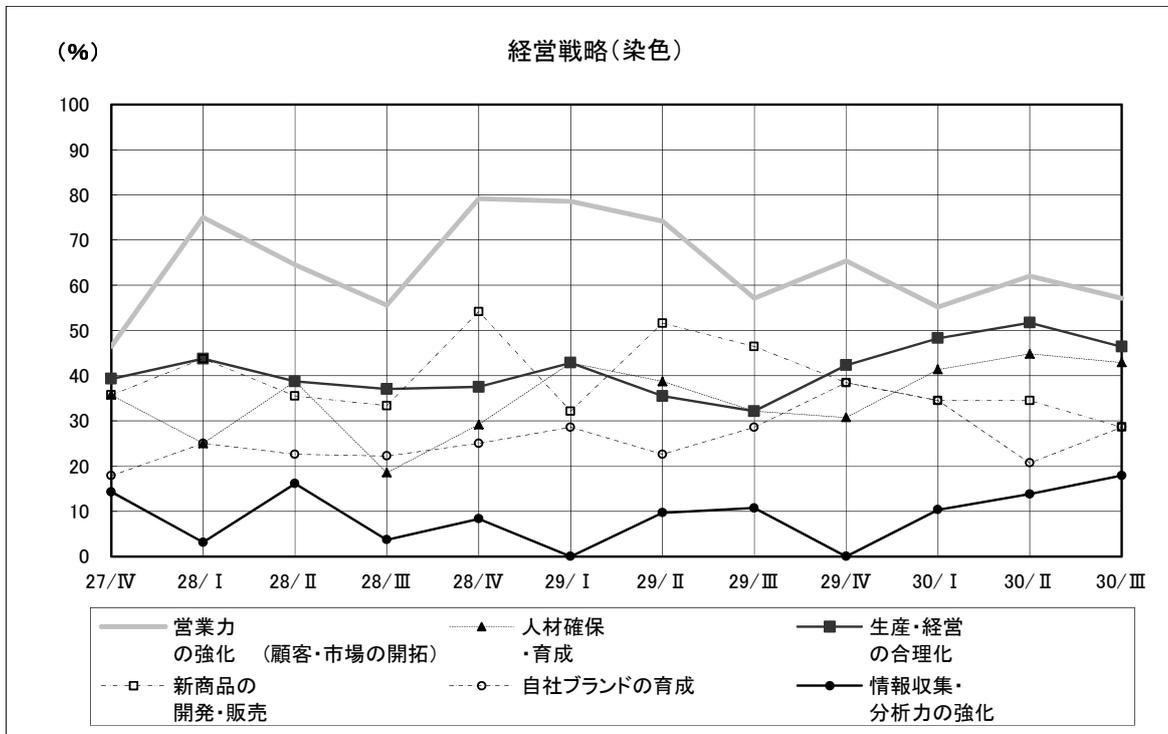


図 26. 当面の経営戦略・印刷

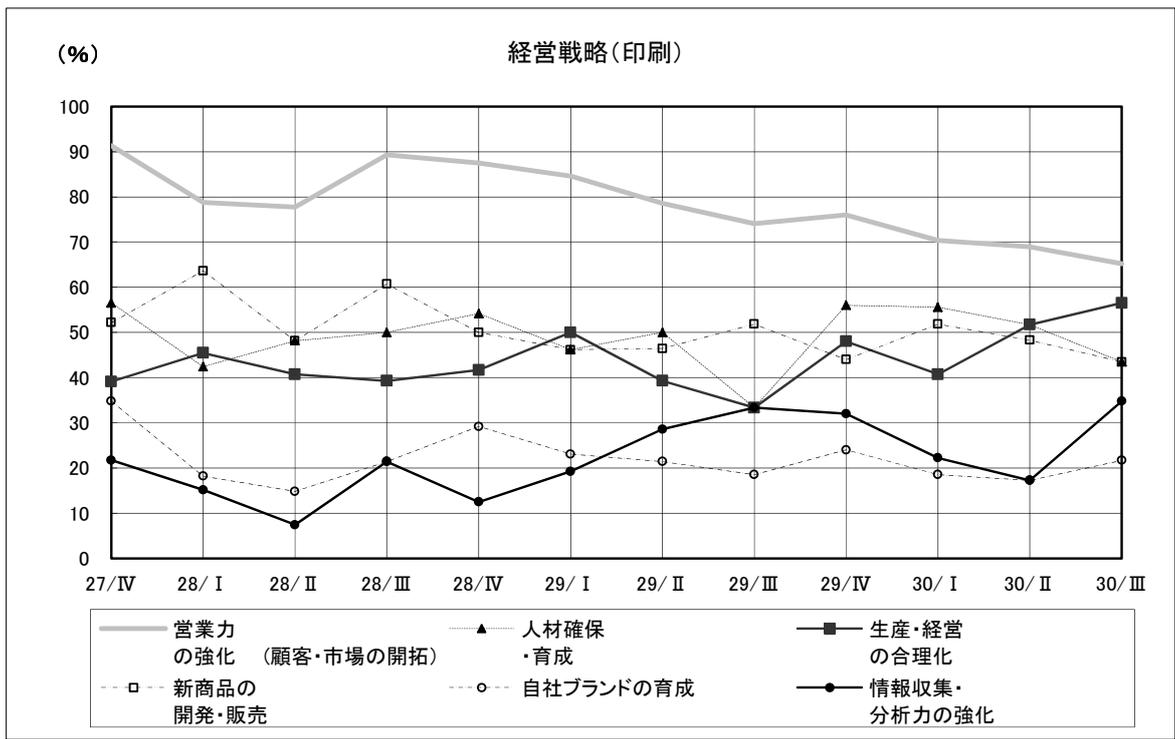


図 27. 当面の経営戦略・窯業

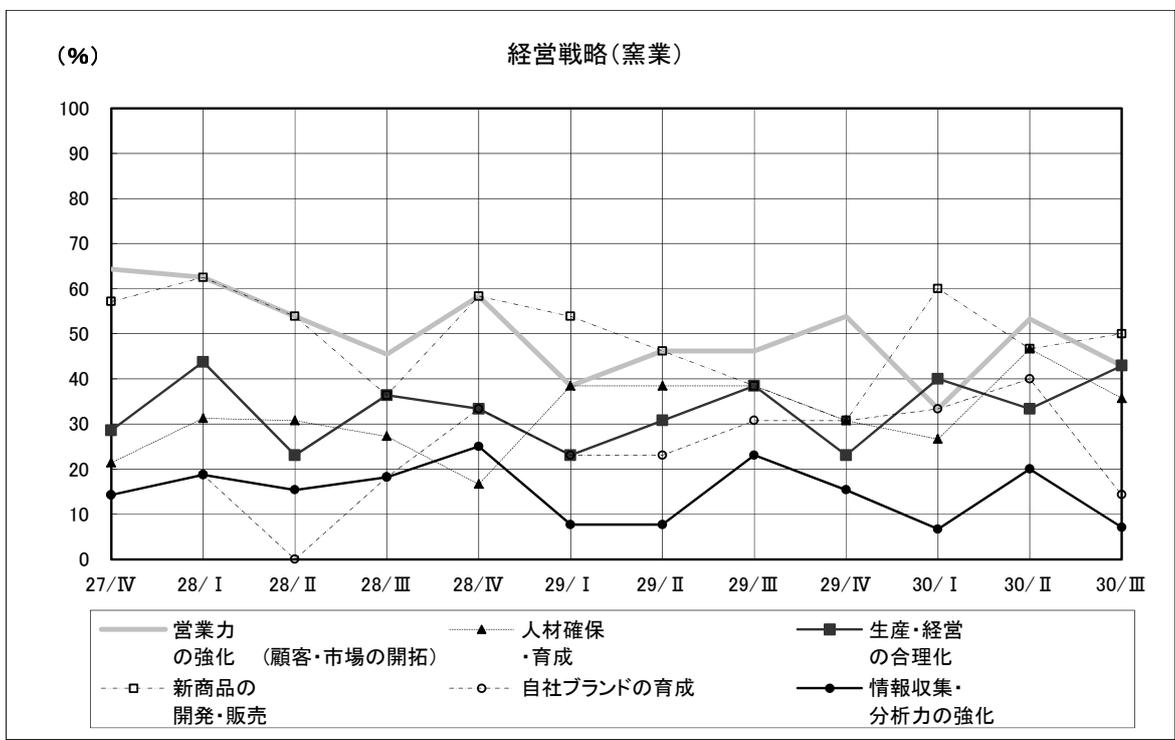


図 28. 当面の経営戦略・化学

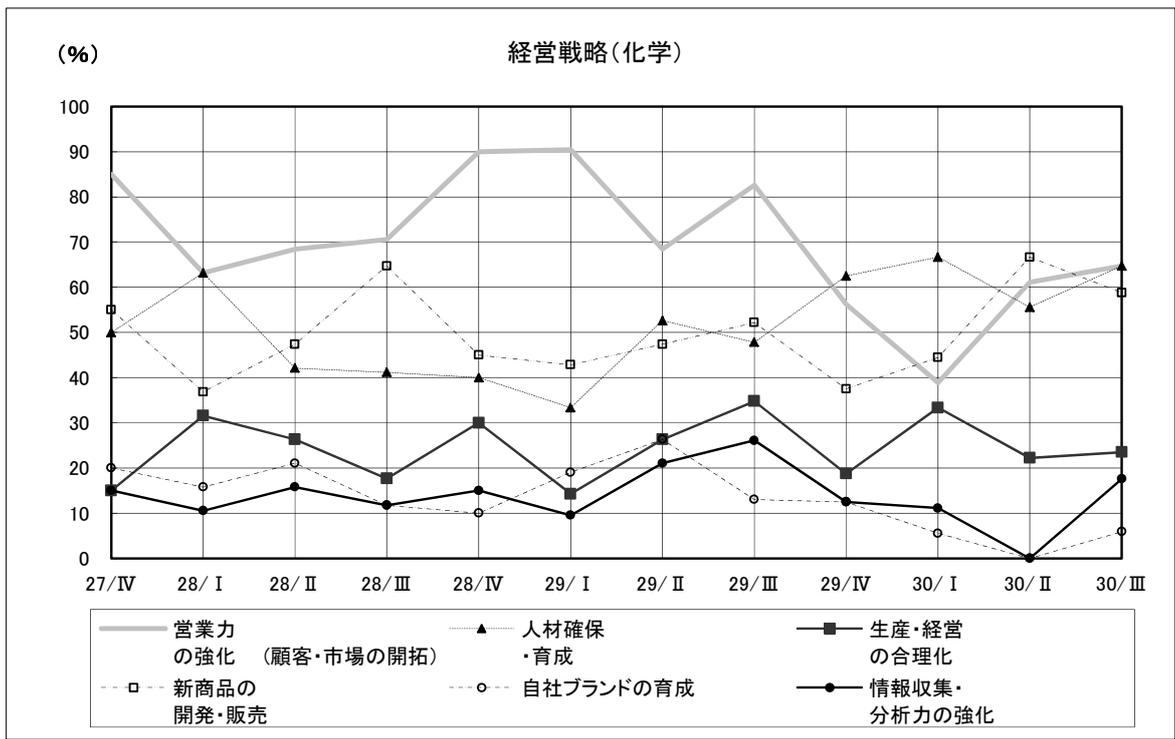


図 29. 当面の経営戦略・金属

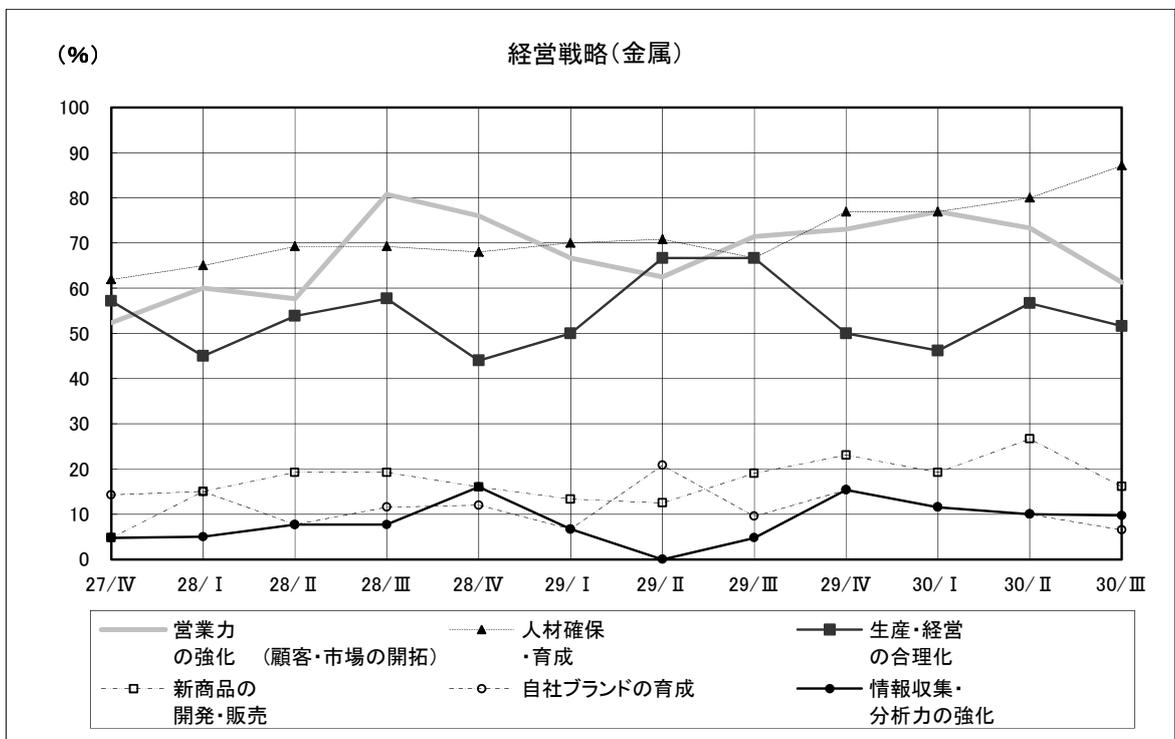


図 30. 当面の経営戦略・機械

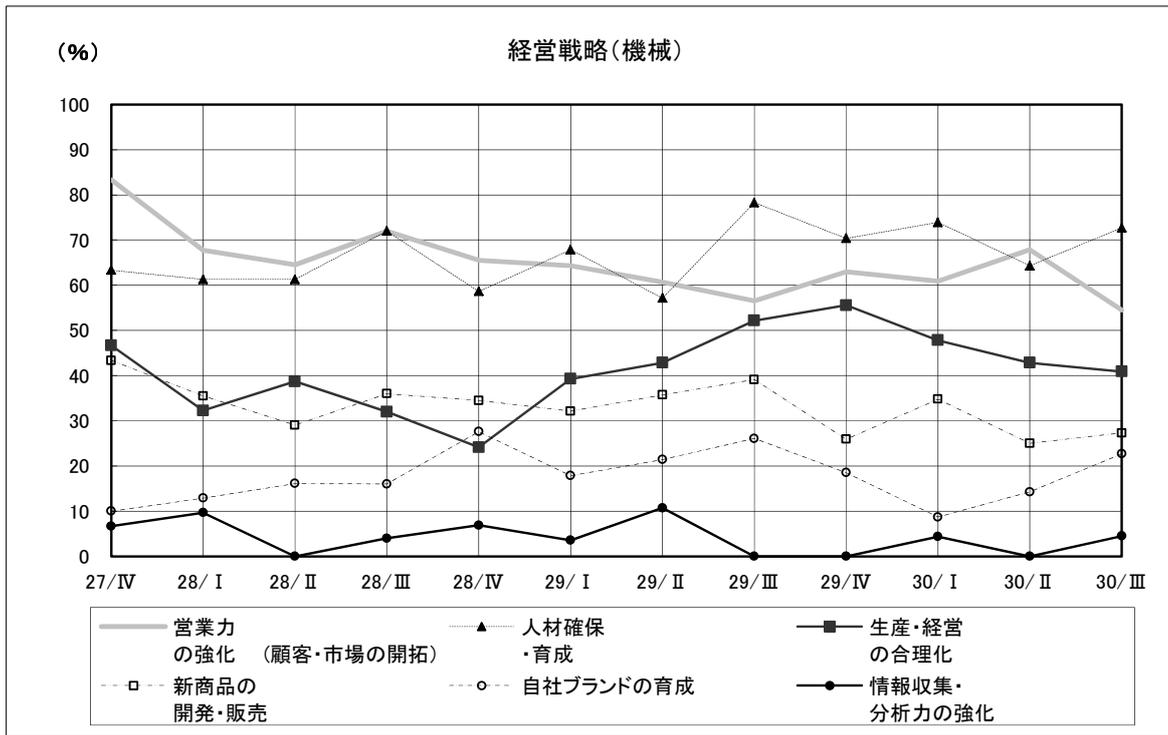


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

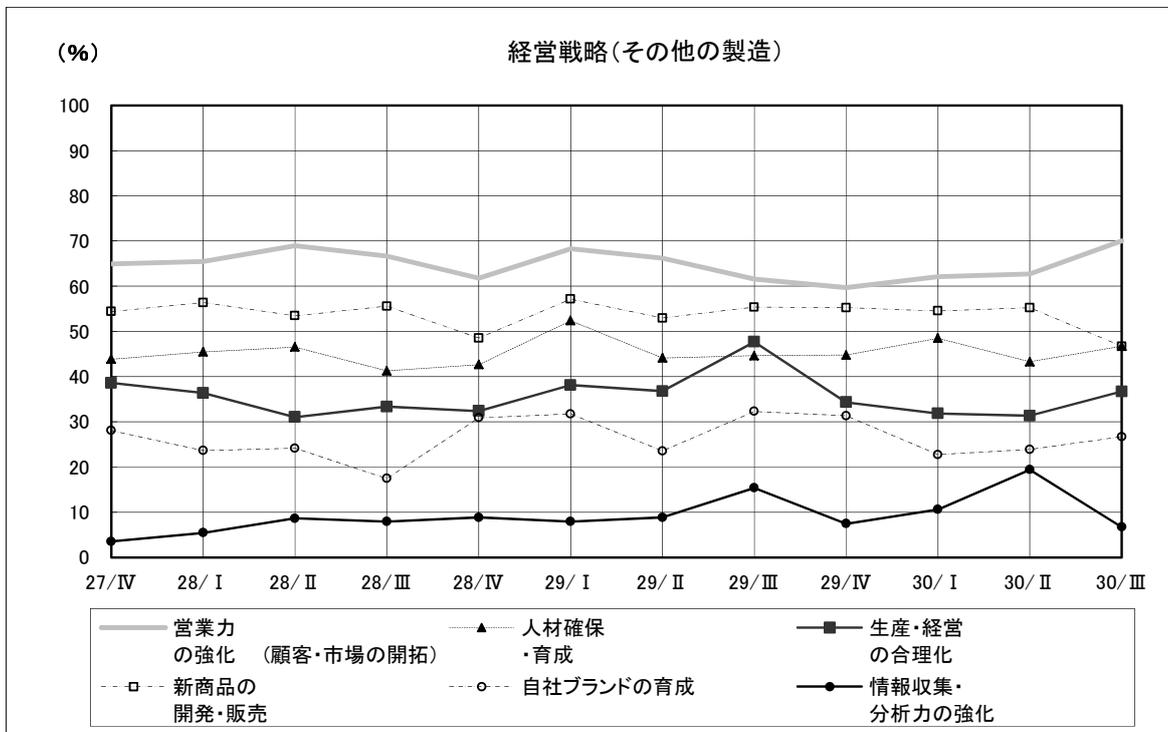


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

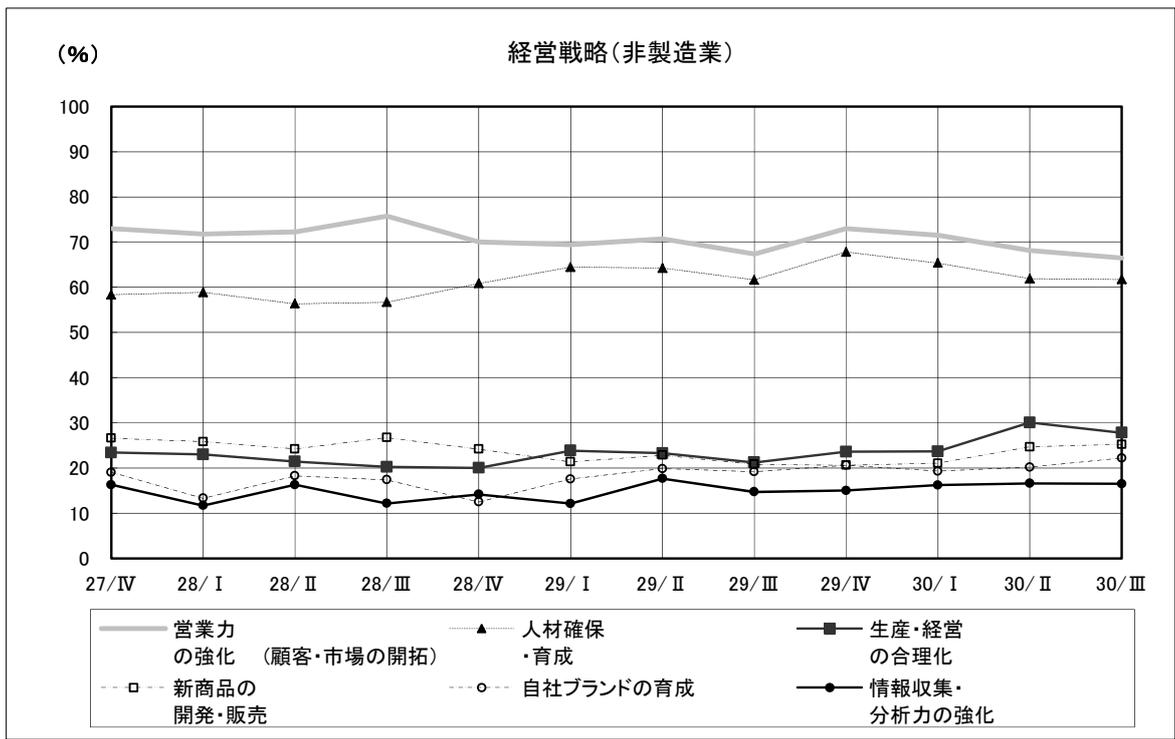


図 33. 当面の経営戦略・卸売

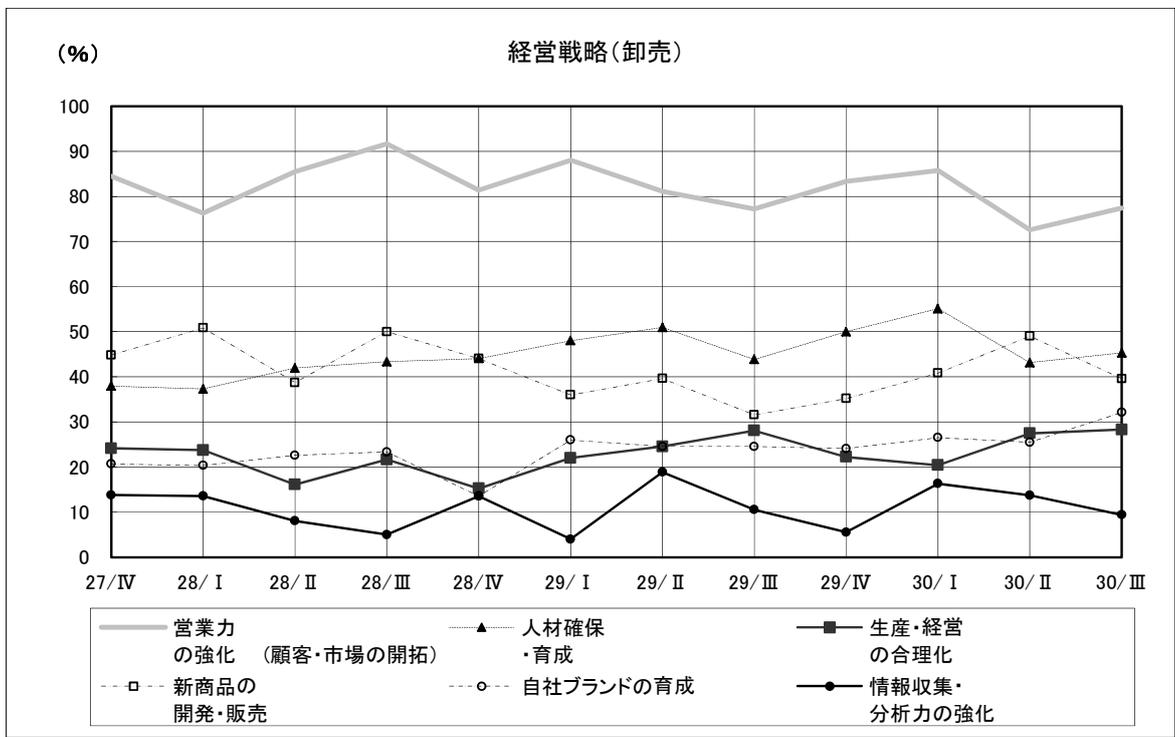


図 34. 当面の経営戦略・小売

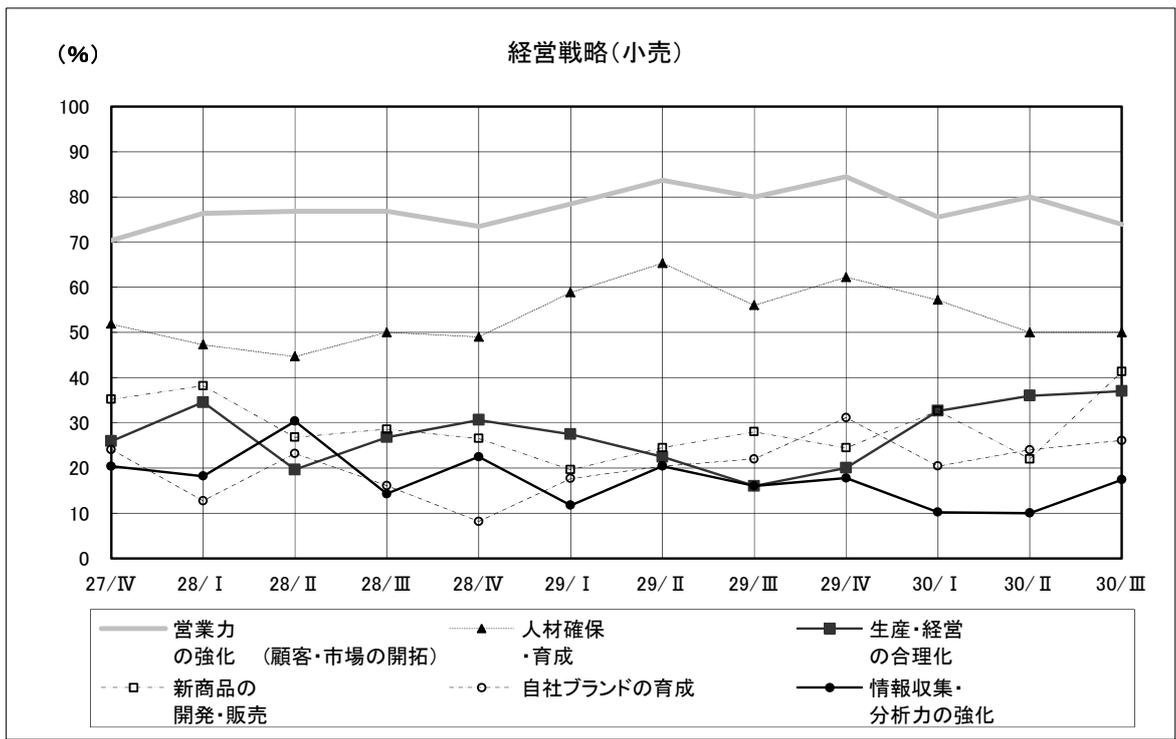


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

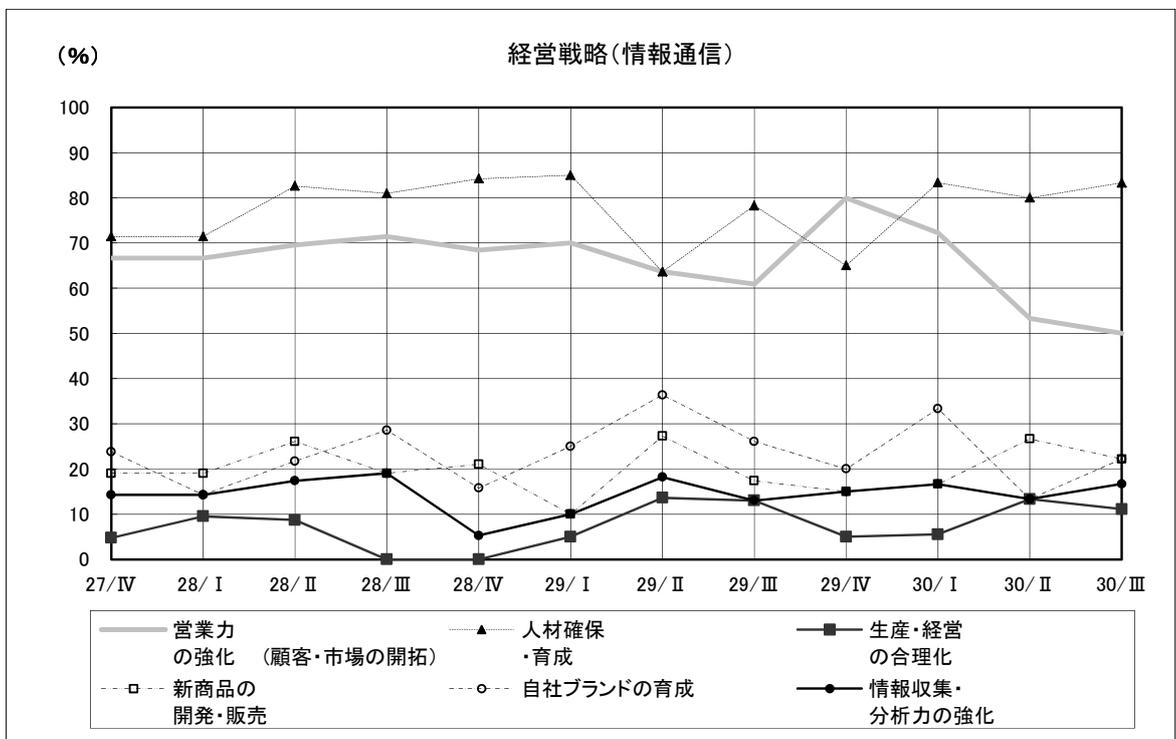


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

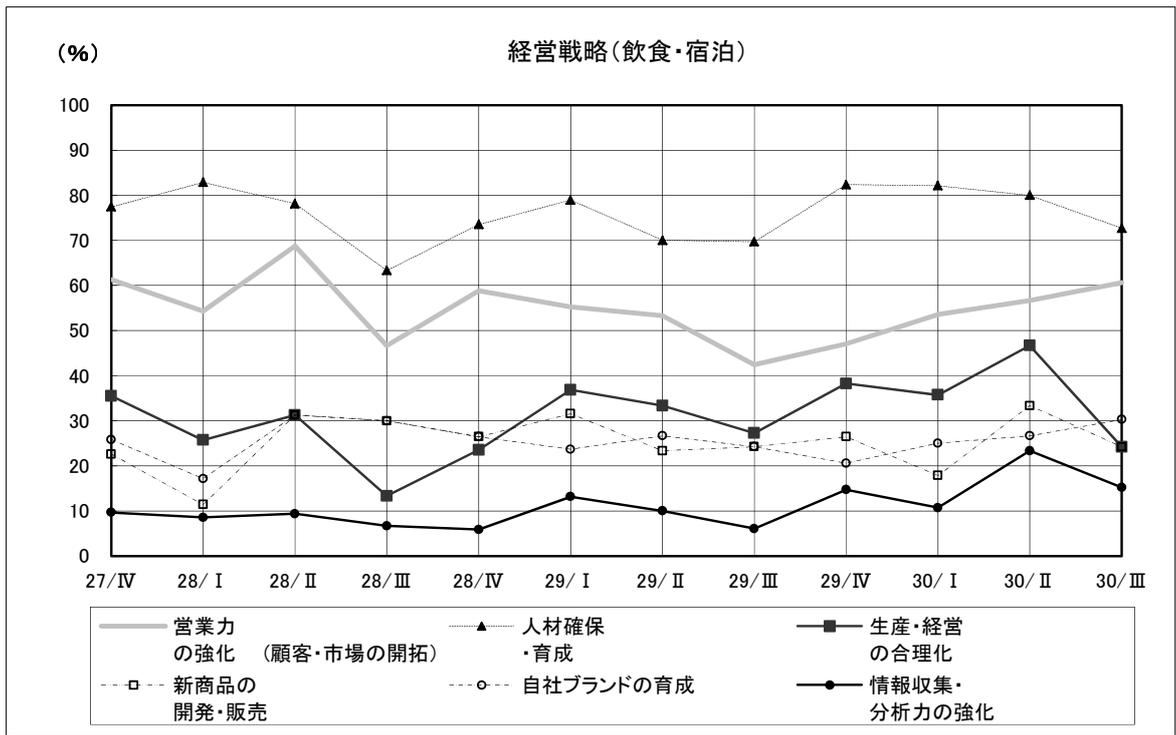


図 37. 当面の経営戦略・サービス

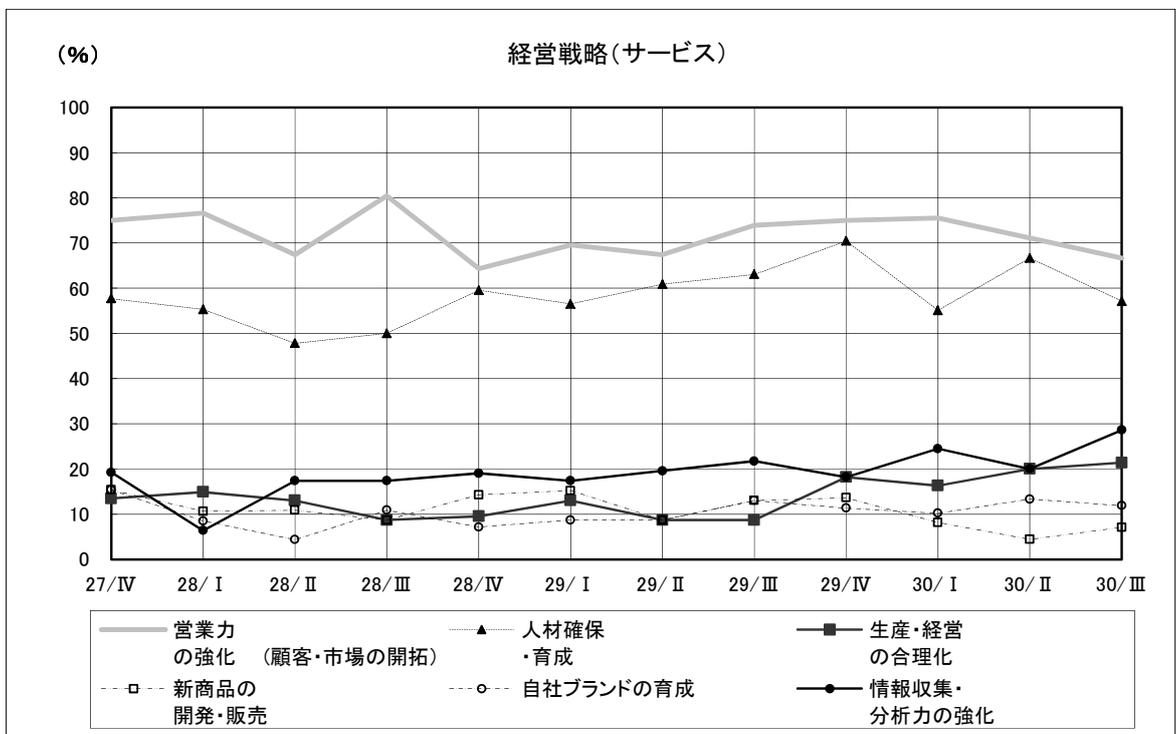


図 38. 当面の経営戦略・建設

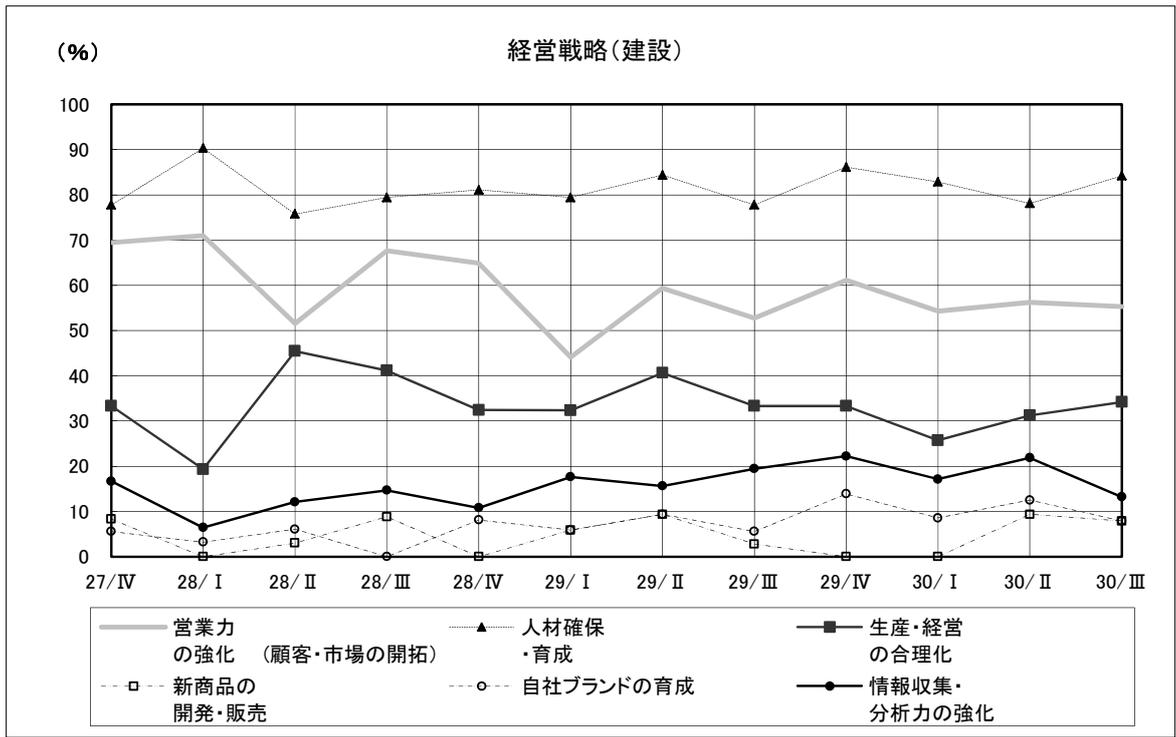


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	自社ブランドの育成	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	286 64.9%	151 34.2%	253 57.4%	60 13.6%	97 22.0%	140 31.7%	30 6.8%	67 15.2%	9 2.0%	441 100.0%	41
製造業	133 63.0%	87 41.2%	111 52.6%	35 16.6%	46 21.8%	82 38.9%	26 12.3%	29 13.7%	2 0.9%	211 100.0%	25
西陣	12 75.0%	4 25.0%	2 12.5%	2 12.5%	7 43.8%	8 50.0%	0 0.0%	4 25.0%	0 0.0%	16 100.0%	0
染色	16 57.1%	13 46.4%	12 42.9%	8 28.6%	8 28.6%	8 28.6%	3 10.7%	5 17.9%	0 0.0%	28 100.0%	2
印刷	15 65.2%	13 56.5%	10 43.5%	3 13.0%	5 21.7%	10 43.5%	2 8.7%	8 34.8%	0 0.0%	23 100.0%	1
窯業	6 42.9%	6 42.9%	5 35.7%	3 21.4%	2 14.3%	7 50.0%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	14 100.0%	4
化学	11 64.7%	4 23.5%	11 64.7%	1 5.9%	1 5.9%	10 58.8%	6 35.3%	3 17.6%	0 0.0%	17 100.0%	2
金属	19 61.3%	16 51.6%	27 87.1%	6 19.4%	2 6.5%	5 16.1%	4 12.9%	3 9.7%	0 0.0%	31 100.0%	3
機械	12 54.5%	9 40.9%	16 72.7%	3 13.6%	5 22.7%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%	6
その他の製造	42 70.0%	22 36.7%	28 46.7%	9 15.0%	16 26.7%	28 46.7%	7 11.7%	4 6.7%	1 1.7%	60 100.0%	7
非製造業	153 66.5%	64 27.8%	142 61.7%	25 10.9%	51 22.2%	58 25.2%	4 1.7%	38 16.5%	7 3.0%	230 100.0%	16
卸売	41 77.4%	15 28.3%	24 45.3%	8 15.1%	17 32.1%	21 39.6%	0 0.0%	5 9.4%	0 0.0%	53 100.0%	1
小売	34 73.9%	17 37.0%	23 50.0%	7 15.2%	12 26.1%	19 41.3%	1 2.2%	8 17.4%	2 4.3%	46 100.0%	6
情報通信	9 50.0%	2 11.1%	15 83.3%	1 5.6%	4 22.2%	4 22.2%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%	2
飲食・宿泊	20 60.6%	8 24.2%	24 72.7%	1 3.0%	10 30.3%	8 24.2%	1 3.0%	5 15.2%	1 3.0%	33 100.0%	1
サービス	28 66.7%	9 21.4%	24 57.1%	5 11.9%	5 11.9%	3 7.1%	1 2.4%	12 28.6%	2 4.8%	42 100.0%	5
建設	21 55.3%	13 34.2%	32 84.2%	3 7.9%	3 7.9%	3 7.9%	0 0.0%	5 13.2%	2 5.3%	38 100.0%	1
観光関連	36 69.2%	16 30.8%	33 63.5%	2 3.8%	15 28.8%	20 38.5%	3 5.8%	10 19.2%	1 1.9%	52 100.0%	2

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

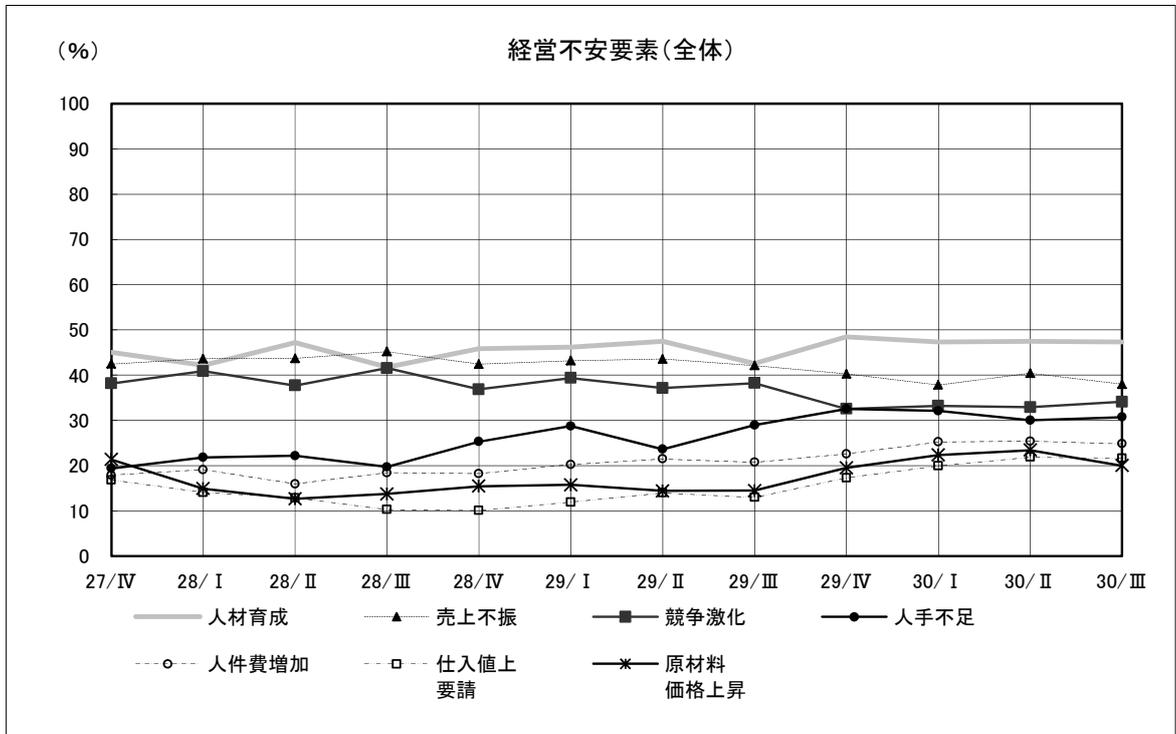


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

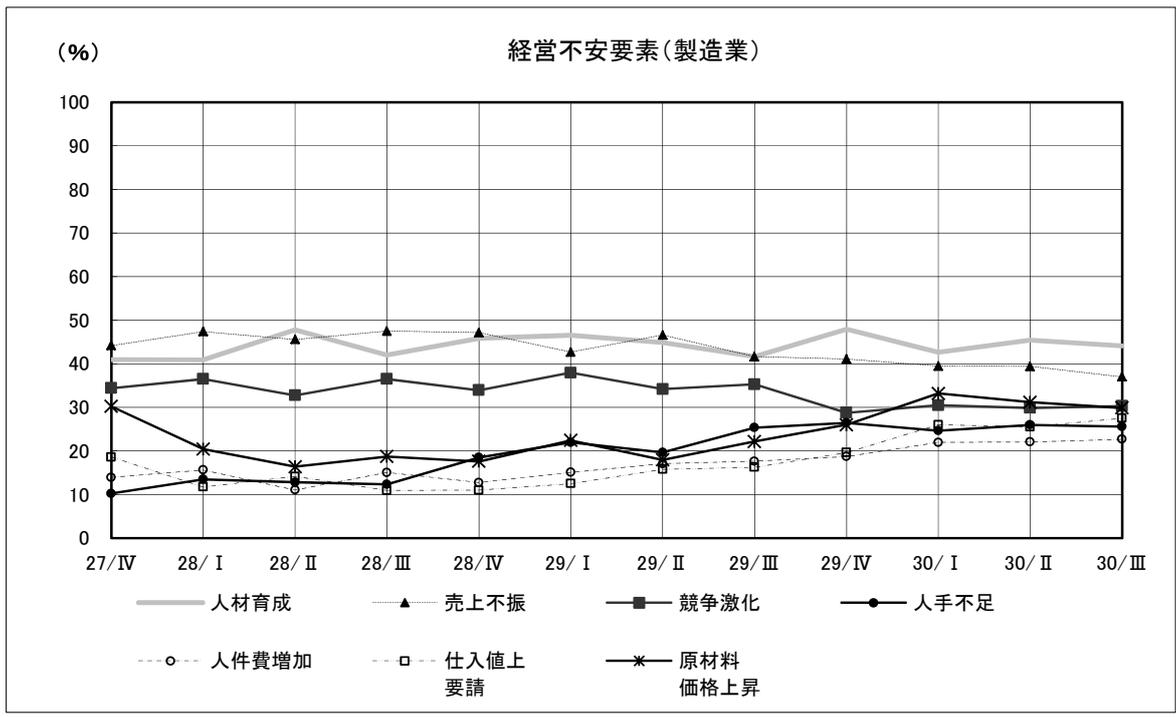


図 41. 経営上の不安要素・西陣

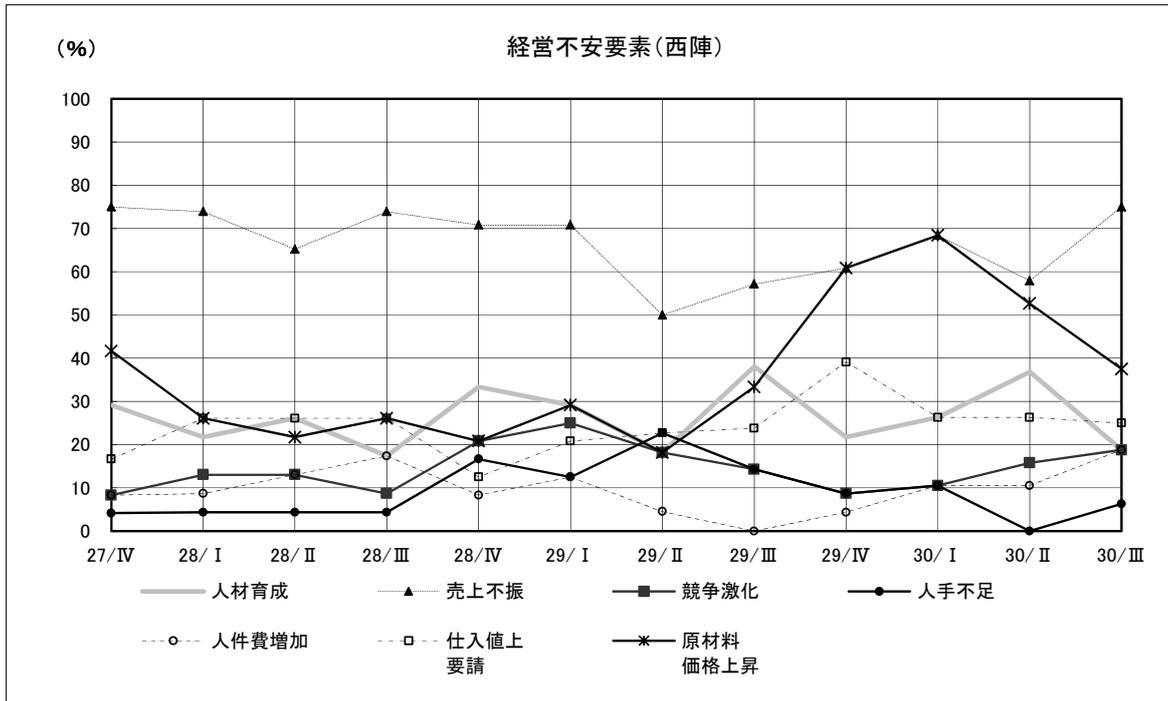


図 42. 経営上の不安要素・染色

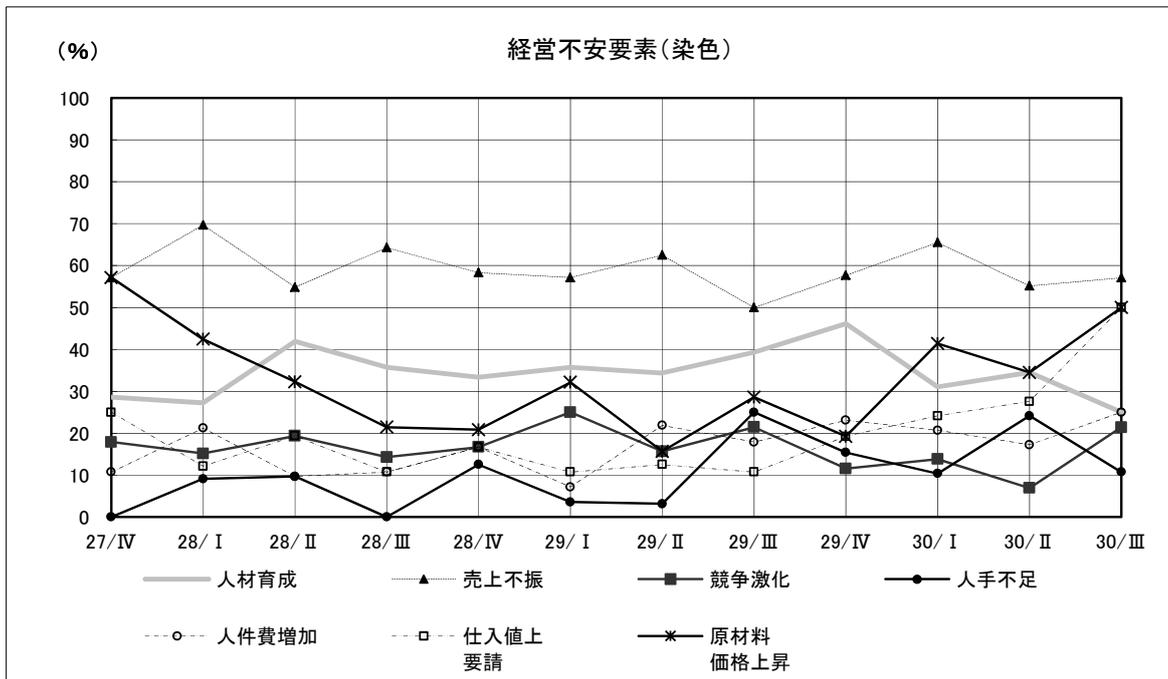


図 43. 経営上の不安要素・印刷

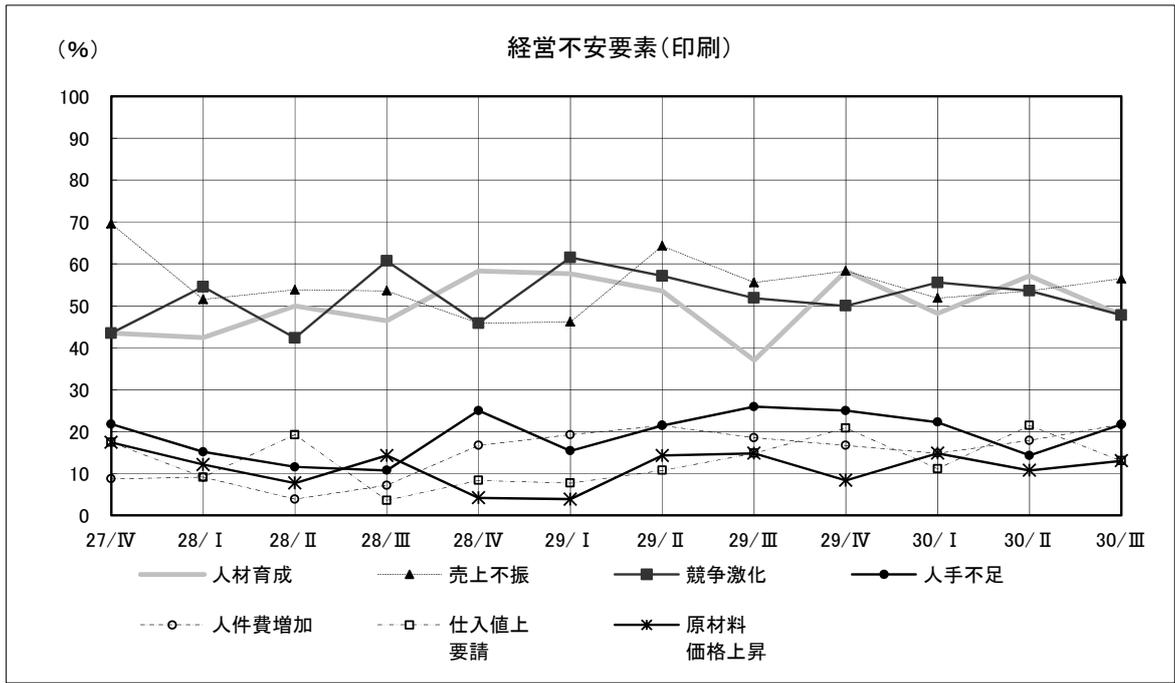


図 44. 経営上の不安要素・窯業

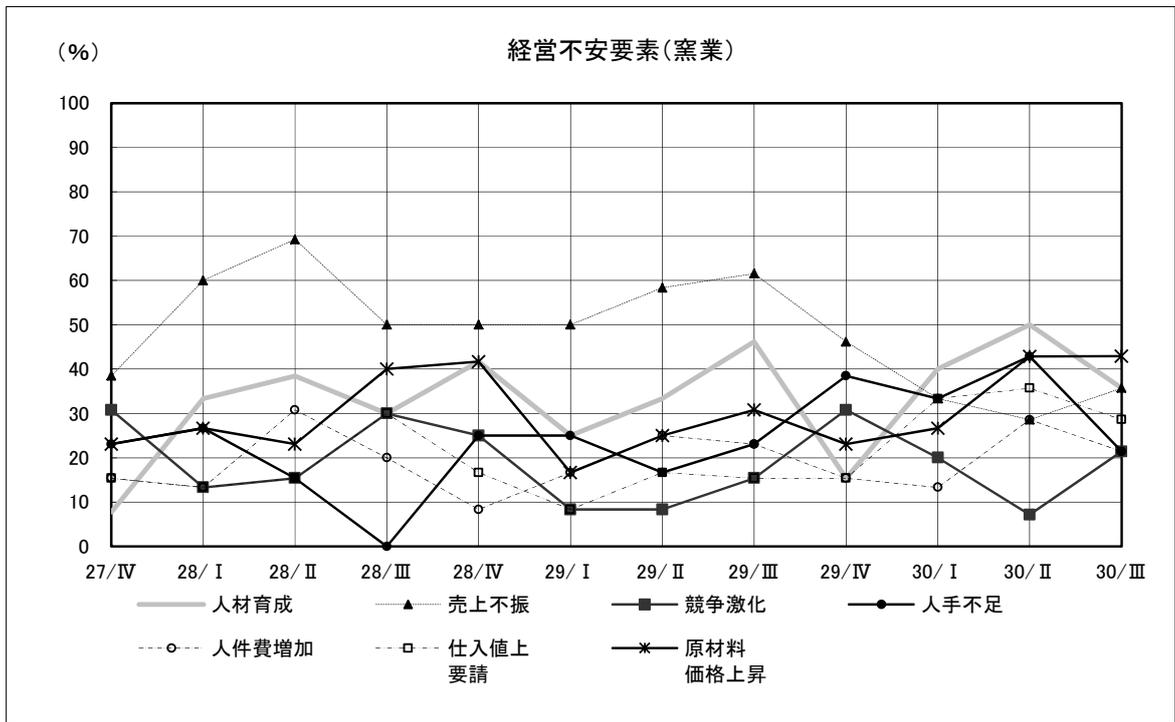


図 45. 経営上の不安要素・化学

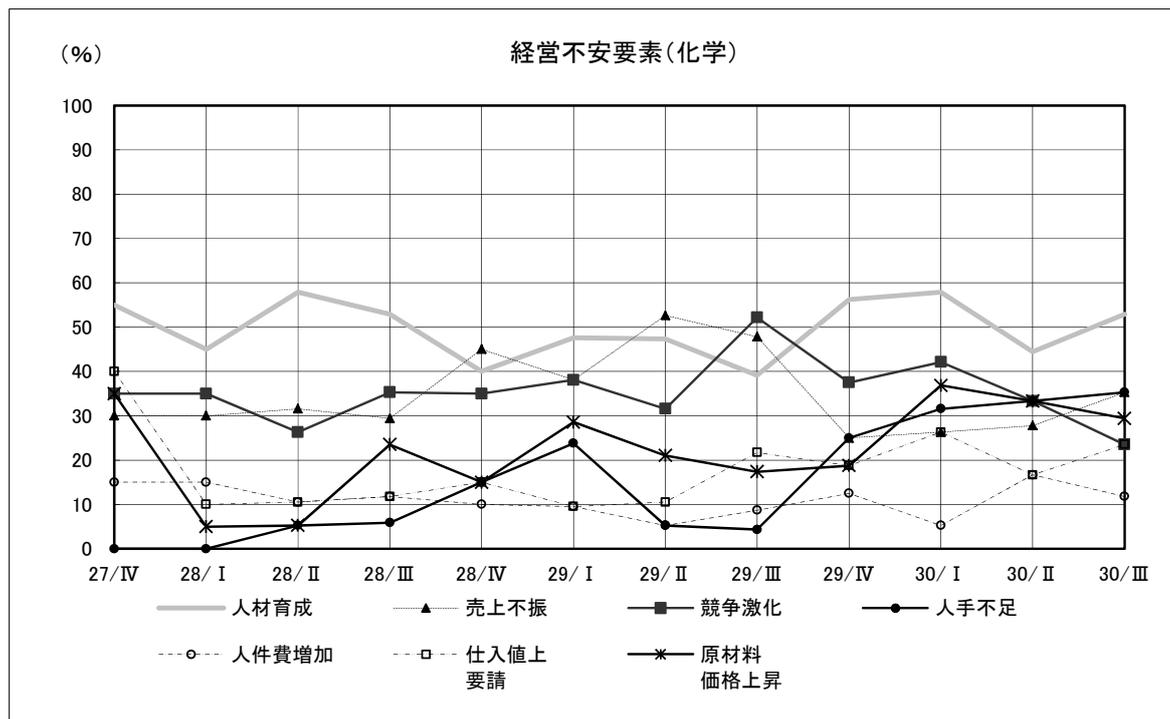


図 46. 経営上の不安要素・金属

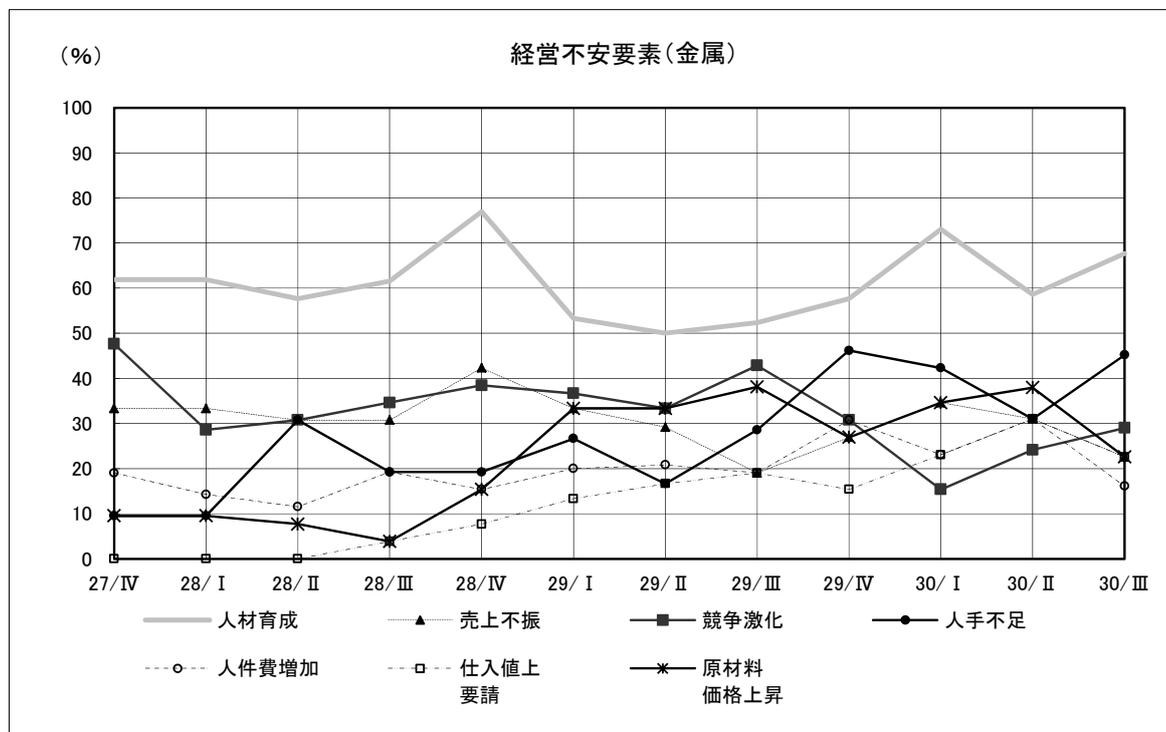


図 47. 経営上の不安要素・機械

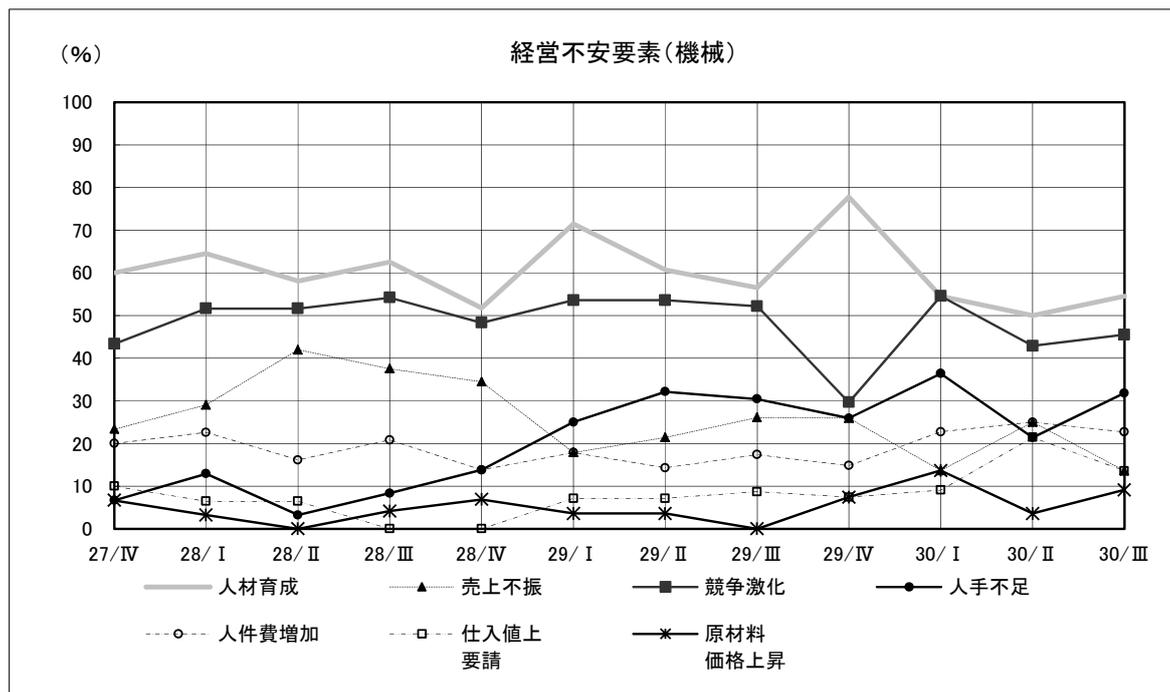


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

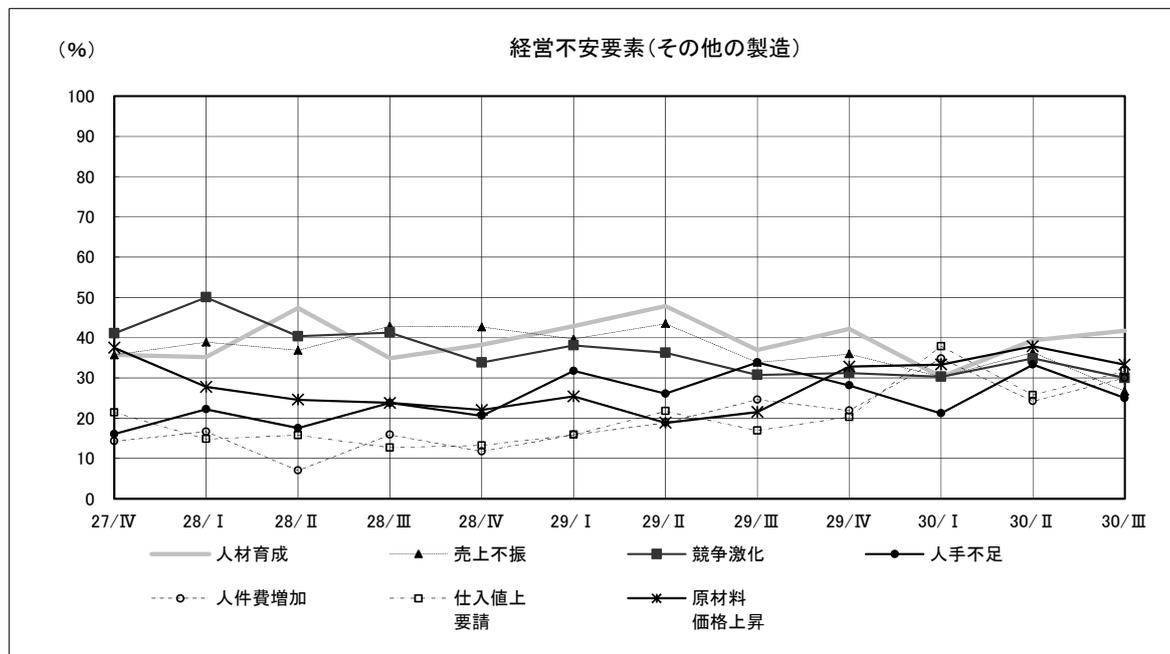


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

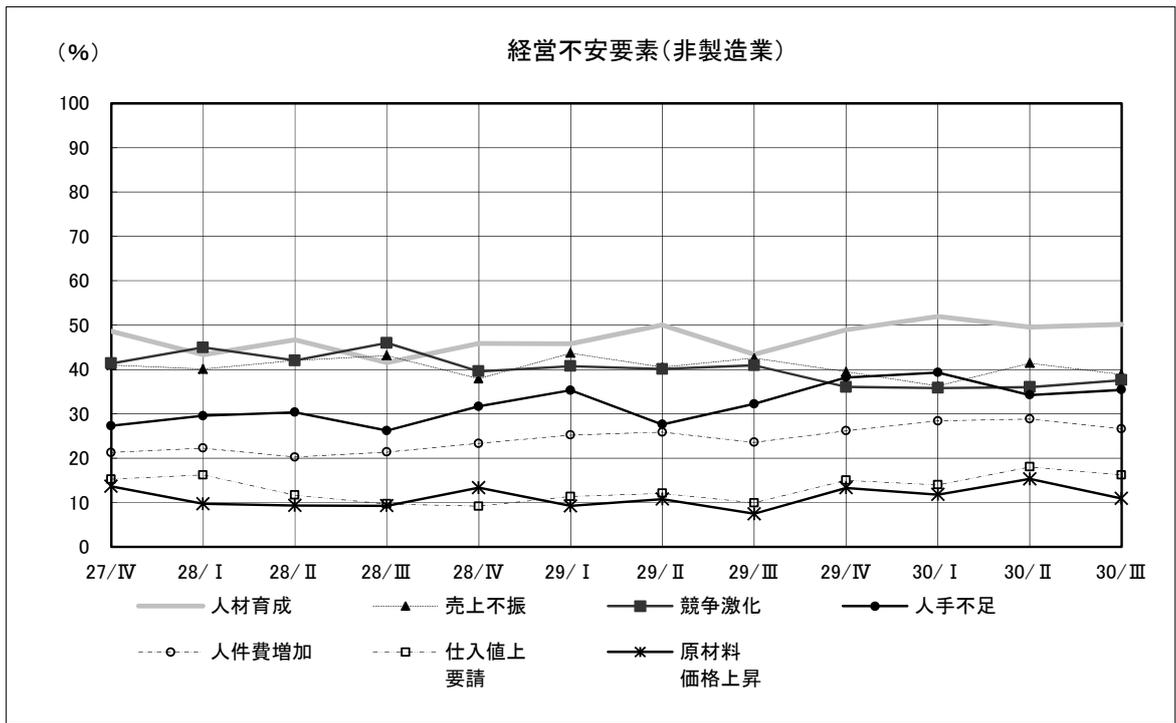


図 50. 経営上の不安要素・卸売

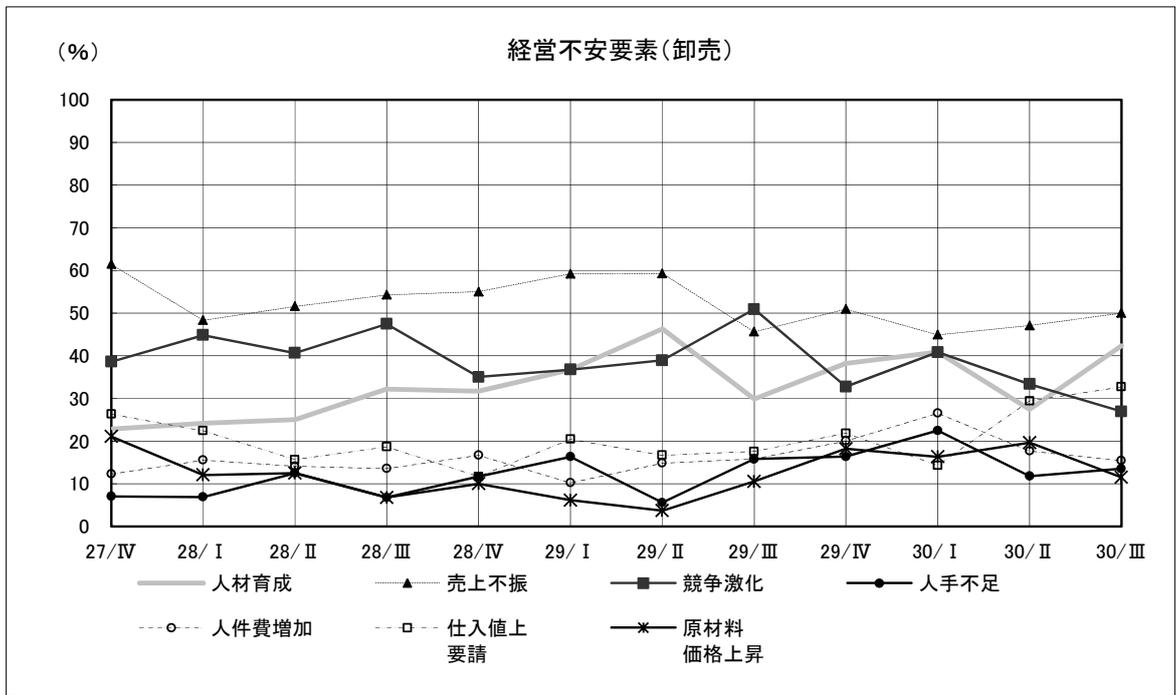


図 51. 経営上の不安要素・小売

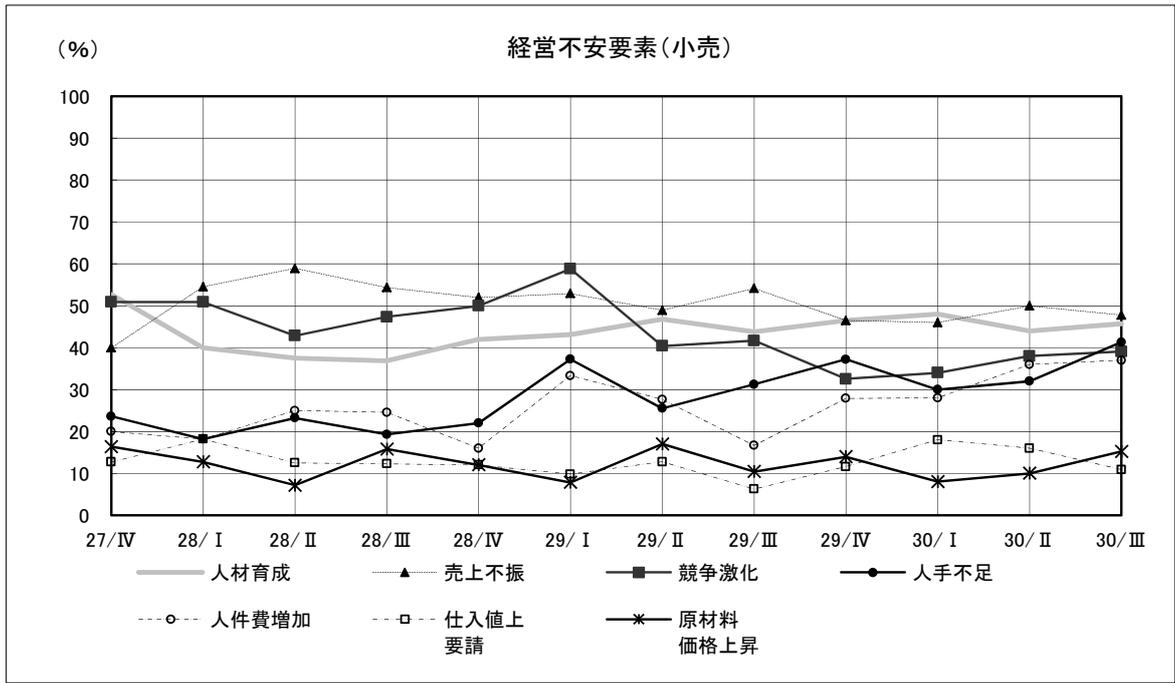


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

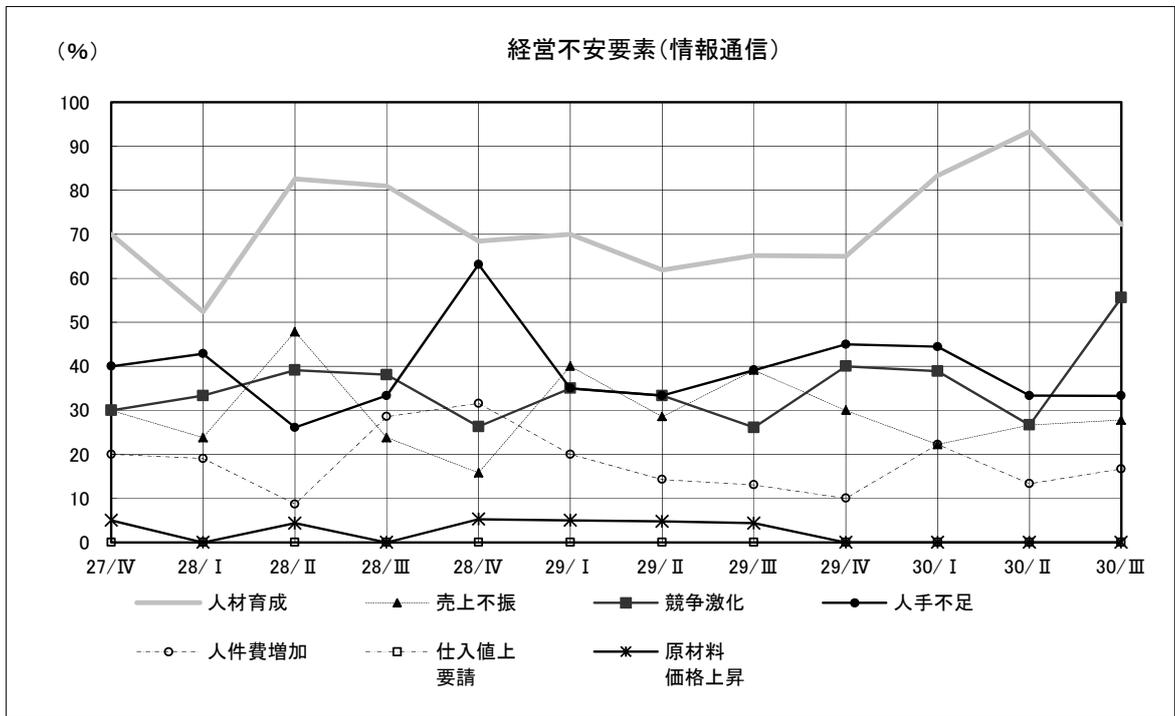


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

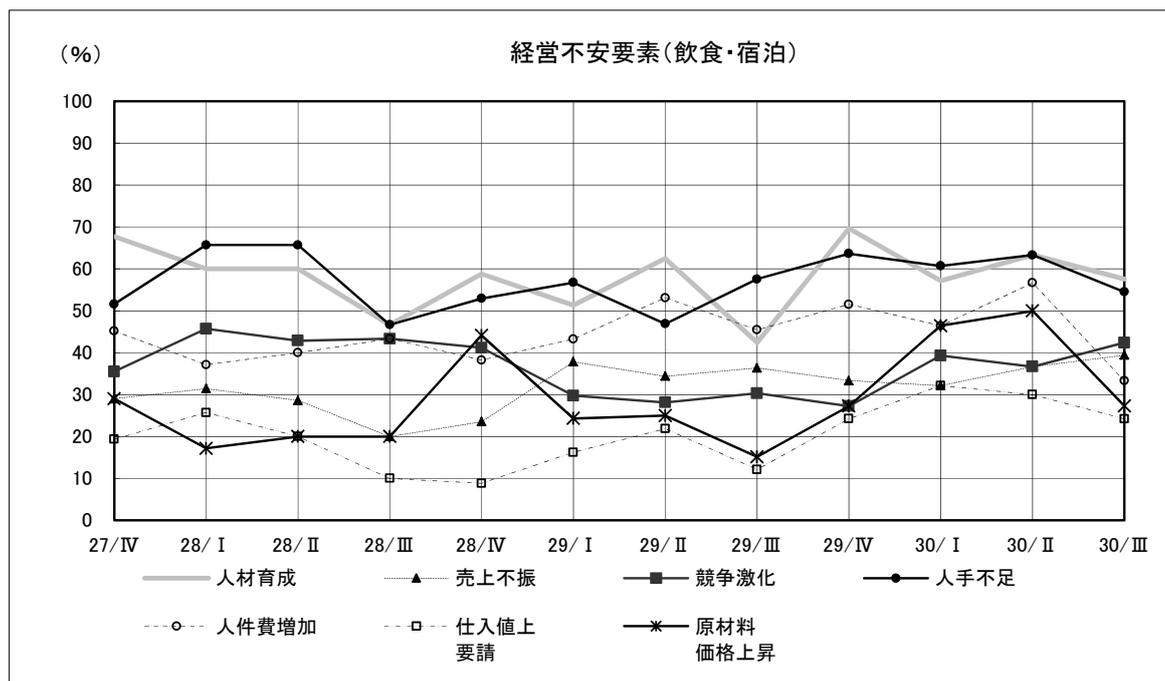


図 54. 経営上の不安要素・サービス

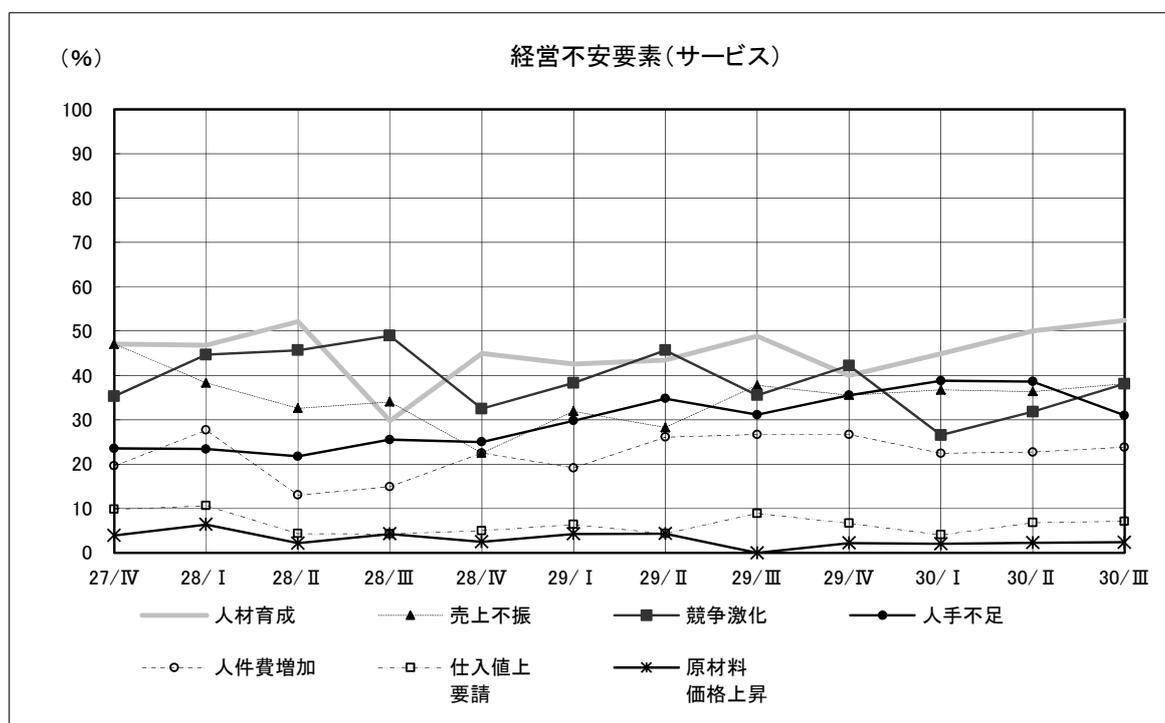


図 55. 経営上の不安要素・建設

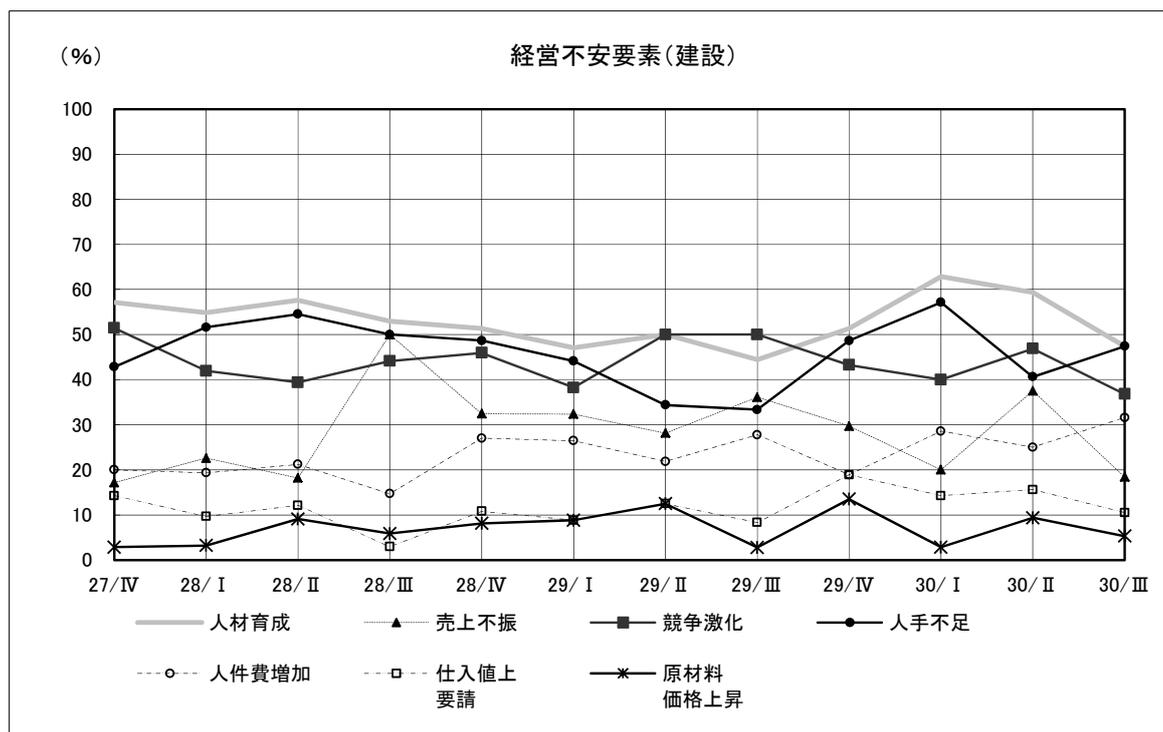


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	150 34.1%	167 38.0%	208 47.3%	47 10.7%	95 21.6%	88 20.0%	13 3.0%	64 14.5%
製造業	64 30.3%	78 37.0%	93 44.1%	28 13.3%	58 27.5%	63 29.9%	4 1.9%	30 14.2%
西陣	3 18.8%	12 75.0%	3 18.8%	1 6.3%	4 25.0%	6 37.5%	0 0.0%	4 25.0%
染色	6 21.4%	16 57.1%	7 25.0%	0 0.0%	14 50.0%	14 50.0%	1 3.6%	2 7.1%
印刷	11 47.8%	13 56.5%	11 47.8%	4 17.4%	3 13.0%	3 13.0%	1 4.3%	4 17.4%
窯業	3 21.4%	5 35.7%	5 35.7%	1 7.1%	4 28.6%	6 42.9%	1 7.1%	5 35.7%
化学	4 23.5%	6 35.3%	9 52.9%	3 17.6%	4 23.5%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%
金属	9 29.0%	7 22.6%	21 67.7%	6 19.4%	7 22.6%	7 22.6%	0 0.0%	3 9.7%
機械	10 45.5%	3 13.6%	12 54.5%	5 22.7%	3 13.6%	2 9.1%	1 4.5%	5 22.7%
その他の製造	18 30.0%	16 26.7%	25 41.7%	8 13.3%	19 31.7%	20 33.3%	0 0.0%	5 8.3%
非製造業	86 37.6%	89 38.9%	115 50.2%	19 8.3%	37 16.2%	25 10.9%	9 3.9%	34 14.8%
卸売	14 26.9%	26 50.0%	22 42.3%	2 3.8%	17 32.7%	6 11.5%	1 1.9%	11 21.2%
小売	18 39.1%	22 47.8%	21 45.7%	3 6.5%	5 10.9%	7 15.2%	1 2.2%	9 19.6%
情報通信	10 55.6%	5 27.8%	13 72.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
飲食・宿泊	14 42.4%	13 39.4%	19 57.6%	2 6.1%	8 24.2%	9 27.3%	2 6.1%	3 9.1%
サービス	16 38.1%	16 38.1%	22 52.4%	5 11.9%	3 7.1%	1 2.4%	2 4.8%	5 11.9%
建設	14 36.8%	7 18.4%	18 47.4%	6 15.8%	4 10.5%	2 5.3%	3 7.9%	6 15.8%
観光関連	19 36.5%	22 42.3%	27 51.9%	2 3.8%	10 19.2%	12 23.1%	2 3.8%	2 3.8%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	49 11.1%	57 13.0%	135 30.7%	109 24.8%	7 1.6%	21 4.8%	440 100.0%	42
製造業	24 11.4%	30 14.2%	54 25.6%	48 22.7%	4 1.9%	10 4.7%	211 100.0%	25
西陣	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%	0
染色	1 3.6%	3 10.7%	3 10.7%	7 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	2
印刷	4 17.4%	5 21.7%	5 21.7%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	23 100.0%	1
窯業	2 14.3%	4 28.6%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	14 100.0%	4
化学	4 23.5%	1 5.9%	6 35.3%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%	2
金属	3 9.7%	7 22.6%	14 45.2%	5 16.1%	0 0.0%	2 6.5%	31 100.0%	3
機械	8 36.4%	5 22.7%	7 31.8%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	22 100.0%	6
その他の製造	2 3.3%	4 6.7%	15 25.0%	18 30.0%	4 6.7%	5 8.3%	60 100.0%	7
非製造業	25 10.9%	27 11.8%	81 35.4%	61 26.6%	3 1.3%	11 4.8%	229 100.0%	17
卸売	3 5.8%	1 1.9%	7 13.5%	8 15.4%	2 3.8%	6 11.5%	52 100.0%	2
小売	1 2.2%	8 17.4%	19 41.3%	17 37.0%	0 0.0%	0 0.0%	46 100.0%	6
情報通信	2 11.1%	1 5.6%	6 33.3%	3 16.7%	0 0.0%	2 11.1%	18 100.0%	2
飲食・宿泊	4 12.1%	6 18.2%	18 54.5%	11 33.3%	0 0.0%	2 6.1%	33 100.0%	1
サービス	5 11.9%	7 16.7%	13 31.0%	10 23.8%	1 2.4%	1 2.4%	42 100.0%	5
建設	10 26.3%	4 10.5%	18 47.4%	12 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	38 100.0%	1
観光関連	6 11.5%	5 9.6%	27 51.9%	21 40.4%	0 0.0%	4 7.7%	52 100.0%	2

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	7	(1.5)
明治	12	(2.5)
大正	10	(2.1)
昭和19年以前	25	(5.2)
20 ～ 39 年	166	(34.4)
40 ～ 49 年	97	(20.1)
昭和50年以降	80	(16.6)
平成	80	(16.6)
無回答	0	(0.0)
不明	5	(1.0)
合計	482	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	479	(99.4)
個人	3	(0.6)
無回答	0	(0.0)
合計	482	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	236	(49.0)	非製造業	246	(51.0)
西陣	16	(3.3)	卸売	54	(11.2)
染色	30	(6.2)	小売	52	(10.8)
印刷	24	(5.0)	情報通信	20	(4.1)
窯業	18	(3.7)	飲食・宿泊	34	(7.1)
化学	19	(3.9)	サービス	47	(9.8)
金属	34	(7.1)	建設	39	(8.1)
機械	28	(5.8)	不明	0	(0.0)
その他の製造	67	(13.9)	合計	482	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)

54 (11.2)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100 万円	1	(0.2)	3001 ～ 5000	72	(15.0)
101 ～ 200	0	(0.0)	5001～1億円	31	(6.5)
201 ～ 500	30	(6.3)	1億円超	2	(0.4)
501 ～ 1000	220	(45.9)	無回答	0	(0.0)
1001 ～ 3000	123	(25.7)	合計	479	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4 人	87	(18.0)	50 ～ 99 人	49	(10.2)
5 ～ 9 人	85	(17.6)	100人以上	21	(4.4)
10人～19人	102	(21.2)	無回答	17	(3.5)
20人～29人	57	(11.8)	合計	482	(100.0)
30 ～ 49 人	64	(13.3)			

第128回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成30年10月10日(水)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名														
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話				—		
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)						年	従業員数					人(うち非正規)	人
※1 業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造													
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設													
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業 商品を扱う卸売業 小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。													
主な製品、商品、サービス														
御記入者	部課：	役職：					氏名：							

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	平成30年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			平成30年10月～12月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない	する	しない		

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|----------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 円安 | 14 その他() | |

(裏面も御記入ください。)

(5) 貴社における外国人雇用の状況について、お尋ねします。

A 貴社の外国人の雇用状況について、下記の該当する箇所に○印を付けてください。

ア 雇用している →問B, C, Eへ
イ 雇用していないが、前向きに検討中 →問C, Eへ
ウ 雇用しておらず、検討もしていない →問D, Eへ

B Aでアと回答した方にお尋ねします。

雇用されている外国人はどのような方ですか。下記項目の該当する箇所に、それぞれ人数をご記入ください。

(雇用形態)	正社員		パート・アルバイト		技能実習生		海外拠点の社員		派遣社員	
	(国籍)	韓国	台湾	中国	インドネシア	タイ	フィリピン	ベトナム	インド	ブラジル
(在留資格)	永住者・定住者		専門的・技術的分野		技能実習		留学生(アルバイト)		その他	
(年齢)	24歳以下		25～34歳		35～44歳		45歳以上			
(月給)	18万円未満		18万円以上～20万円未満		20万円以上22万円未満		22万円以上			
(時給)	900円未満		901円以上1,000円未満		1,000円以上					

C Aでアまたはイと回答した方にお尋ねします。外国人を雇用している(または検討中の)理由、外国人に担当させている(または担当させることを検討中の)業務について、下記から該当するものを選び、()に選択肢を記入してください(複数回答可)。

- ア 雇用している(または検討中の)理由 ()
 イ 外国人に担当させている(または担当させることを検討中の)業務 ()

(雇用している理由) ア 日本人だけでは人手が足りないから イ 外国人ならではの能力や経験が必要だから ウ 国籍にこだわらず、能力・人物が優れているから エ その他
(担当させている業務) ア 技能系業務 イ 輸出入や外国企業、現地法人に関する業務 ウ 通訳や翻訳業務 エ インバウンド事業に関する業務 オ インターネット・通販等に関する業務 カ その他

D Aでウと回答した方にお尋ねします。その理由について、下記の該当する箇所に○印を付けてください(複数回答可)。

ア 日本人だけで人手が足りているから イ 言葉、文化、生活習慣等の違いによる不安があるから ウ 業務のフォロー、教育が難しそうだから エ 募集先、手続きが分からないから オ 住居の確保等、生活上のフォローが難しそうだから カ その他()
--

E すべての方にお尋ねします。外国人の新規雇用、あるいは雇用の継続に当たり望む支援について、下記の該当する箇所に○印を付けてください(複数回答可)。

ア 外国人と経営者とのマッチング機会の創出、充実 イ 行政手続等のフォロー ウ 住居の確保 エ 日本語教育のサポート オ 日常生活に関わる支援 カ その他() キ 特になし

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)